

NXR-120/C

FutureNet NXR-130/C

NXR-1200

ユーザーズガイド CLI 編

v5.6.2 対応版



目次

はじめに	4
パッケージの内容物の確認	5
第1章 本装置の概要	6
. 本装置の特長	7
. 各部の名称と機能	9
. 動作環境	15
第2章 装置の設置	16
装置の設置	17
第3章 設定方法の概要	21
. CLI の接続方法	22
II . GUIの接続方法	27
III . コマンド実行モード	30
IV . コマンド入力時の補助機能	31
第4章 本装置のノード構造	32
ノード構造について	33
第5章 view(exec) node	34
view(exec) node	35
第6章 global node	52
global node	53
第7章 interface node	75
interface node	76
第8章 interface tunnel node	85
interface tunnel node	86
第9章 interface ppp node	91
interface ppp node	92
第10章 dns node	100
dns node	101
第11章 l2tp node	103
l2tp node	104
第12章 l2tpv3-tunnel node	105
l2tpv3 tunnel parameters	106
第13章 l2tpv3-xconnect node	108
l2tpv3 xconnect parameters	109
第14章 l2tpv3-group node	111
l2tpv3-group node	112
第15章 rip node	113
rip node	114
第16章 ospf node	116
ospf node	117
第17章 bgp node	120
bgp node	121
第18章 ntp node	126
ntp node	127
第19章 snmp node	128
snmp node	129
第20章 syslog node	131

syslog node	132
第 21 章 dhcp-server node	135
dhcp-server node	136
第 22 章 dhcp-relay node	138
dhcp-relay node	139
第 23 章 ipsec local policy node	140
ipsec local policy node	141
第 24 章 ipsec isakmp policy node	142
ipsec isakmp policy node	143
第 25 章 ipsec tunnel policy node	146
ipsec tunnel policy node	147
第 26 章 UPnP node	149
UPnP node	150
第 27 章 QoS (class-policy) node	151
QoS (class-policy) node	152
第 28 章 QoS (class-filter) node	153
QoS (class-filter) node	154
第 29 章 CRP client node	155
CRP client node	156
第 30 章 route-map node	157
route-map node	158
付録 A 設定事例	159
. インタフェースの設定例	160
. PPPoE の設定例	161
. L2TPv3 の設定例	164
. IPsec の設定例	165
V. モバイル接続の設定例	168
. QoS の設定例	169
付録 B Packet Traveling	170
付録 C サポートについて	174

はじめに

ご注意

- 1 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 2 通信情報が漏洩した事による経済的、精神的損害につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 3 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。
- 4 本書およびソフトウェア、ハードウェア、外観の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 5 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

商標の表示

「FutureNet」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

下記製品名等は米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista

下記製品名等は米国Apple Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS X

その他、本書で使用する各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

パッケージの内容物の確認

本製品のパッケージには以下のものが同梱されております。
本製品をお使いいただく前に、内容物がすべて揃っているかご確認ください。

万が一不足がありましたら、お買い上げいただいた店舗または弊社サポートデスクまでご連絡ください。

< FutureNet NXR シリーズ 梱包物 >

梱包物	NXR-120/C	NXR-130/C	NXR-1200
本体	1台		
はじめにお読みください	1部		
安全にお使いいただくために	1部		
ご注意	1部		
保証書	1部		
LANケーブル（ストレート、1m）	1本		-
RJ-45/D-sub9ピン変換アダプタ（クロス）	1個		-
ACアダプタ / 電源コード	1個		1本
ゴム足 （必要に応じて本体底面の四隅に貼ってください）	4個		-
接続用ケーブル類の固定方法	1部		-
ケーブル固定部品	1個		-
ラックマウント用レール	-		1式
ラックマウントガイド	-		1部

第1章

本装置の概要

・本装置の特長

FutureNet NXRシリーズには、以下のような特徴があります。

NGN への対応

FutureNet NXRシリーズは、IPv6、マルチキャスト、ハードウェアQoS回路による高精度のトラフィック管理といったNGNに必要な機能をサポートします。NTT東日本、NTT西日本がNGNを利用した商用サービスとして提供する「フレッツ光ネクスト」と、同サービスを利用した低コスト型のIP-VPNサービスである「フレッツ・VPNワイド」で利用できることを確認しています。もちろんXRシリーズで搭載していたIPsecを用いたVPNの構築やエンド～エンドでEthernetフレームを透過できるL2VPN（L2TPv3）もサポートしています。

独立したギガビットイーサネットポート

FutureNet NXR-120/Cは2つのギガビットイーサネットポート（RJ-45）を搭載しています。ギガビットイーサネットポートは最大約900Mbps（1）の転送性能を持ちます。また、暗号化処理専用のハードウェアを搭載しており、VPN利用時には最大約180Mbps（2）の高性能を発揮します。

FutureNet NXR-130/Cは3つのギガビットイーサネットポート（RJ-45）を搭載しています。例えばインターネット接続用、DMZ用、LAN用、監視用にそれぞれ異なるイーサネットポートを割り当てるような構成が可能です。柔軟なフィルタ設定と組み合わせる幅広いネットワーク構成に対応できます。ギガビットイーサネットポートは最大約1Gbps（1）の転送性能を持ちます。また、暗号化処理専用のハードウェアを搭載しており、VPN利用時には最大約260Mbps（3）の高性能を発揮します。

FutureNet NXR-1200はギガビット対応のインタフェースを4ポート備えているため、インターネット接続用、DMZ用、LAN用、監視用などにそれぞれ異なるポートを割り当てられます。柔軟なフィルタ設定と組み合わせる幅広いシステム構成に対応できます。VPNのセンター装置としては、レイヤ3では最大2,048拠点、レイヤ2では最大1,024拠点を同時に接続することができます。ギガビットイーサネットポートは最大約1,882 Mbps（1）の転送性能を持ちます。また、VPN利用時には最大約576 Mbps（3）の高性能を発揮します。

- 1 フレームサイズ 1518byteでのIXIAによるIP Forwarding性能測定結果。
- 2 フレームサイズ 1424byte、暗号化方式 AES-128, HASH SHA1(phase 1 & 2共通)を使用したIPsec双方向通信でのIXIAによる測定結果。
- 3 フレームサイズ 1424byte、暗号化方式 AES-128, HASH SHA1(phase 1 & 2共通)を使用したIPsec片方向通信でのIXIAによる測定結果。

モバイルデータ通信、ISDN通信のサポート

FutureNet NXR-120/CおよびNXR-130/CのUSBポートにはNTTドコモ、イーモバイル、IIJモバイル、日本通信、ソフトバンク等から提供されるモバイルデータ通信端末を接続することができます。モバイルデータ通信はWAN接続の主回線として、もしくはイーサネット接続時のバックアップ回線として利用できます。

また、FutureNet NXR-130/Cは、ISDNインタフェースの搭載にも対応可能です。（4）

- 4 ISDNインタフェースの搭載については弊社営業部までお問い合わせ下さい。

第1章 本装置の概要

・本装置の特長

コマンドによる設定

FutureNet NXRシリーズではGUIでの設定に加えて、コマンドラインでの設定をサポートしています。これによって熟練のネットワーク管理者は楽に設定がおこなえます。また、ネットワーク機器の設定に不慣れなユーザにとってもサンプル設定の取り込みが容易になるメリットがあります。設定のバックアップ/リカバリーなども簡単におこなえます。また、WEB画面による簡易設定機能もサポートしています。

リモート管理ツールからの一括管理

FutureNet NXRシリーズは、従来のGUIやコマンドラインによる設定に加えて、リモート管理専用アプリケーションサーバFutureNet CMS-1200および、同サーバを用いたクラウド型サービスWarpLink CMSによる一元管理に対応しています。専用のWEB画面を通して機器設定情報の管理、ファームウェアの一括更新、ダイナミックなVPNの自動構成、状態管理、死活管理を簡単に行うことができます。障害時には警報通知に加え、WEB画面から管理対象ルータの状態を確認でき、ルータの交換が必要なときには専用サーバから代替機に設定情報を配信できるため、速やかなネットワークの回復が可能です。

消費電力の低減に配慮したハードウェア

FutureNet NXR-120/Cは低消費電力化に努めています。消費電力はファーストイーサリンクの最大負荷時で2.4W(アイドル時1.9W)、ギガビットイーサリンク時の最大負荷時で4.1W(アイドル時3.6W)と、消費電力対性能比の大幅な向上(当社従来製品比)を実現しています。

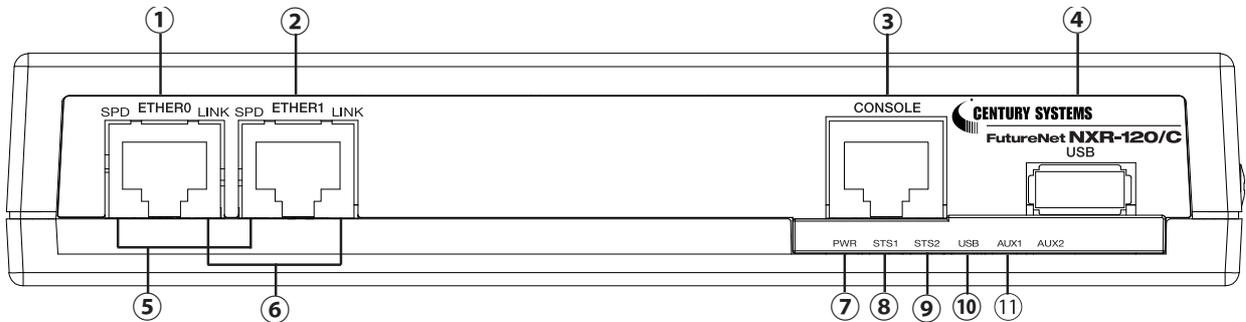
FutureNet NXR-130/Cは企業での厳しい運用要件に耐えられるようハードウェアも強化しています。19インチラックに組み込んでの使用を考慮し、コネクタ類は電源も含めすべてフロントからのアクセスとなります。筐体は19インチラックに2台横に並べられるサイズで、取り付けのためのラックマウントキットはオプションで提供します。ACアダプタのコネクタはロック可能な機構となっており、電源ケーブルの誤脱によるネットワークの停止を防止します。また、消費電力も通常時約8W、最大9.5Wと、消費電力対性能比の大幅な向上(当社従来製品比)を実現しています。

豊富な運用管理機能

FutureNet NXRシリーズはpingやtraceroute、パケットキャプチャなどの診断機能を備えています。また、SNMPやSYSLOGによる運用ログの収集はもちろん、電子メールによるログの送信もできます。オプションのUSBメモリ(Memory Media USB-128:別売)を利用すれば大容量のログを残すことができ、本体の電源切断後でも障害時の原因調査や外部からの不正アタックの解析等に役立ちます。USBメモリには設定情報も保存できるため、機器の故障時には代替装置にUSBメモリを差込んで運用を継続できます。

各部の名称と機能

製品前面 (NXR-120/C)



ETHER 0ポート

主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1ポート

主に WAN 側ポートとして使用します。

CONSOLEポート

CLI 接続の場合に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USBポート

USB Flash メモリ、またはUSB タイプのデータ通信モジュールを挿入します。

SPD LED(緑 / 橙)

ETHERNET ポートの接続速度を示します。

- 10BASE-T モードで接続時 : ■
- 100BASE-TX モードで接続時 : ■
- 1000BASE-T モードで接続時 : ■

LINK LED(緑)

ETHER ポートの状態を示します。

- Link Down 時 : ■
- Link UP 時 : ■
- データ通信時 : ■

PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。
電源投入時 : ■

STS1 LED(赤)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。

- システム起動中 : ■
- システム起動完了状態 : ■
- ファームウェアのアップデート作業中 : ■

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

- システム起動中 : ■
- サービス起動中 : ■
- サービス起動完了状態 : ■

ステータス LED が以下の状態になると、本装置へのアクセスが可能になります。

- STS1 LED : ■
- STS2 LED : ■

USB LED(緑)

USB ステータスを示します。

- USB デバイス装着時 : ■
- USB デバイス未装着時 : ■

AUX1 LED(緑)

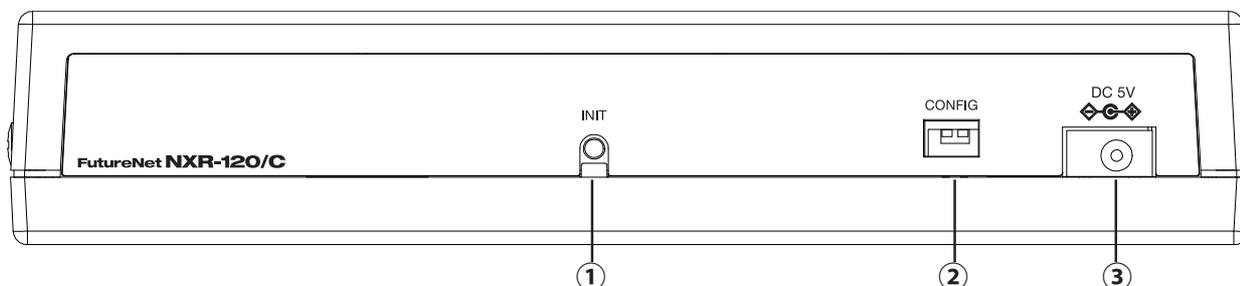
データ通信端末装着時、PPP 未接続状態で取得した電波状況を表示します。

- 圏内 : ■
- 圏外 : ■
- データ通信端末未装着時 : ■

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能

製品背面 (NXR-120/C)



INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するとき
に使用します。

1. INITボタンを押しながら電源を投入します。
2. STS1 LEDが下記の状態になるまで、INIT
ボタンを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. STS1 LEDが再度点灯したら、INITボタンを放
します。STS1 LEDが消灯し、本装置が工場出
荷設定で起動します。

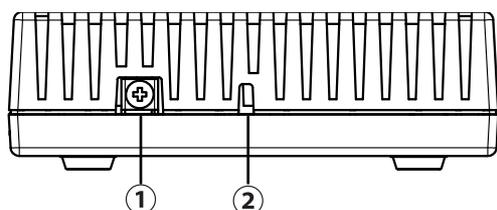
CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に
位置している状態で使用してください。

DC 5V 電源コネクタ

製品付属のACアダプタを接続します。

製品側面 (NXR-120/C)



FG 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

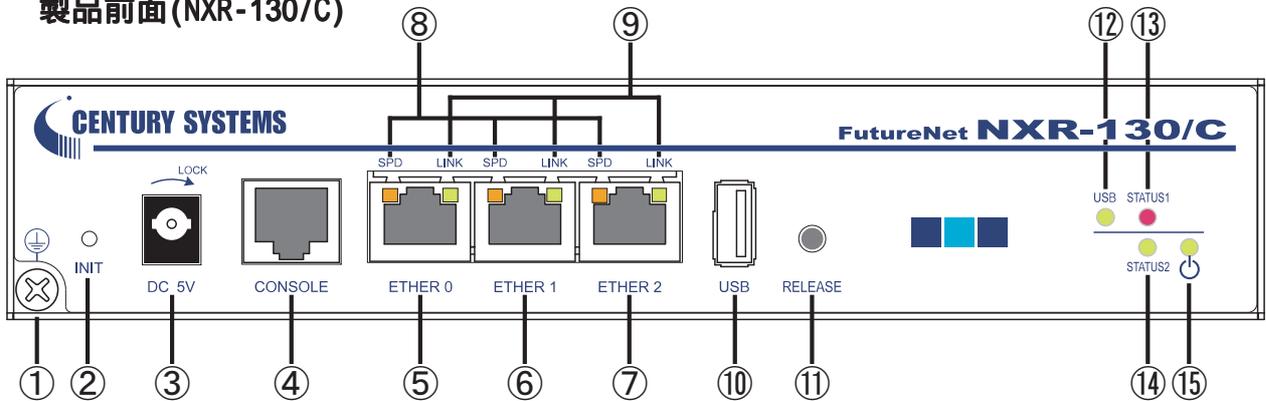
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

. 各部の名称と機能

製品前面(NXR-130/C)



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

1. Init ボタンを押しながら電源を投入します。
2. STATUS1 LED が下記の状態になるまで、Init ボタンを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. STATUS1 LED が再度点灯したら、Init ボタンを放します。STATUS1 LED が消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

DC5V 電源コネクタ(ロック機構付き)

製品付属の AC アダプタを接続します。
電源コネクタの溝に、DC プラグのツメを合わせて、右に回してください。電源コードがロックされます。
電源コードを外す時は、DC プラグ部分を持って左に戻してから抜いてください。

本装置をご使用の際は必ず、電源コードをロックしてご使用ください。

CONSOLE ポート

CLI 接続の場合に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

ETHER 0 ポート

主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

主に WAN 側ポートとして使用します。

ETHER 2 ポート

主に DMZ ポートとして使用します。

本装置の各ETHERポートは、全てGigabit Ethernet に対応しています。別セグメントを接続するポートとして使用可能です。
また、ポートはAuto-MDI/MDIX対応です。
Ethernet規格のLANケーブルを接続してください。

SPEED LED (緑 / 橙)

ETHERNET ポートの接続速度を表示します。

- | | |
|--------------------|-----|
| 10BASE-T モードで接続時 | : ■ |
| 100BASE-TX モードで接続時 | : ■ |
| 1000BASE-T モードで接続時 | : ■ |

LINK/ACT LED (緑)

ETHERNET ポートの接続状態を表示します。

- | | |
|------------|-----|
| Link Down時 | : ■ |
| Link UP時 | : ■ |
| データ通信時 | : ■ |

USB ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信モジュールを挿入します。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能

RELEASE ボタン

USB flashメモリを取り外すときに使用します。
本装置からUSB flashメモリを取り外すときは、
以下の手順で操作してください。

1. RELEASE ボタンの長押し(約3秒)
2. USB LED の消灯を確認
3. USB flashメモリの取り外し

USB LED (緑)

USB ステータスを表示します。

- USB デバイス装着時 : ●
- USB デバイス未装着時 : ●

STATUS1 LED (赤)

本装置のシステム起動時のステータスを表示します。

- システム起動中 : ●
- システム起動完了状態 : ●
- ファームウェアのアップデート作業中 : ☀

これら以外の状態で、STATUS1 が点滅している時はシステム異常が起きておりますので、弊社までご連絡ください。

STATUS2 LED (緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを表示します。

- システム起動中 : ●
- サービス起動中 : ☀
- サービス起動完了状態 : ●

STATUS LED が以下の状態になると、本装置へのアクセスが可能になります。

- STATUS1 LED : ●
- STATUS2 LED : ●

POWER LED (緑)

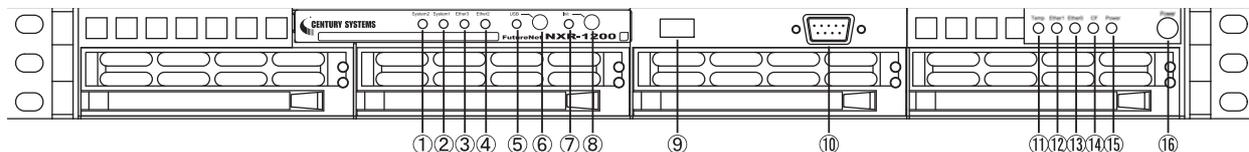
本装置の電源状態を表示します。

- 電源投入時 : ●

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能

製品前面(NXR-1200)



ランプ表示 凡例

消灯時 : 、点灯時 : 、点滅時 : *

SYSTEM 2 LED()

システムの起動状態を示します。

システム起動中 : *

システム起動後(ログイン可能状態) :

SYSTEM 1 LED()

使用しません。

Ether 3 LED()、 Ether 2 LED()

Ether 1 LED()、 Ether 0 LED()

各 Ether ポートの状態を示します。

Link UP :

Link DOWN :

データ通信中 : *

USB Status LED()

USBフラッシュメモリの接続状態を表示します。

接続時 : *

動作状態 :

「USBスイッチ」による取り外し操作時

: *

USBスイッチ

本装置から、USBフラッシュメモリを取り外すときに使用します。以下の手順で操作してください。

1. USBスイッチの長押し(約3秒)
2. USB LED の消灯を確認
3. USBフラッシュメモリの取り外し

Init Status LED()

起動状態を表示します。

起動中 : *

「Initスイッチ」で初期設定にて起動中 :

起動完了時 :

Initスイッチ

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するとき 사용합니다。

1. Initスイッチを押しながら電源を投入します。
2. Init Status LEDが下記の状態になるまで、Initスイッチを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. Init Status LEDが再度点灯したら、Initスイッチを放します。Init Status LEDが消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

USBインタフェース

オプションのUSBフラッシュメモリを接続します。センチュリー・システムズがサポートするUSBフラッシュメモリを使用してください。

RS-232ポート(D-Sub 9ピン)

本装置にCLI接続するためのコンソールポートです。

Temp LED()

温度状態を表示します。

本装置の内部温度が一定以上になった時 :

CF LED()

搭載しているCFカードの使用状態を表示します。

CFへのアクセス時 :

Power LED()

電源の状態を表示します。

電源が投入されている状態 :

Powerスイッチ

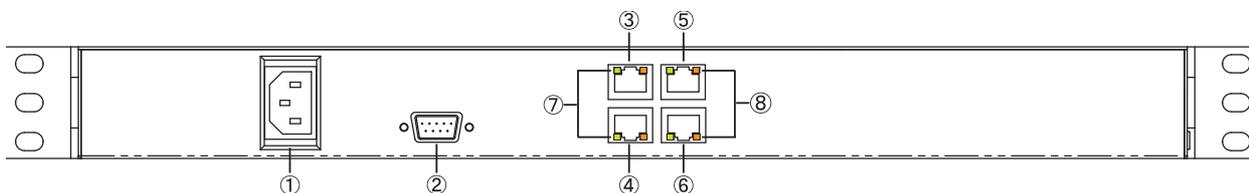
本装置の停止中にスイッチを押すと、本装置が起動します。

本装置の稼働中にスイッチを短時間押すと、正常終了します。また4秒以上スイッチを押すと、強制終了します。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能

製品背面(NXR-1200)



電源ケーブル差し込み口

付属の電源ケーブルを差し込んでください。

RS-232 ポート(D-Sub 9ピン)

使用しません。

Ether0 ポート(RJ-45)

Ether1 ポート(RJ-45)

Ether2 ポート(RJ-45)

Ether3 ポート(RJ-45)

Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。ポートは AutoMDI/MDI-X 対応です。

LINK ランプ ()

Ether ポートのリンク状態を表示します。

Link DOWN :

Link UP :

データ送受信時 : *

速度表示ランプ (/)

Ethernet の接続速度を表示します。

10Base-Tモード :

100Base-TXモード :

1000Base-Tモード :

・動作環境

本製品をお使いいただくには、以下の環境を満たしている必要があります。

ハードウェア環境

- ・本製品に接続するコンピュータの全てに、LAN インタフェースがインストールされていること。
- ・ADSL モデム /CATV モデム /ONU に、10BASE-T、100BASE-TX または 1000BASE-T のインターフェースが搭載されていること。
- ・本製品と全てのコンピュータを接続するためのハブやスイッチングハブが用意されていること。
- ・本製品と全てのコンピュータを接続するために必要な種類のネットワークケーブルが用意されていること。

ソフトウェア環境

- ・TCP/IP を利用できる OS がインストールされていること。
- ・GUI で本装置にログインする場合は、接続されている全てのコンピュータの中で少なくとも1台に、ブラウザがインストールされていること。弊社では Internet Explorer 8 で動作確認を行っています。

なおサポートにつきましては、本製品固有の設定項目と本製品の設定に関する OS 上の設定に限らせていただきます。

OS 上の一般的な設定やパソコンにインストールされた LAN ボード / カードの設定、各種アプリケーションの固有の設定等のお問い合わせについてはサポート対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

第2章

装置の設置

第2章 装置の設置

装置の設置

本装置の各設置方法について説明します。

下記は設置に関する注意点です。よくご確認いただいてから設置してください。



注意！

本装置は直射日光が当たるところや、温度の高いところには設置しないようにしてください。
内部温度が上がり、動作が不安定になる場合があります。



注意！

ACアダプタのプラグを本体に差し込んだ後にACアダプタのケーブルを左右および上下に引っ張らず、
緩みがある状態にしてください。
抜き差しもケーブルを引っ張らず、コネクタを持って行ってください。
また、ACアダプタのケーブルを足などで引っ掛けてプラグ部に異常な力が掛からないように配線にご注意ください。



注意！

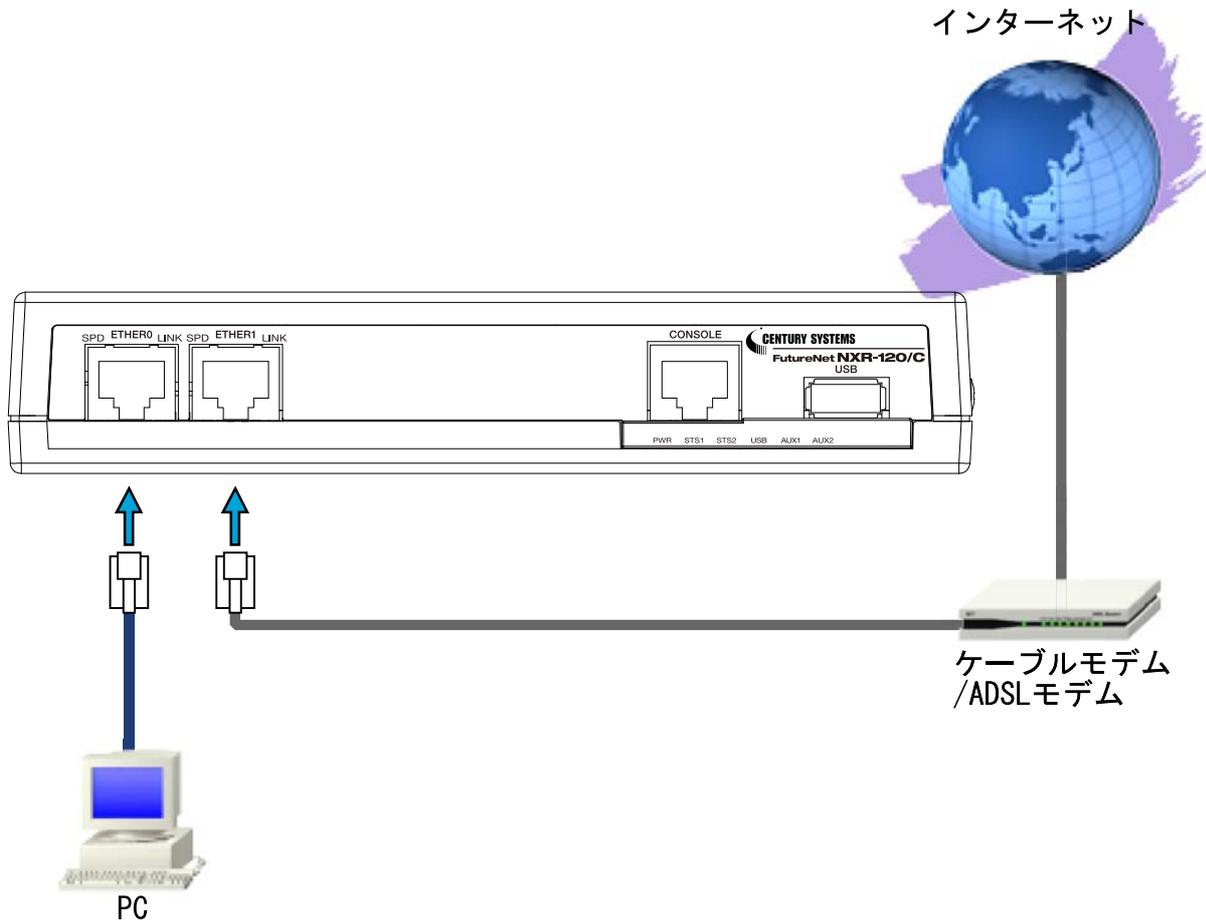
本装置側でも各ポートでARP tableを管理しているため、PCを接続しているポートを変更するとそのPC
から通信ができなくなる場合があります。このような場合は、本装置側のARP tableが更新されるまで
(数秒～数十秒)通信できなくなりますが、故障ではありません。

第2章 装置の設置

装置の設置

NXR-120 と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>



- 1 NXR-120 と xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU や PC ・ HUB など、接続する全ての機器の電源が “ OFF ” になっていることを確認してください。
- 2 NXR-120 の前面にある ETHER 1 ポートと、xDSL / ケーブルモデムや ONU を、LAN ケーブルで接続してください。
- 3 NXR-120 の前面にある ETHER 0 ポートと PC を LAN ケーブルで接続してください。
- 4 NXR-120 と AC アダプタ、AC アダプタとコンセントを接続してください。
- 5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全ての Ethernet ポートは、AutoMDI / MDI-X 対応です。

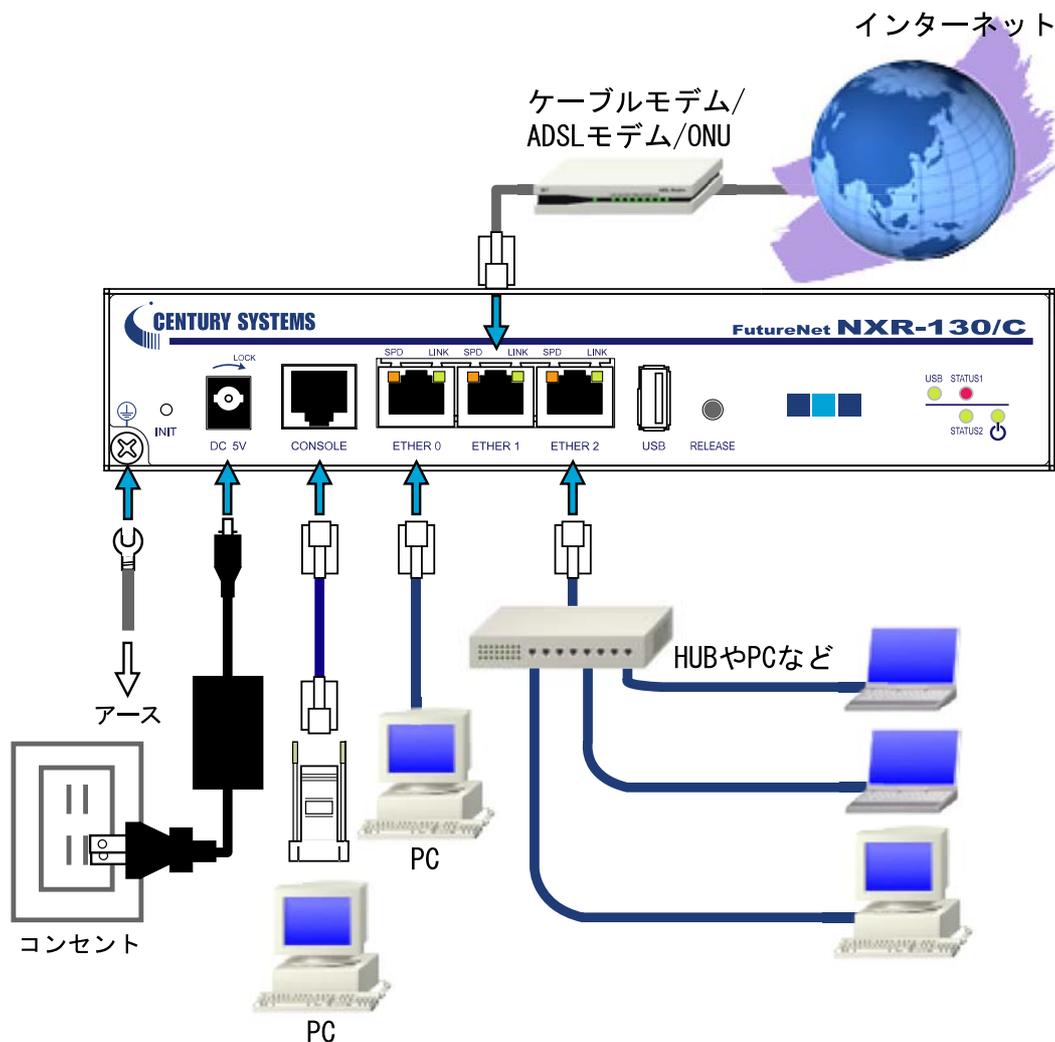
工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0 ポートに接続した PC からおこないます。

第2章 装置の設置

装置の設置

NXR-130 と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>



1 NXR-130 と xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU や PC ・ HUB など、接続する全ての機器の電源が “ OFF ” になっていることを確認してください。

2 NXR-130 の前面にある ETHER 1 ポートと、xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU を、LAN ケーブルで接続してください。

3 NXR-130 の前面にある ETHER 0 ポート、ETHER 2 ポートと、PC を LAN ケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 NXR-130 と AC アダプタ、AC アダプタとコンセントを接続してください。

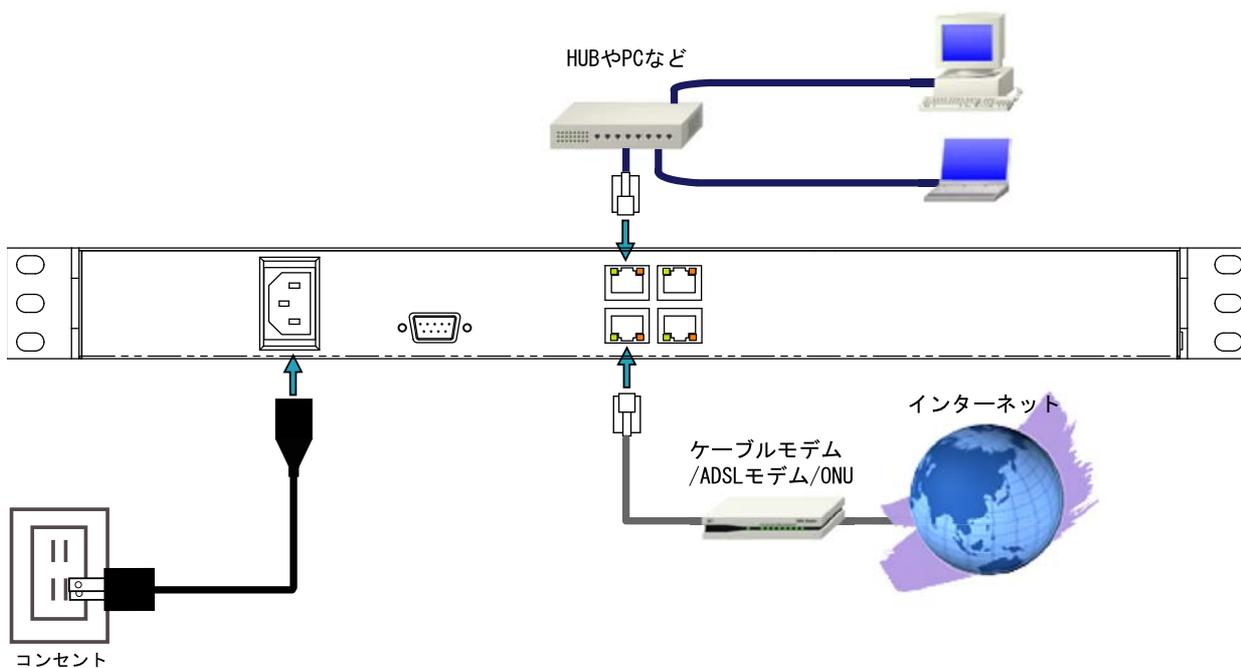
5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全ての Ethernet ポートは、AutoMDI / MDI-X対応です。

装置の設置

NXR-1200 と、PC や ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>



- 1 本装置と ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU や PC ・ HUB など、接続する全ての機器の電源が “ OFF ” になっていることを確認してください。
 - 2 本装置の前面にある Ether 1 ポートと、ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU を、LAN ケーブルで接続してください。
 - 3 本装置の前面にある Ether 0 ポートと、HUB や PC を LAN ケーブルで接続してください。
工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、Ether 0 ポートに接続した PC からおこないます。
- 本装置の全 Ethernet ポートは Gigabit Ethernet、AutoMDI/MDI-X に対応しています。**
- 4 本装置と電源コード、電源コードとコンセントを接続してください。
 - 5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。NXR-1200 の本体前面にある Power スイッチを押すと、本装置が起動します。

第3章

設定方法の概要

第3章 設定方法の概要

. CLI の接続方法

はじめに

ユーザーズガイド CLI 編は、FutureNet NXR シリーズに搭載された Command Line Interface(以下、CLI) について説明しています。

CLI のアクセス方法

本装置の CLI へのアクセスは、以下の方法で接続できます。

- CONSOLE 接続
本装置の CONSOLE(RS-232C)ポートと接続した PC からアクセスします。
- TELNET 接続
本装置の ETHER 0 ポートと接続した PC から IPv4 を用いてアクセスします。
工場出荷設定では、ETHER 0 に IPv4 アドレス(192.168.0.254)が設定されています。
- SSH 接続
SSH 接続時の認証方法は、plain-text password をサポートしています。

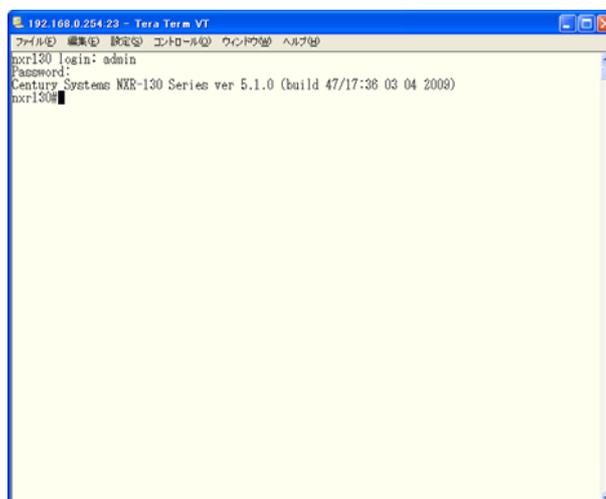
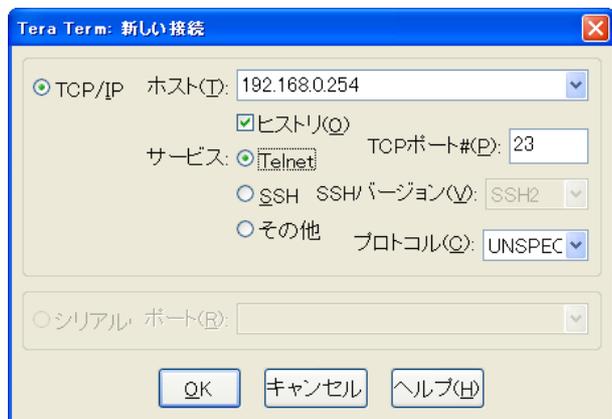
本装置の工場出荷設定状態時は、CONSOLE か、IPv4 使用した TELNET での CLI へのアクセスが可能です。

本装置へのログイン (TELNET の場合)

1. TELNET 接続を開始すると、ログイン画面が表示されます。
2. ユーザ名、パスワード共に「admin」(工場出荷設定)を入力してログインします。

以上で本装置へのログインは完了です。

<画面はTeraTermによるTelnetのログイン画面です>



本装置へのログイン (CONSOLE の場合)

CONSOLE ポートを利用して、NXR-120/C へログインします。以下の手順で接続します。

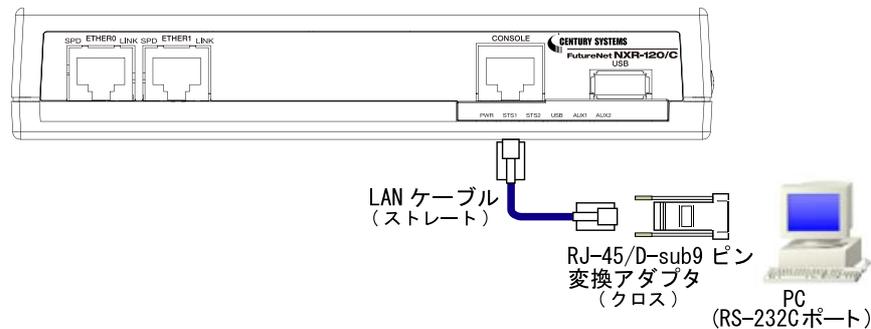
1. NXR-120/C と PC を接続します。

1. 本装置前面の CONSOLE ポートと、変換アダプタを、LAN ケーブルで接続します。接続に使用する以下の部品は、製品に付属されています。

- ・LAN ケーブル(ストレート、1 m)
- ・RJ-45/D-sub9 ピン変換アダプタ(クロス)

2. 変換アダプタのコネクタを、PC の RS-232C ポートに接続してください。

<接続例: NXR-120/C>



3. 全ての接続が完了しましたら、本装置に電源を投入してください。本体前面の「PWR LED」が点灯します。

以上で CONSOLE ポートと PC の接続は完了です。続いて、本装置へのログインに移ります。

第3章 設定方法の概要

. CLI の接続方法

本装置へのログイン (CONSOLE の場合)

CONSOLE ポートを利用して、NXR-130/C へログインします。以下の手順で接続します。

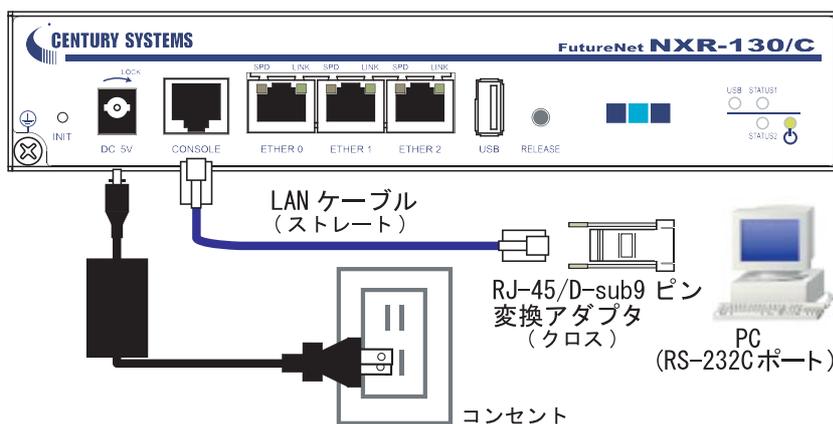
1' . NXR-130/C と PC を接続します。

1. 本装置前面の CONSOLE ポートと、変換アダプタを、LAN ケーブルで接続します。接続に使用する以下の部品は、製品に付属されています。

- ・ LAN ケーブル(ストレート、1 m)
- ・ RJ-45/D-sub9 ピン変換アダプタ(クロス)

2. 変換アダプタのコネクタを、PC の RS-232C ポートに接続してください。

< 接続例: NXR-130/C >



3. 全ての接続が完了しましたら、本装置に電源を投入してください。本体前面の「POWER LED」が点灯します。

以上で CONSOLE ポートと PC の接続は完了です。続いて、本装置へのログインに移ります。

. CLI の接続方法

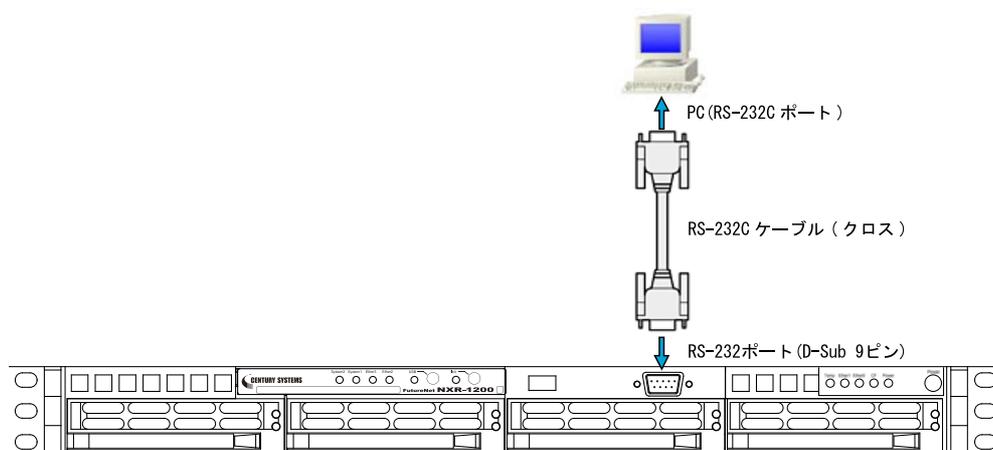
本装置へのログイン (CONSOLE の場合)

本体前面の RS-232 ポートを利用して、NXR-1200 へログインします。以下の手順で接続します。

1 ' ' . NXR-1200 と PC を接続します。

1. 本装置前面の RS-232 ポートと、RS-232C ケーブル(クロス)を接続します。
2. RS-232C ケーブルを、PC の RS-232C ポートに接続してください。

<接続例: NXR-1200>



3. 全ての接続が完了しましたら、本装置に電源を投入してください。本体前面の「Power LED」が点灯します。

以上で CONSOLE ポートと PC の接続は完了です。続いて、本装置へのログインに移ります。

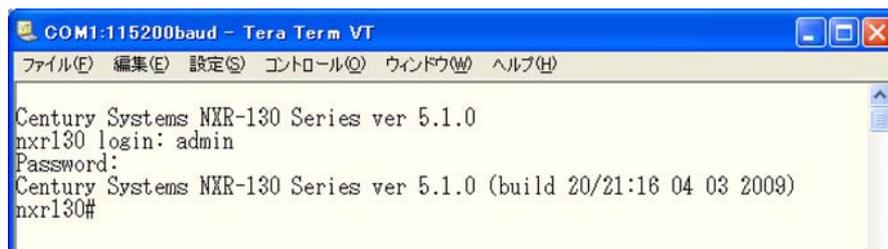
. CLI の接続方法

本装置へのログイン (CONSOLE の場合)

2. 本装置を接続した PC で、設定用のターミナルソフト (TeraTerm 等) を起動します。
3. 接続条件設定は以下のように設定します。 < 設定例 (TeraTerm での接続設定画面) >
設定方法については、ご使用の各ターミナルソフトの説明書をご覧ください。



4. 「Return」キーまたは「Enter」キーを押すと、ログイン画面が表示されます。
5. ユーザ名、パスワード共に「admin」(工場出荷設定)を入力してログインします。

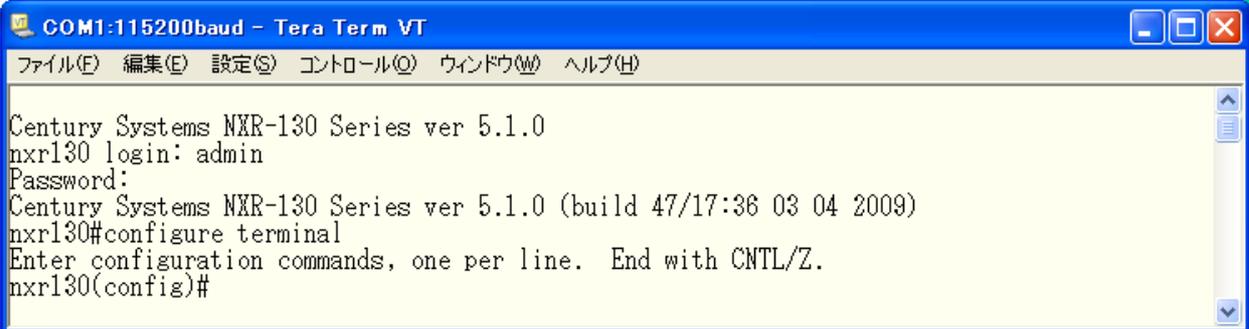


以上で本装置へのログインは完了です。

II . GUI の接続方法

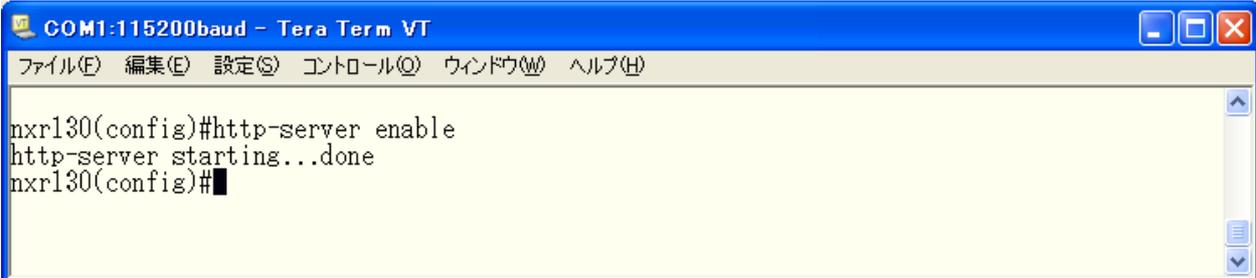
本装置へのログイン (GUI の場合)

1. CLI (TELNET/CONSOLE) でログインした後、“configure terminal” コマンドで、CONFIGURATION モードに移行します。



```
COM1:115200baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0
nxr130 login: admin
Password:
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0 (build 47/17:36 03 04 2009)
nxr130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nxr130(config)#
```

2. “http-server enable” コマンドを実行して、HTTP サーバを起動します。



```
COM1:115200baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
nxr130(config)#http-server enable
http-server starting...done
nxr130(config)#
```

<次ページに続く>

第3章 設定方法の概要

II . GUIの接続方法

3 . Web ブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に、以下の IP アドレスとポート番号を入力してください。

http://192.168.0.254:880/

192.168.0.254 は、ETHER 0 ポートの工場出荷時の IP アドレスです。アドレスを変更した場合は、そのアドレスを指定してください。**設定画面のポート番号 880 は変更することができません。**

4 . 認証ダイアログ画面が表示されます。ユーザ名、パスワード共に「admin」(工場出荷設定)を入力してログインします。



5 . 下記のような画面が表示されます。以上で本装置へのログインは完了です。



第3章 設定方法の概要

II. GUIの接続方法

本装置のGUIで設定可能な項目の一覧です。

[インタフェース]

Ethernet I/F

- ・Ethernet

PPP I/F

- ・PPP アカウント
- ・PPPoE

[ネットワーク]

IPv4

- ・スタティックルート
- ・固定ARP

DHCP

- ・DHCP ネットワーク
- ・DHCP ホスト
- ・DHCP リレー

DNS

NTP

[ユーザインタフェース]

SSH

- ・SSH サービス
- ・SSH 鍵 (netconf)

NETCONF

- ・NETCONF

CRP

- ・CRP グローバル
- ・CRP クライアント

[ファイアウォール]

アクセスリスト

- ・IPv4 アクセスリスト

[システム設定]

- ・本装置のパスワード
- ・ホスト名

ログ

- ・システムログ
- ・ログメール

設定情報

- ・設定の保存
- ・設定の復帰
- ・設定のリセット

ファームウェア

- ・アップデート

- ・内蔵時計

- ・再起動

[運用機能]

ネットワーク診断

- ・Ping
- ・Traceroute

パケットダンプ

- ・実行
- ・結果表示

ログ情報

- ・システムログ

システム情報

- ・システム情報
- ・サポート情報

III. コマンド実行モード

CLIのコマンド実行環境には以下の2つのモードがあります。
各モードでは、それぞれ実行できるコマンドの種類が異なります。

ユーザーモード(VIEWモード)

ログイン直後のモードです。
ユーザモードでは、ネットワークやサービスの情報を表示するコマンドのみ実行することが可能です。
本モードでのプロンプトは、「『ホスト名』#」で表示されます。

“logout” / “exit” コマンドを入力すると、CLIを終了し、ログアウトします。

“configure terminal” コマンドを入力すると特権モードに入ることができます。

<CLI ログアウト時の表示例>

```
nxrl30#exit
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0
nxrl30 login: █
```

<特権モードへ移行時の表示例>

```
nxrl30#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nxrl30(config)#
```

特権モード(CONFIGURATIONモード)

特権モードでは、ユーザモードで実行可能なコマンドに加え、内部システム情報、コンフィグレーション情報を表示するコマンドや、本装置に対して設定をおこなうコマンドの実行が可能になります。

本モードでのプロンプトは、「『ホスト名』(config)#」で表示されます。

“exit” コマンドを入力するか、「Ctrl」+「c」を入力するとユーザーモードに戻ることができます。

<ユーザーモードへ移行時の表示例>

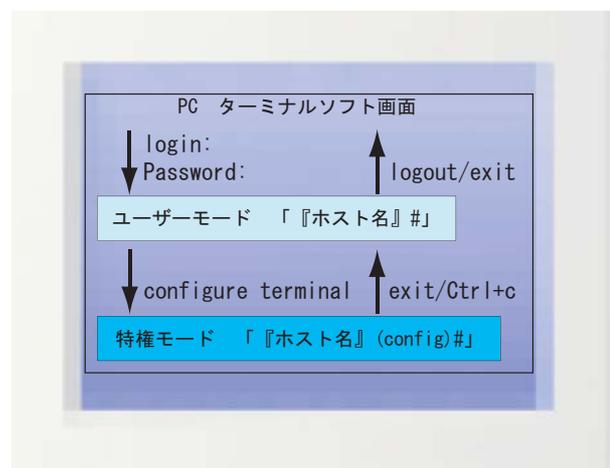
```
nxrl30(config)#exit
nxrl30#
```

更に、各設定の詳細設定をおこなうには、特権モードから各種モードへ移行します。

<モード間の移行>

各モード間の移行をまとめると次のようになります。

本書では、ホスト名を「nxrl30」として説明します。



IV . コマンド入力時の補助機能

コマンド補完機能

コマンド入力時に、コマンドを特定できる部分まで入力すれば自動的に補完する機能です。例えば、“show interface” コマンドの場合、“sh int”とだけ入力しても実行できます。また、“sh”と入力して「Tab」キーを押すと“show”、“int”と入力して「Tab」キーを押すと“interface”と、自動的に残りのワード部分を補完して表示します。

コマンドヒストリ機能

過去に実行したコマンドを表示する機能です。「↑」キー、または「Ctrl」+「p」を入力すると、過去に実行したコマンドを一つずつさかのぼって表示することができます。また、「↓」キーや「Ctrl」+「n」を入力すると、一つずつ新しい実行コマンドへ戻りながら表示します。

コマンドヘルプ機能

後に続くワードの候補の一覧と、その意味を表示する機能です。

ワードの後ろにスペースを入れ、「？」キーを入力すると、候補の一覧を表示することができます。

例えば、“show ?”と入力すると、後に続くコマンドワードと、そのワードの意味を表示します。

また、スペースを入れずに「？」を入力すると、直前のワードの意味を表示します。

<cr>と表示されるものは、そこで入力が完了するコマンドがあることを意味します。

<スペースの後ろに「？」キー入力時の表示例>

```
nxr130#show ?
arp          Address Resolution Protocol (ARP)
clock       System Clock
config      Configurations
dhcp       Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)
disk0      External Storage information
dns        Domain Name System (DNS)
fast-forwarding Fast-forwarding
--More--
```

<直後に「？」キー入力時の表示例>

```
nxr130#show?
show Show running system information
```

コマンドページャ機能

コマンドの表示結果が接続ターミナルのウィンドウサイズより大きい場合に、行送りで表示する機能です。“terminal length”コマンドを実行することによって本機能を有効にすることができます。

例えば、“terminal length 20”を実行すると、ページサイズが20行に設定され、コマンド結果を1ページ(20行)ずつ表示します。

表示中のページをスクロールしたい場合は、「Space」キーで1ページずつ、「Enter」キーで1行ずつ行送りします。

ただし、スクロールダウンはできません。

“terminal no length”を実行すると、ページャ機能は無効になります。

第4章

本装置のノード構造

ノード構造について

本装置のノード構造は以下ようになっています。

各設定方法について、本書では上記の各ノード毎に説明します。

```
view node
  |---- global node
        |----- interface node
        |----- interface tunnel node
        |----- interface ppp node
        |----- dns node
        |----- l2tp node
        |----- l2tpv3-tunnel node
        |----- l2tpv3-xconnect node
        |----- l2tpv3-group node
        |----- rip node
        |----- ospf node
        |----- bgp node
        |----- ntp node
        |----- snmp node
        |----- syslog node
        |----- dhcp-server node
        |----- dhcp-relay node
        |----- ipsec local policy node
        |----- ipsec isakmp policy node
        |----- ipsec tunnel policy node
        |----- QoS (class-policy node)
        |----- QoS (class-filter node)
        |----- crp client node
        |----- route-map node
```

<本装置ノード構造図>

第 5 章

`view(exec) node`

view(exec) node

show config <設定項目: 状態表示 show><設定補足: config>

- <説明> 設定ファイルを表示します。
- <書式> show config [xml]
- <オプション> xml : XML format

show flash-config <設定項目: 状態表示 show><設定補足: config>

- <説明> フラッシュディスク上の設定ファイルを表示します。
- <書式> show flash-config [xml]
- <オプション> xml : XML format

show ip route <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> ルーティングテーブルを表示します。
- <書式> show ip route [bgp|cache|connected|database|ospf|rip|static]

show ip rip <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> RIPに関する情報を表示します。
- <書式> show ip rip [[interface [INTERFACE]][database]]
- <パラメータ> INTERFACE : ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
: ppp <0-4>
: tunnel <0-255>

show ip protocols <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> ルーティングプロトコルに関する情報を表示します。
- <書式> show ip protocols [ospf|rip]

show ip access-list <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> IPアクセスリストを表示します。
- <書式> show ip access-list [WORD]
- <オプション> WORD : Name of access list

view(exec) node

show ip access-list

- <説明> IPv4のアクセスリストを表示します。
- <書式> ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP PROTOCOL
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP ICMP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP TCP/UDP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP TCP-OPTIONS
- <オプション>
- SRC-IP : A.B.C.D | A.B.C.D/M | any | FQDN
 DST-IP : A.B.C.D | A.B.C.D/M | any | FQDN
 PROTOCOL : <0-255> : Protocol number
 ICMP : icmp | icmp <0-255> : ICMP <ICMP type>
 TCP/UDP : tcp | udp
 : tcp | udp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 TCP-OPTIONS : tcp syn : TCP syn packets
 : tcp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535> syn

show ip default-gateway <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> デフォルトゲートウェイを表示します。
- <書式> show ip default-gateway

show ip snat|dnat <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <説明> SNAT | DNATを表示します。
- <書式> show ip snat|dnat [WORD]
- <オプション> WORD : NAT rule name

show ip statistics <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

- <書式> show ip statistics

view(exec) node

show ip conntrack

ip|ipv6 conntrack

<説明> conntrack tableを表示します。

<書式> show ip|ipv6 conntrack

ip|ipv6 conntrack limit

<説明> session limit機能によってdropされたパケットのカウンタを表示します。

<書式> show ip|ipv6 conntrack limit

show ip spi-filter <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IP>

<説明> SPI filterを表示します。

<書式> show ip spi-filter

show ipv6 route <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

<説明> IPv6ルーティングテーブルを表示します。

<書式> show ipv6 route [cache|connected|database|static]

show ipv6 access-list <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

<説明> IPv6アクセスリストを表示します。

<書式> show ipv6 access-list [WORD] : [WORD] Name of access list

show ipv6 access-list

<説明> IPv6のアクセスリストを表示します。

<書式> ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV 6 DST-IPV6
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 PROTOCOL
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 ICMPV6
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 TCP/UDP
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 TCP-OPTIONS

<オプション>

SRC-IPV6 : X:X::X:X | X:X::X:X/M | any | FQDN
 DST-IPV6 : X:X::X:X | X:X::X:X/M | any | FQDN
 PROTOCOL : <0-255> : Protocol number
 ICMPV6 : icmpv6 | icmpv6 <0-255> : IPv6 ICMPv6 <IPv6 ICMP type>
 TCP/UDP : tcp | udp
 : tcp | udp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 TCP-OPTIONS : tcp syn : TCP syn packets
 : tcp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535> syn

show ipv6 forwarding <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

<説明> IPv6 フォワーディングの on/off を表示します。

<書式> show ipv6 forwarding

view(exec) node

show ipv6 interface <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

- <説明> IPv6 インタフェースの状態を表示します。
- <書式> show ipv6 interface brief
show ipv6 interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>] [brief]
show ipv6 interface loopback <0-9> [brief]
show ipv6 interface ppp <0-4> [brief]
show ipv6 interface tunnel <0-255> [brief]

show ipv6 default-gateway <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

- <説明> IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。
- <書式> show ipv6 default-gateway

show ipv6 statistics <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

- <説明> IPv6 のネットワークの統計情報を表示します。
- <書式> show ipv6 statistics

show ipv6 conntrack <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

- <説明> IPv6 Connection Tracking の状態を表示します。
- <書式> show ipv6 conntrack

show ipv6 spi-filter <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPv6>

- <書式> IPv6 SPI filter を表示します。
- <説明> SPI filter

show ntp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: NTP>

- <説明> NTP サービスの状態を表示します。
- <書式> show ntp

show dns <設定項目: 状態表示 show><設定補足: DNS>

- <説明> DNS サービスの状態を表示します。
- <書式> show dns

show dhcp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: DHCP>

- <説明> DHCP サービスの状態を表示します。
- <書式> show dhcp [lease]
<オプション> lease : DHCP Leased IP Addresses

show syslog <設定項目: 状態表示 show><設定補足: SYSLOG>

- <説明> シスログを表示します。
- <書式> show syslog bootlog | maillog | message
show syslog bootlog | maillog | message <lines:1-99999>

show arp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: ARP>

- <説明> ARP テーブルを表示します。
- <書式> show arp

第5章 view(exec) node

view(exec) node

show ipv6 neighbors <設定項目: 状態表示 show><設定補足: NDP>

<説明> IPv6 ネイバーを表示します。

<書式> show ipv6 neighbors

show disk0 <設定項目: 状態表示 show><設定補足: CF>

<説明> 外部ストレージ情報を表示します。

<書式> show disk0

show uptime <設定項目: 状態表示 show><設定補足: uptime>

<説明> システムの稼働時間を表示します。

<書式> show uptime

show tech-support <設定項目: 状態表示 show><設定補足: tech-support>

<説明> テクニカルサポート情報を表示します。

<書式> show tech-support

show memory <設定項目: 状態表示 show><設定補足: memory>

<説明> メモリ使用量を表示します。

<書式> show memory

show process

<説明> アクティブなプロセスに関する情報を表示します。

<書式> show process

show clock <設定項目: 状態表示 show><設定補足: date>

<説明> システムクロックを表示します。

<書式> show clock

show history <設定項目: 状態表示 show><設定補足: command history>

<説明> 過去に実行した運用コマンドの履歴を表示します。

<書式> show history

show file systems <設定項目: 状態表示 show><設定補足: file systems>

<説明> ファイルシステムを表示します。

<書式> show file systems

show version <設定項目: 状態表示 show><設定補足: firmware version>

<説明> ファームウェアのバージョンを表示します。

<書式> show version

show loadavg <設定項目: 状態表示 show><設定補足: load average>

<説明> CPU ロードアベレージを表示します。

<書式> show loadavg

view(exec) node

show l2tp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: L2TP>

- <説明> L2TPトンネルステータスを表示します。
<書式> show l2tp session : L2TP Session information
show l2tp tunnel : L2TP Tunnel information

show l2tpv3 <設定項目: 状態表示 show><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3の情報を表示します。
<書式> show l2tpv3

show l2tpv3 tunnel <設定項目: 状態表示 show><設定補足: tunnel>

- <説明> L2TPv3のトンネル情報を表示します。
<書式> show l2tpv3 tunnel [<tunnel-id:1-4294967295>] [detail]

show l2tpv3 session <設定項目: 状態表示 show><設定補足: session>

- <説明> L2TPv3のセッション情報を表示します。
<書式> show l2tpv3 session
show l2tpv3 session <session-id:1-4294967295> [detail]
show l2tpv3 session detail

show l2tpv3 interface <設定項目: 状態表示 show><設定補足:L2TPv3>

- <説明> Xconnect インタフェース情報を表示します。
<書式> show l2tpv3 interface : Xconnect interface information
show l2tpv3 interface detail : Detail information
show l2tpv3 interface <0-2> [vid <1-4094>] [detail]

show l2tpv3 fdb <設定項目: 状態表示 show><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3 FDB 情報を表示します。
<書式> show l2tpv3 fdb : L2TPv3 FDB information
show l2tpv3 fdb [local|forward]
show l2tpv3 fdb interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>] [local|forward]

show l2tpv3 group <設定項目: 状態表示 show><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3グループを表示します。
<書式> show l2tpv3 group : L2TPv3 group commands
show l2tpv3 group <1-4095> : L2TPv3 group identifier

show l2tpv3 peer <設定項目: 状態表示 show><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3ピアを表示します。
<書式> show l2tpv3 peer
show l2tpv3 peer A.B.C.D : Remote Router-ID

view(exec) node

show interface <設定項目: 状態表示 show><設定補足: interface>

- <説明> インタフェースステータスと設定情報を表示します。
- <書式> show interface ethernet <0-2> [mode]
show interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
show interface loopback <0-9>
show interface ppp <0-4>
show interface tunnel <0-255>

show ssh-public-key<設定項目: 状態表示 show><設定補足: SSH 公開鍵>

- <説明> Netconf 接続の SSH 公開鍵を表示します。
- <書式> show ssh-public-key user netconf

show users <設定項目: 状態表示 show><設定補足: CLI 接続表示>

- <説明> ログインセッションの情報を表示します。
- <書式> show users

show vrrp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: VRRP>

- <説明> VRRP の情報を表示します。
- <書式> show vrrp

show ppp <設定項目: 状態表示 show><設定補足: PPP の接続状態表示>

- <説明> PPP の情報を表示します。
- <書式> show ppp <0-4> : PPP interface number

view(exec) node

show pppoe-bridge <設定項目: 状態表示 show><設定補足: PPPoe-bridge>

- <説明> PPPoE bridgeの状態を表示します。
- <書式> show pppoe-bridge

show ipsec <設定項目: 状態表示 show><設定補足: IPsec>

- <説明> IPsecの情報を表示します。
- <書式> show ipsec ca certificates : Display IPsec CA certificates
show ipsec certificates : Display IPsec certificates
show ipsec crls : Display IPsec crls
show ipsec policy : Display IPsec policy
show ipsec public-keys : Display IPsec public-keys
show ipsec rsa-pub-key : Display IPsec RSA public key
show ipsec sa : Display IPsec Security Associations
show ipsec status tunnel <1-65535> | brief | tunnel <1-65535> brief : Display IPsec status

show ip rip <設定項目: 状態表示 show><設定補足: RIP>

- <説明> RIPの情報を表示します。
- <書式> show ip rip
show ip rip interface (INTERFACE|)
show ip rip database

show ip ospf <設定項目: 状態表示 show><設定補足: OSPF>

- <説明> OSPFの情報を表示します。
- <書式> show ip ospf
show ip ospf neighbor (detail|)
show ip ospf interface (INTERFACE|)
show ip ospf database (external|summary|network|router|asbr-summary|)
show ip ospf route
show ip ospf virtual-links

show ip bgp

- <説明> BGPの情報を表示します。
- <書式> show ip bgp
show ip bgp A.B.C.D|A.B.C.D/M
show ip bgp neighbors (A.B.C.D advertised-routes|received-routes|routes)
show ip bgp route-map WORD
show ip bgp scan
show ip bgp summary

view(exec) node

show mobile <設定項目: 状態表示 show><設定補足: mobile>

<説明> 3Gデータ通信カードに関する情報を表示します。

<書式>

カード情報の表示

```
show mobile (<0-1>|)
```

APN情報の表示(カードによってはppp使用中は取得不可)

```
show mobile <0-1> ap
```

電話番号の表示(カードによってはppp使用中は取得不可)

```
show mobile <0-1> phone-number
```

電波強度の表示(カードによってはppp使用中は取得不可)

```
show mobile <0-1> signal-level
```

<備考> NXR-1200はmobile非対応のため、本コマンドは実装されていません。

show fast-forwarding<設定項目: 状態表示 show><設定補足: fast-forwarding>

<説明> ファストフォワーディングの情報を表示します。

<書式> show fast-forwarding

show product

<説明> 製品に関する情報を表示します。

<書式> show product

<備考> ベンダー、製品情報、ファームウェアバージョン、シリアル番号、サポートサイト、サポート情報等が表示されます。

clock set <設定項目: Date>

<説明> 時刻設定をします。

<書式> clock set HH:MM:SS Day Month Year

<オプション> HH : hour
MM : minutes
SS : seconds
Day (1-31) : Day of month
Month (1-12) : Month of year
Year (2007-2037) : Year

erase flash-config <設定項目: ファイル操作> <設定項目: 初期化>

<説明> フラッシュ上の設定を消去します。

<書式> erase flash-config : Configurations on Flash ROM

delete <設定項目: ファイル操作> <設定項目: 削除>

<説明> ファイルを消去します。

<書式> delete bootlog

delete dump : dumpファイルの削除

delete file FILENAME (disk0: filename)

delete syslog : syslogの削除(初期化)

view(exec) node

save config <設定項目: ファイル操作> <設定項目: config 保存>

- < 説 明 > 設定をフラッシュに保存します。
< 書 式 > save config : flash への保存

dir <設定項目: ファイル操作> <設定項目: ファイル表示>

- < 説 明 > USBに保存されているファイルを表示します。
< 書 式 > dir

copy

boot log|dump|sys log

- < 説 明 > boot log, dump, syslog を外部にコピーします。
< 書 式 > copy boot log|dump|sys log ssh://<user@IP>/FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy boot log|dump|sys log ftp://<IP>/FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy boot log|dump|sys log disk0:FILENAME
< 備 考 > ソースアドレスを指定することができます。

configのバックアップ

- < 説 明 > 設定ファイルのバックアップをおこないます。
< 書 式 > copy config ssh://<user@IP>/FILENAME [all] (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy config ftp://<IP>/FILENAME [all] (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy config disk0:FILENAME [all]
< 備 考 > 設定ファイルをバックアップ(外部にコピー)します。
all 指定の場合は、ipsecを含む全てのconfigをtgz形式でコピーします。
指定なしの場合は、configのみをxml形式でコピーします。
ソースアドレスを指定することができます。

configの復帰

- < 説 明 > 設定ファイルの復帰をおこないます。
< 書 式 > copy ssh://user@A.B.C.D|X:X::X:X/FILENAME
flash-config|disk0:FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy ftp://A.B.C.D|X:X::X:X/FILENAME
flash-config|disk0:FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)
copy disk0:FILENAME flash-config
< 備 考 > 設定ファイルの復帰(local flashまたはUSB/CFへの保存)をおこないます。
disk0 --> disk0へのcopyは不可
ソースアドレスを指定することができます。

ssh公開鍵のインポート

- < 説 明 > SSH公開鍵をインポートします。
< 書 式 > copy ssh://<user@IP>/FILENAME|ftp://<IP>/FILENAME|disk0:FILENAME
ssh-public-key user netconf (source A.B.C.D|X:X::X:X)
< 備 考 > ソースアドレスを指定することができます。

view(exec) node

firmware update <設定項目: ファームウェア> <設定項目: アップデート>

- <説明> ファームウェアをアップデートします。
- <書式> `firmware update ssh://<user@IP>/FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)`
`firmware update ftp://<IP>/FILENAME (source A.B.C.D|X:X::X:X)`
`firmware update disk0:FILENAME`
- <備考> ソースアドレスを指定することができます。

restart <設定項目: 再起動>

- <説明> サービスを再起動します。
- <書式> `restart dhcp-relay` : Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) Relay
`restart dhcp-server` : Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) Server
`restart dns` : Domain Name Service (DNS)
`restart http-server` : HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) Server
`restart ipsec` : IP security service (IPsec)
`restart l2tp` : Layer Two Tunneling Protocol version2 (L2TPv2)
`restart l2tpv3` : Layer Two Tunneling Protocol version3 (L2TPv3)
`restart ntp` : Network Time Protocol (NTP)
`restart ospf` : Open Shortest Path First (OSPF)
`restart rip` : Routing Information Protocol (RIP)
`restart snmp` : Simple Network Management Protocol (SNMP)
`restart ssh-serve` : Secure SHell Server
`restart syslog` : Syslog
`restart system` : System restart
`restart telnet-server` : Telnet Server
`restart vrrp` : Enable Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) for IP

configure <設定項目: configure>

- <説明> コンフィグレーションモードへ移行します。
- <書式> `configure terminal`

view(exec) node

dump

<説明> NXR が送受信したパケットを dump する機能です。採取した dump 情報を、外部記憶装置(USB やCF)に保存したり、SSH を使用して外部サーバに転送することも可能です。

なお、dump 情報は RAM 上に保持されます。USER による削除の指示がない限り memory を占有し続けるため、必要のない場合は削除してください。

<備考> 本機能を使用する場合は、fast-forwarding を disable(no fast-forwarding enable) にしてください。

dump

<書式> dump interface INTERFACE

<備考> INTERFACE は、いずれかを指定します。

ethernet<0-2> [vid<vlan_id:1-4094>] | ppp <0-4> | tunnel <1-255>

dump filter

<書式> dump interface INTERFACE filter {ssh|telnet|tcp880}

dump pcap

<書式> dump interface INTERFACE pcap count <1-99999> (size <64-1518>|)
(filter {ssh|telnet|tcp880}|)

view(exec) mode

clear l2tpv3 fdb <設定項目: clear><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3のFDBテーブルをクリアします。
- <書式> clear l2tpv3 fdb : 全てのFDB情報を削除します。
clear l2tpv3 fdb local ethernet <0-2> (vid <1-4094>|)
clear l2tpv3 fdb forward
clear l2tpv3 fdb forward <gid:1-65535>
clear l2tpv3 fdb forward ethernet <0-2> (vid <1-4094>|)

clear l2tpv3 counter <設定項目: clear><設定補足:L2TPv3>

- <説明> L2TPv3のカウンターをクリアします。
- <書式> clear l2tpv3 counter ethernet <0-2>
clear l2tpv3 counter ethernet <0-2> vid <1-4094>
clear l2tpv3 counter peer
clear l2tpv3 counter peer A.B.C.D
clear l2tpv3 counter session <session-id:1-4294967295>
clear l2tpv3 counter tunnel <tunnel-id:1-4294967295>

clear l2tpv3 tunnel <設定項目: clear><設定補足:L2TPv3>

- <説明> トンネルIDおよびセッションIDを指定して、L2TPv3トンネルを切断します。
- <書式> clear l2tpv3 tunnel <tunnel-id:1-4294967295> <session-id:1-4294967295>

clear l2tpv3 remote-id <設定項目: clear><設定補足:L2TPv3>

- <説明> リモートルータIDを指定して、L2TPv3を切断します。
- <書式> clear l2tpv3 remote-id <remote-id:A.B.C.D>

clear l2tpv3 group <設定項目: clear><設定補足:L2TPv3>

- <説明> グループIDを指定して、L2TPv3を切断します。
- <書式> clear l2tpv3 group <group-id:1-65535>

clear arp <設定項目: clear><設定補足:ARP>

- <説明> ARPエントリをクリアします。
- <書式> clear arp A.B.C.D : A.B.C.D IP address of the ARP cache entry

clear ipv6 neighbors <設定項目: clear><設定補足:NDP>

- <説明> IPv6ネイバーをクリアします。
- <書式> clear ipv6 neighbors X:X::X:X ethernet <0-2>
clear ipv6 neighbors X:X::X:X ethernet <0-2> vid <1-4094>
clear ipv6 neighbors X:X::X:X ethernet <0-2> vid <1-4094> <id:1-255>

view(exec) node

clear ppp <設定項目: clear><設定補足:PPP>

- < 説 明 > PPP を切断します。
- < 書 式 > clear ppp <0-4>

clear l2tp <設定項目: clear><設定補足:L2TP>

- < 説 明 > L2TP を切断します。
- < 書 式 > clear l2tp

clear ipsec tunnel <設定項目: clear><設定補足:IPsec>

- < 説 明 > IPsec tunnel を切断します。
- < 書 式 > clear ipsec tunnel <tunnel_policy:1-65535>

clear ipsec state <設定項目: clear><設定補足:IPsec>

- < 説 明 > IPsec state をクリアします。
- < 書 式 > clear ipsec state <state_number:1-4294967295>

clear ip route cache <設定項目: clear><設定補足:IP route cache>

- < 説 明 > IP ルートキャッシュをクリアします。
- < 書 式 > clear ip route cache

clear ip access-list ACL-NAME fqdn

- < 説 明 > FQDN 形式の access-list を再設定します。
- < 書 式 > clear ip access-list ACL-NAME fqdn

clear ipv6 route cache <設定項目: clear><設定補足:IPv6 route cache>

- < 説 明 > IPv6 ルートキャッシュをクリアします。
- < 書 式 > clear ipv6 route cache

clear ipv6 access-list ACL-NAME fqdn

- < 説 明 > FQDN 形式の access-list を再設定します。
- < 書 式 > clear ipv6 access-list ACL-NAME fqdn

clear ssh-public-key <設定項目: clear><設定補足:ssh-public-key>

- < 説 明 > SSH 公開鍵をクリアします。
- < 書 式 > clear ssh-public-key user netconf <0-0>

clear dns cache

- < 説 明 > DNS cache をクリアします。
- < 書 式 > clear dns cache

clear mobile <0-1> <設定項目: clear><設定補足:mobile>

- < 説 明 > USB モバイルをリセットします。
- < 書 式 > clear mobile <0-1>
- < 備 考 > NXR-1200 は mobile 非対応のため、本コマンドは実装されていません。

view(exec) node

clear ppp <0-4> mobile limitation <設定項目: clear><設定補足:mobile制限解除>

- < 説 明 > mobile制限を解除します。
- < 書 式 > clear ppp <0-4> mobile limitation
- < 備 考 > mobile limit reconnect|timeで設定した再接続時間制限や接続時間制限を解除します
(mobile limit reconnect|timeの設定が削除されるわけではありません)。
すぐに再接続したい状況等で使用します。
- < 備 考 > NXR-1200はmobile非対応のため、本コマンドは実装されていません。

terminal <設定項目: CLI><設定補足:length>

- < 説 明 > 画面に表示する行数を指定します。
- < 書 式 > terminal length <0-512>
terminal no length [<0-512>]
- < オプション >
 - length <0-512> : <0-512> Number of lines on screen (0 for no pausing)
 - no : Negate a command or set its defaults

connect ppp <設定項目: connect><設定補足:PPPの接続>

- < 説 明 > PPPの接続を開始します。
- < 書 式 > connect ppp <0-4> : PPP <PPP interface number>

connect l2tp <設定項目: connect><設定補足:L2TPの接続>

- < 説 明 > L2TPの接続を開始します。
- < 書 式 > connect l2tp

connect l2tpv3 <設定項目: connect><設定補足:L2TPv3の接続>

- < 説 明 > L2TPv3の接続を開始します。
- < 書 式 > connect l2tpv3 ethernet <0-2>
connect l2tpv3 ethernet <0-2> A.B.C.D : A.B.C.D Remote Router-ID
connect l2tpv3 ethernet <0-2> vid <1-4094> : VLAN Identifier
connect l2tpv3 ethernet <0-2> vid <1-4094> A.B.C.D

connect ipsec <設定項目: connect><設定補足:IPsecの接続>

- < 説 明 > IPsecの接続を開始します。
- < 書 式 > connect ipsec <1-65535> : Number of IPsec tunnel policy

disconnect <設定項目: disconnect><設定補足:CLI logout>

- < 説 明 > ログインセッションを切断します。
- < 書 式 > disconnect console : Disconnect console terminal
disconnect vty <0-10> : Disconnect virtual terminal <VTY Line number>

format <設定項目: format>

- < 説 明 > 外部ストレージをフォーマットします。
- < 書 式 > format disk0

view(exec) node

ping <設定項目: network test>

- <説明> ping を実行します。
- <書式> ping ip A.B.C.D | FQDN
ping ipv6 X:X::X:X | FQDN
ping ipv6 X:X::X:X | FQDN ethernet <0-2>

<備考>

引数を付けずに ping を実行した場合はインタラクティブモードになります。

nrx120#ping	入力可能なパラメータ
Protocol [ip]:	ip ipv6
Target IP address:	A.B.C.D X:X::X:X FQDN
Repeat count [5]:	1-2147483647
Datagram size [100]:	36-18024
Interval in seconds [1]:	0-10
Extended commands [n]:	n(ping を実行) y(インタラクティブモードを継続)
Source address or interface:	A.B.C.D X:X::X:X INTERFACE
Type of service [0x0]:	0x00-0xff
Set DF bit in IP header? [no]:	no yes
Data pattern [0xABCD]:	0x0000-0xffff

traceroute <設定項目: network test>

- <説明> traceroute を実行します。
- <書式> traceroute
traceroute icmp A.B.C.D | FQDN : ICMP Trace
traceroute icmpv6 X:X::X:X | FQDN : ICMPv6 Trace
traceroute ip A.B.C.D | FQDN : IP Trace
traceroute ipv6 X:X::X:X | FQDN : IPv6 Trace

<備考>

引数を付けずに traceroute を実行した場合はインタラクティブモードになります。

nrx120#traceroute	入力可能なパラメータ
Protocol [ip]:	ip ipv6
Target IP address:	A.B.C.D X:X::X:X FQDN
Source address:	A.B.C.D X:X::X:X
Numeric display [n]:	n y
Timeout in seconds [2]:	0-3600
Probe count [3]:	1-65535
Maximum time to live [30]:	1-255
Port Number [33434]:	1025-65535

ssh <設定項目: network client>

- <説明> SSH接続を開始します。
- <書式> ssh (ip|ipv6) A.B.C.D|X:X::X:X|FQDN user USERNAME
[version 1 [cipher (3des|blowfish|des)]]
ssh (ip|ipv6) A.B.C.D|X:X::X:X|FQDN user USERNAME
[version 2 [cipher (3des-cbc|aes128-cbc|aes128-ctr|aes192-cbc
|aes192-ctr|aes256-cbc|aes256-ctr|arcfour|arcfour128|arcfour256
|blowfish-cbc|cast128-cbc)]]

telnet <設定項目: network client>

- <説明> Telnet接続を開始します。
- <書式> telnet A.B.C.D|X:X::X:X|FQDN

logout <設定項目: logout>

- <説明> ログアウトします。
- <書式> logout

eject <設定項目: eject>

- <説明> 外部ストレージをアンマウントします。
- <書式> eject disk0

第 6 章

global node

移行 command

nxr130#**configure terminal**

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

nxr130(config)#

ip access-list <設定項目: IPv4 ACL>

<説明> IPv4のアクセスリストを設定します。

<書式> ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP PROTOCOL
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP ICMP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP TCP/UDP
 ip access-list IPv4-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IP DST-IP TCP-OPTIONS

<オプション>

SRC-IP : A.B.C.D | A.B.C.D/M | any | FQDN
 DST-IP : A.B.C.D | A.B.C.D/M | any | FQDN
 PROTOCOL : <0-255> : Protocol number
 ICMP : icmp | icmp <0-255> : ICMP <ICMP type>
 TCP/UDP : tcp | udp
 : tcp | udp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 TCP-OPTIONS : tcp syn : TCP syn packets
 : tcp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535> syn

< no > no ip access-list ACL-NAME

ipv6 access-list <設定項目: IPv6 ACL>

<説明> IPv6のアクセスリストを設定します。

<書式> ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 PROTOCOL
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 ICMPV6
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 TCP/UDP
 ipv6 access-list IPv6-ACL-NAME (permit|deny) SRC-IPV6 DST-IPV6 TCP-OPTIONS

<オプション>

SRC-IPV6 : X:X::X:X | X:X::X:X/M | any | FQDN
 DST-IPV6 : X:X::X:X | X:X::X:X/M | any | FQDN
 PROTOCOL : <0-255> : Protocol number
 ICMPV6 : icmpv6 | icmpv6 <0-255> : IPv6 ICMPv6 <IPv6 ICMP type>
 TCP/UDP : tcp | udp
 : tcp | udp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 TCP-OPTIONS : tcp syn : TCP syn packets
 : tcp <sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>
 <dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535> syn

< no > no ipv6 access-list ACL-NAME

ip route access-list

- <書式> ip route access-list ACL-NAME permit|deny A.B.C.D/M|any
 <no> no ip route access-list ACL-NAME permit|deny A.B.C.D/M|any

ip snat|dnat ip <設定項目: NAT><設定補足: IP>

- <説明> NATルールを追加します (IP)。
 <書式> ip (snat|dnat) NAT-NAME ip source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
 dst:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D to:A.B.C.D [to-end:E.F.G.H]

ip snat|dnat tcp|udp <設定項目: NAT><設定補足: TCP/UDP>

- <説明> NATルールを追加します (TCP/UDP)。
 <書式> ip (snat|dnat) NAT-NAME tcp|udp
 source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D [<sport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>]
 dst:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D [<dport:1-65535>|any|range <min:1-65535> <max:1-65535>]
 to:A.B.C.D [[to-end:E.F.G.H] [<port:1-65535>|range <min:1-65535> <max:1-65535>]]

ip snat|dnat protocol <設定項目: NAT><設定補足: protocol>

- <説明> NATルールを追加します (プロトコル番号)。
 <書式> ip (snat|dnat) NAT-NAME <protocol:0-255>
 source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D dst:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D to:A.B.C.D [to-end:E.F.G.H]
 <備考> protocol 番号で udp/tcp 番号指定しても port は指定できません。
 (文字列として udp/tcp を指定してください)

system snat <設定項目: NAT><設定補足: system NAT>

- <説明> Source NATを設定します。
 <書式> system snat-group SNAT-NAME
 <no> no system snat-group

system dnat <設定項目: NAT><設定補足: system NAT>

- <説明> Destination NATを設定します。
 <書式> system dnat-group DNAT-NAME
 <no> no system dnat-group

pppoe-option sent-padt <設定項目: PPPoE option><設定補足: 再接続性の向上>

- <説明> PPPoE オプションを有効化します。
 <書式> pppoe-option sent-padt
 all | prev-pppoe-session | unknown-ip-packet | unknown-lcp-echo
 <初期値> pppoe-option sent-padt all
 <no> no pppoe-option sent-padt
 [prev-pppoe-session | unknown-ip-packet | no pppoe-option]

global node

pppoe-bridge <設定項目: PPPoE bridge>

- <説明> PPPoE bridgeを設定します。
- <書式> pppoe-bridge ethernet [0-2] ethernet [0-2]
- <初期値> no pppoe-bridge
- <no> no pppoe-bridge

dhcp-server <設定項目: DHCP server><設定補足: bind address>

- <説明> DHCP サーバ機能で、固定 IP アドレスを割り当てます。
- <書式> dhcp-server bind HH:HH:HH:HH:HH:HH A.B.C.D
- <no> no dhcp-server bind HH:HH:HH:HH:HH:HH

ssh-server enable <設定項目: ssh server ><設定補足: 起動 / 停止>

- <説明> SSHサーバを有効にします。
- <書式> ssh-server enable
- <初期値> no ssh-server enable
- <no> no ssh-server enable : 停止

ssh-server address-family <設定項目: ssh server ><設定補足: address family>

- <説明> SSHアクセスを許可するアドレスファミリー (IPv4/IPv6)を指定します。
- <書式> ssh-server address-family ip : IPv4 access only
ssh-server address-family ipv6 : IPv6 access only
- <初期値> no ssh-server address-family
- <no> no ssh-server address-family : any

ssh-server ciphers <設定項目: ssh server ><設定補足: cipher>

- <説明> SSHの暗号化タイプを指定します。
- <書式> ssh-server ciphers (aes128-cbc|3des-cbc|blowfish-cbc|cast128-cbc|arcfour128|arcfour256|arcfour|aes192-cbc|aes256-cbc|aes128-ctr|aes192-ctr|aes256-ctr|)
- <備考> 複数指定可
- <no> no ssh-server ciphers

ssh-server port <設定項目: ssh server ><設定補足: port>

- <説明> SSHサーバのポート番号を指定します。
- <書式> ssh-server port (22|512-65535) (22|512-65535)
- <初期値> ssh-server port 22
- <no> no ssh-server port

ssh-server version <設定項目: ssh server ><設定補足: version>

- <説明> SSHサーバのバージョンを選択します。
- <書式> ssh-server version 1|2 : SSHv1 or SSHv2
ssh-server version 1 2 : SSHv1 and SSHv2
- <初期値> ssh-server version 1 2
- <no> no ssh-server version (=ssh-server version 1 2)

telnet-server enable <設定項目: telnet server ><設定補足: 起動 / 停止>

- <説明> Telnetサーバを有効にします。
- <書式> telnet-server enable
- <初期値> telnet-server enable
- <no > no telnet-server enable : 停止

http-server enable <設定項目: http server ><設定補足: 起動 / 停止>

- <説明> HTTPサーバを有効にします。
- <書式> http-server enable
- <初期値> no http-server enable
- <no > no http-server enable : 停止

http-server ip access-filter <設定項目: http server ><設定補足: アクセス制限>

- <説明> Webアクセスを制限するためのIPv4 ACLを設定します。
- <書式> http-server ip access-filter IPv4-ACL-NAME
- <備考> source IPのみチェックする
- <no > no http-server ip access-filter

http-server ipv6 access-filter <設定項目: http server ><設定補足: アクセス制限>

- <説明> Webアクセスを制限するためのIPv6 ACLを設定します。
- <書式> http-server ipv6 access-filter IPv6-ACL-NAME
- <備考> source IPのみチェックする
- <no > no http-server ipv6 access-filter

session**session udp timer**

- <説 明> UDPのセッションタイマーを設定します。
- <書 式> session udp timer <0-8589934> : Expire timer <Timeout value (second)>
- <初 期 値> session udp timer 30
- < no > no session udp timer : Set defaults

session udp-stream timer

- <説 明> UDPストリームのセッションタイマーを設定します。
- <書 式> session udp-stream timer <0-8589934> :Expire timer <Timeout value (second)>
- <初 期 値> session udp-stream timer 180
- < no > no session udp-stream timer : Set defaults

session tcp timer

- <説 明> TCPのセッションタイマーを設定します。
- <書 式> session tcp timer <0-8589934> : Expire timer <Timeout value (second)>
- <初 期 値> session tcp timer 3600
- < no > no session tcp timer : Set defaults

session max

- <説 明> 最大セッション数を設定します。
- <書 式> session max <4096-32768>
- <初 期 値> session max 4096
- < no > no session max : Set defaults

session limit

- <説 明> IP address 毎に contrack session 数を制限する機能です。一部のUSERにより、contrack sessionを占有されてしまうような障害を防ぐために使用します。
この制限は、forwarding 処理される packet が対象となります。
- <書 式> session limit <0-32768>
- <初 期 値> session limit 0
- < no > no session limit
- <備 考> 0を設定すると、IP address 毎の session 数を制限しません。

session tcplimit

- <説 明> TCPの最大セッション数を設定します。
- <書 式> session tcp limit (<16-8192>|)
- <初 期 値> session tcp limit 640
- < no > no session tcp limit : 無制限

global node

session invalid-status-drop enable

- <説明> NXRをpacketが通過すると、conntrack情報が作成されます。通常、statusはNEW state (新規作成)となり、その後双方向で通信が行われるとestablishとなります。しかし、不正なpacketと判定されるものを受信した際(ex. tcp通信においてsessionがない状態でRST+ackのpacketを受信した場合など)、stateがinvalidとなります。本機能は、このようなInvalid stateとなったsessionにmatchするpacketをdropする機能です。Defaultは、有効です。
- <書式> session invalid-status-drop enable
- <初期値> session invalid-status-drop enable
- <no> no session invalid-status-drop enable

session checksum

- <説明> tcp/udp/icmp packetを転送する際、checksum errorが発生していた場合にNATの対象から外すかどうかを指定する機能です。無効な場合、checksum errorが検出されてもNAT(masquerade含む)が適用されます。Defaultは、無効です。ただし、ver5.6.1以前のversionでは有効となっています。
- <書式> session checksum enable
- <初期値> no session checksum enable
- <no> no session checksum enable

password <設定項目: password><設定補足: CLI>

- <説明> パスワードを設定します。
- <書式> password [hidden]WORD
- <初期値> password admin
- <備考> 「passwordなし」は設定不可
- <no> no password : Set defaults

gui password

- <説明> GUIパスワードを設定します。
- <書式> gui password [hidden] WORD
- <初期値> gui password admin
- <備考> 「passwordなし」は設定不可
- <no> no gui password : Set defaults

console idle-timeout <設定項目: CLI><設定補足: console idle-timeout>

- <説明> Consoleのログアウトタイマーを設定します。
- <書式> console idle-timeout <minutes:0-35791> [<seconds:0-2147483>]
- <初期値> console idle-timeout 0 3600
- <no> no console idle-timeout (=console idle-timeout 0 0)

global node

vty idle-timeout <設定項目: CLI><設定補足: vty idle-timeout>

- <説明> vtyのログアウトタイマーを設定します。
- <書式> vty idle-timeout <minutes:0-35791> [<seconds:0-2147483>]
- <初期値> vty idle-timeout 0 600
- <no > no vty idle-timeout (=vty idle-timeout 0 0)

vty ip access-filter <設定項目: CLI><設定補足: 接続制限>

- <説明> vtyのIPv4アクセスフィルタを設定します。
- <書式> vty ip access-filter IPV4-ACL-NAME
- <no > no vty ip access-filter

vty ipv6 access-filter <設定項目: CLI><設定補足: 接続制限>

- <説明> vtyのIPv6アクセスフィルタを設定します。
- <書式> vty ipv6 access-filter IPV6-ACL-NAME
- <no > no vty ipv6 access-filter

vty session-max <設定項目: CLI><設定補足: vtyセッション数>

- <説明> vtyの最大セッション数を設定します。
- <書式> vty session-max <1-10> : Maximum number of vty session <Maximum number>
- <初期値> vty session-max 4

l2tp udp source-port <設定項目: L2TP><設定補足: source port>

- <説明> L2TPのUDPソースポートを設定します。
- <書式> l2tp udp source-port <1024-65535>
- <初期値> l2tp udp source-port 40001

l2tp hostname <設定項目: L2TP><設定補足: hostname>

- <説明> L2TPのホスト名を設定します。
- <書式> l2tp hostname L2TP-HOSTNAME
- <備考> 省略時は、hostnameコマンドで設定したものを使用します。

l2tpv3 hostname <設定項目: L2TPv3><設定補足: hostname>

- <説明> L2TPv3のホスト名を設定します。
- <書式> l2tpv3 hostname L2TPv3-HOSTNAME
- <備考> 省略時は、hostnameコマンドで設定したものを使用します。
- <no > no l2tpv3 hostname

l2tpv3 router-id <設定項目: L2TPv3><設定補足: router-id>

- <説明> L2TPv3のルータIDを設定します。
- <書式> l2tpv3 router-id A.B.C.D

l2tpv3 mac-learning <設定項目: L2TPv3><設定補足: mac学習>

- <説明> L2TPv3のMAC学習を有効にします。
- <書式> l2tpv3 mac-learning
- <初期値> l2tpv3 mac-learning 59
- <no > no l2tpv3 mac-learning

I2tpv3 mac-aging <設定項目: L2TPv3><設定補足: mac aging>

<説明> L2TPv3のMACアドレスエイジングタイムを設定します。
 <書式> I2tpv3 mac-aging <seconds:30-1000>
 <初期値> I2tpv3 mac-aging 300
 <no> no I2tpv3 mac-aging : Set defaults(=I2tpv3 mac-aging 300)

I2tpv3 loop-detect <設定項目: L2TPv3><設定補足: Loop検出>

<説明> L2TPv3のループ検出を有効にします。
 <書式> I2tpv3 loop-detect
 <初期値> no I2tpv3 loop-detect
 <no> no I2tpv3 loop-detect : Set defaults

I2tpv3 send-known-unicast <設定項目: L2TPv3><設定補足: known unicast>

<説明> L2TPv3のknown unicastフレームを送信します。
 <書式> I2tpv3 send-known-unicast
 <初期値> no I2tpv3 send-known-unicast
 <no> no I2tpv3 send-known-unicast

I2tpv3 udp source-port <設定項目: L2TPv3><設定補足: over UDP>

<説明> L2TPv3 over UDPのソースポートを設定します。
 <書式> I2tpv3 udp source-port <1024-65535>
 <初期値> I2tpv3 udp source-port 1701
 <no> no I2tpv3 udp source-port : Set defaults(=I2tpv3 udp source-port 1701)

I2tpv3 udp path-mtu-discovery <設定項目: L2TPv3><設定補足: PMTU discovery>

<説明> PMTUD over UDPを有効にします。
 <書式> I2tpv3 udp path-mtu-discovery
 <初期値> no I2tpv3 udp path-mtu-discovery
 <no> no I2tpv3 udp path-mtu-discovery : Disable

I2tpv3 path-mtu-discovery <設定項目: L2TPv3><設定補足: PMTU discovery>

<説明> PMTUDを有効にします。
 <書式> I2tpv3 path-mtu-discovery
 <初期値> no I2tpv3 path-mtu-discovery
 <書式> no I2tpv3 path-mtu-discovery : Disable

I2tpv3 snmp enable <設定項目: L2TPv3><設定補足: SNMP>

<説明> L2TPv3 SNMPを有効にします。
 <書式> I2tpv3 snmp enable
 <初期値> no I2tpv3 snmp enable
 <no> no I2tpv3 snmp enable : Disable

global node

l2tpv3 snmp trap <設定項目: L2TPv3><設定補足: SNMP trap>

<説明> L2TPv3 SNMP trapを有効にします。
 <書式> l2tpv3 snmp trap
 <初期値> no l2tpv3 snmp trap
 <no> no l2tpv3 snmp trap : Disable

l2tpv3 tos

<説明> L2TPv3 ToSを有効にします。
 <書式> l2tpv3 tos
 <初期値> no l2tpv3 tos
 <no> no l2tpv3 tos

hostname<設定項目: hostname>

<説明> ホスト名を設定します。
 <書式> hostname HOSTNAME

fast-forwarding enable <設定項目: Fast path>

<説明> fast forwardingを有効にします。
 <書式> fast-forwarding enable
 <no> no fast-forwarding enable : Disable

arp <設定項目: IPv4><設定補足: static ARP>

<説明> スタティックARPを設定します。
 <書式> arp A.B.C.D HH:HH:HH:HH:HH:HH
 <オプション>
 A.B.C.D : IP address of the ARP entry
 HH:HH:HH:HH:HH:HH : Mac (hardware) address of the ARP entry in HH:HH:HH:HH:HH:HH format
 <no> no arp A.B.C.D

ip route <設定項目: IPv4><設定補足: static route>

<説明> スタティックルートを設定します。
 <書式> ip route (A.B.C.D/M GATEWAY|INTERFACE|NULL) [<distance:1-255>]
 <オプション>
 A.B.C.D : IP address of the gateway
 INTERFACE : ethernet <0-2> [vid <1-4094>] [<distance:0-255>]
 | ppp <0-4> [<distance:0-255>]
 NULL : null [<distance:0-255>]
 <no> no ip route (A.B.C.D/M GATEWAY|INTERFACE|NULL) [<distance:1-255>]

ip icmp-errors-inbound

- <説明> この機能を有効にすると、ICMP error messageを送信する際、ICMP errorの原因となった packet を受信した interface の primary address で送信されます。無効な場合は、routing table により決められた出力 interface の primary address で送信されます。ICMP error message が IPsec 化されてしまう場合などに有効にすると、packet を受信した interface から出力することができるようになります。
- <書式> ip icmp-errors-inbound
- <初期値> no ip icmp-errors-inbound
- <no> no ip icmp-errors-inbound
- <備考> Default は、無効です。

ipv6 forwarding <設定項目: IPv6><設定補足: IPv6 forwarding>

- <説明> ipv6 フォワーディングを有効にします。
- <書式> ipv6 forwarding
- <初期値> no ipv6 forwarding
- <no> no ipv6 forwarding

ipv6 neighbor <設定項目: IPv6><設定補足: static neighbor>

- <説明> ipv6 ネイバーを設定します。
- <書式> ipv6 neighbor X:X::X:X HH:HH:HH:HH:HH:HH ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
- <no> no ipv6 neighbor X:X::X:X HH:HH:HH:HH:HH:HH ethernet <0-2> [vid <1-4094>]

ipv6 route <設定項目: IPv6><設定補足: static route>

- <説明> ipv6 スタティックルートを設定します。
- <書式> ipv6 route X:X::/M GATEWAY [<distance:1-255>]
 ipv6 route X:X::/M INTERFACE [<distance:1-255>]
 ipv6 route X:X::/M GATEWAY INTERFACE [<distance:1-255>]
- <オプション>
- X:X::/M : IPv6 destination prefix (e.g. 3ffe:506::/32)
- GATEWAY : X:X::X:X IPv6 gateway address
- INTERFACE : ethernet <0-2> [vid <1-4094>] | ppp <0-4> | tunnel <0-255>
- <no> no ipv6 route X:X::/M GATEWAY [<distance:1-255>]
 no ipv6 route X:X::/M INTERFACE [<distance:1-255>]
 no ipv6 route X:X::/M GATEWAY INTERFACE [<distance:1-255>]

ipv6 bridge <設定項目: IPv6><設定補足: bridge>

- <説明> ipv6 ブリッジを設定します。
- <書式> ipv6 bridge ethernet <0-2> ethernet <0-2>
- <no> no ipv6 bridge

track <設定項目: netevent>

<説明> ネットワークイベントを設定します。

interface link 状態監視

<書式>

```
track <trackid:1-255> interface (ethernet <0-2> | ppp <0-4> | tunnel <0-255>)
```

<備考>

ping/ping6 による reachability のチェック

<書式> track <trackid:1-255> ip|ipv6 reachability

```
(A.B.C.D|FQDN) [source A.B.C.D] [<interval:10-32767> <retry:0-255>]
(delay <delay:10-3600>|)
```

<備考>

ip/ipv6 reachability を利用する場合、復旧時(event up と判別した場合)から実際に up 時の action を実行するまでに delay を設定することができます。Delay timer が動作している場合は、track は down state が維持され、この間にも ip reachability check は動作し続けます。Delay timer 動作中に event down を検知した場合、delay timer は cancel されます。Delay timer が timeout すると、event up の action が実行されます。このとき、delay timer 中にカウントした ip reachability fail count は 0 にクリアされ、action 実行後から再度 reachability check が開始されます。

IKE SA の状態監視

<書式> track <trackid:1-255> ipsec isakmp <IKE-POLICY:1-65535>

OSPF neighbor 監視(指定した router-id との neighbor 確立後から他の state への変化)

<書式> track <trackid:1-255> ospf neighbor <PEER_RID:A.B.C.D>

BGP peer 監視(指定した peer ip との neighbor 確立後から他の state への変化)

<書式> track <trackid:1-255> bgp neighbor <PEER_IP:A.B.C.D>

VRRP の状態監視(master から backup/init への変化または backup/init から master への変化)

<書式> track <trackid:1-255> vrrp ip <vrrpid:1-255> interface ethernet <0-2>

<備考> ethernet のみ有効

< no > no track <trackid:1-255>

ipsec nat-traversal <設定項目: IPsec><設定補足: NAT-T>

- < 説 明 > NATトラバーサルを有効にします。
- < 書 式 > ipsec nat-traversal enable
- < no > no ipsec nat-traversal enable

ipsec x509 enable <設定項目: IPsec><設定補足: X.509>

- < 説 明 > IPsec X.509 を有効にします。
- < 書 式 > ipsec x509 enable
- < no > no ipsec x509 enable

ipsec x509 ca-certificate <設定項目: IPsec><設定補足: CA 証明書>

- < 説 明 > X.509 の CA 証明書を設定します。
- < 書 式 > ipsec x509 ca-certificate NAME WORD
- < 備 考 > WORD は、ftp://, ssh://
- < no > no ipsec x509 ca-certificate NAME

ipsec x509 certificate <設定項目: IPsec><設定補足: 公開鍵証明書>

- < 説 明 > X.509 の証明書を設定します。
- < 書 式 > ipsec x509 certificate NAME WORD
- < 備 考 > WORD は、ftp://, ssh://
- < no > no ipsec x509 certificate

ipsec x509 private-key <設定項目: IPsec><設定補足: 秘密鍵>

- < 説 明 > X.509 の private key を設定します。
- < 書 式 > ipsec x509 private-key NAME key WORD
- < 備 考 > WORD は、ftp://, ssh://
- < no > no ipsec x509 private-key NAME [key]

ipsec x509 private-key <設定項目: IPsec><設定補足: passphrase>

- < 説 明 > X.509 のパスワードを設定します。
- < 書 式 > ipsec x509 private-key NAME password (hidden|) WORD
- < no > no ipsec x509 private-key NAME [password]

ipsec x509 crl <設定項目: IPsec><設定補足: 失効リスト>

- < 説 明 > 証明書の失効リストを設定します。
- < 書 式 > ipsec x509 crl NAME WORD
- < 備 考 > WORD は、ftp://, ssh://
- < no > no ipsec x509 crl NAME

ipsec access-list <設定項目: IPsec><設定補足: Selectorの指定>

- < 説明 > IPsecのアクセスリストを設定します。
- < 書式 > ipsec access-list ACL-NAME ip any|host|A.B.C.D/M any|host|A.B.C.D/M
ipsec access-list NAME ipv6 any|host|X:X::X:X/M any|host|X:X::X:X/M
- < no > no ipsec access-list ACL-NAME

ipsec generate <設定項目: IPsec><設定補足: rsa-sig-key>

- < 説明 > RSA signature keyを生成します。
- < 書式 > ipsec generate rsa-sig-key <key_length: 512-1024>
- < no > no ipsec generate rsa-sig-key

ipsec xauth

- < 説明 > IPsec Xauth認証のユーザアカウントを設定します。
- < 書式 > ipsec xauth username USERID password [hidden] PASSWORD
- < no > no ipsec xauth username USERID

ipsec path-mtu-discovery

- < 説明 > PMTUDを有効にします。
- < 書式 > ipsec path-mtu-discovery enable
- < no > no ipsec path-mtu-discovery enable
- < 初期値 > ipsec path-mtu-discovery enable
- < 備考 > IPsecにおいてPMTU discoveryが無効の場合は、DFbitが1でかつ tunnel MTUを超えてしまう場合でも、強制的に tunneling し転送されます。この場合、outer の ip header の DF bit は必ず0が設定されます。
IPsecにおいてPMTU discoveryを有効にすると、DFbitが1でかつ tunnel MTUを超えてしまう場合、fragment neededを送信元に返信し、packetはdropされます。この場合、outer の IP header の DFbit 値は、 tunneling packet の値が設定されます。

interface ethernet

- <説明> interface nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> interface ethernet <0-2>
- <備考> ethernet interfaceは削除不可

interface loopback

- <説明> interface nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> interface loopback <0-9>
- <no> no interface loopback <0-9>

interface ethernet <0-2> vid <1-4094>

- <説明> interface nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> interface ethernet <0-2> vid <1-4094>
- <no> no interface ethernet <0-2> vid <1-4094>

interface tunnel

- <説明> interface tunnel nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> interface tunnel <0-255>
- <no> no interface tunnel <0-255>

interface ppp

- <説明> interface ppp nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> interface ppp <0-4>
- <no> no interface ppp <0-255>

l2tp

- <説明> l2tp nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> l2tp <0>
- <no> no l2tp <0>

l2tpv3 tunnel

- <説明> l2tpv3-tunnel nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> l2tpv3 tunnel <0-4095>
- <no> no l2tpv3 tunnel <0-4095>

l2tpv3 xconnect

- <説明> l2tpv3-xconnect nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
- <書式> l2tpv3 xconnect <xid:1-4294967295>
- <no> no l2tpv3 xconnect <xid:1-4294967295>

l2tpv3 group

<説明> l2tpv3-group nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> l2tpv3 group <gid:1-4095>
<no> no l2tpv3 group <gid:1-4095>

ntp

<説明> ntp nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> ntp
<no> no ntp : Stop and initialize NTP service

dns

<説明> dns nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> dns
<no> no dns : Stop and initialize DNS service

snmp

<説明> snmp nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> snmp
<no> no snmp : Stop and initialize SNMP service

router rip

<説明> RIP nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> router rip
<no> no router rip : Stop and initialize RIP service

router ospf

<説明> OSPF nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> router ospf
<no> no router ospf : Stop and initialize OSPF service

dhcp-server

<説明> dhcp-server nodeへの遷移およびprofileを削除・生成します。
<書式> dhcp-server <1-5>
<no> no dhcp-server[<1-5>]

sip-nat

enable

<説明> SIP NATを有効にします。
<書式> sip-nat enable
<初期値> no sip-nat enable
<no> no sip-nat enable

port

<説明> Destination portを指定します。
<書式> sip-nat port <1-65535> <1-65535> <1-65535> <1-65535> <1-65535> <1-65535>
<初期値> sip-nat port 5060
<no> no sip-nat port

NAPT

<説明> Port translateを有効にします。
<書式> sip-nat port-translate enable
<初期値> sip-nat port-translate enable
<no> no sip-nat port-translate enable

CRP

udp source port

- <説 明> CRPのUDPソースポートを設定します。
- <書 式> crp udp source-port <1024-65535>
- <初 期 値> crp udp source-port 10625
- < no > no crp udp source-port

hostname

- <説 明> CRPのホスト名を設定します。
- <書 式> crp hostname <WORD>
- < no > no crp hostname

customer-id

- <説 明> CRPのcustomer-idを設定します。
- <書 式> crp customer-id <WORD>
- < no > no crp customer-id

cpe-id

- <説 明> CRPのcpe-idを設定します。
- <書 式> crp cpe-id <WORD>
- < no > no crp cpe-id

client

- <説 明> CRPクライアントを設定します。
- <書 式> crp client <1-2>
- < no > no crp client (<1-2>|)

advertise

- <説 明> CRP広告を設定します。
- <書 式> crp advertise ip|ipv6 interface ppp <0-4> (port <1-65535>|) (secondary|)
crp advertise ip|ipv6 interface ethernet <0-3> (port <1-65535>|) (secondary|)
crp advertise address A.B.C.D (port <1-65535>|)
crp advertise address X:X::X:X (port <1-65535>|)
crp advertise nat (port <1-65535>|)
- < no > no crp advertise
- <備 考> interface指定時のみ2つ設定可能(1つはsecondary)です。

netconf-server

管理サーバとの接続に使用します。

enable

- <説明> netconf サーバを起動します。
- <書式> netconf-server enable (tcp|over-ssh)
- <no> no netconf-server enable

lock timeout

- <説明> netconf サーバのロックタイムアウトを設定します。
- <書式> netconf-server lock timeout <10-3600>
- <no> no netconf-server lock timeout

auto-config

- <説明> auto-config の設定をします。
- <書式> netconf-server auto-config enable
- <no> no netconf-server auto-config enable

QoS

< 説明 > QoSの設定をします。

< 書式 >

クラスの作成、変更

class policy NAME

クラスの削除

no class policy NAME

フィルタの作成

class filter <2-254>

フィルタの削除

no class filter <2-254>

Mark 値の設定

priority-map <1-255> (high|middle|low|normal) ip mark <1-4095>

TBF の設定

priority-map <1-255> (high|middle|low|normal)

queue shape <RATE:1-1000000> <BUFFER:1-65535> <LIMIT:1-65535>

SFQ の設定

priority-map <1-255> (high|middle|low|normal) queue fair-queue

FIFO の設定

priority-map <1-255> (high|middle|low|normal) queue fifo (limit <1-16384>)

default class の設定

default の class を設定します。default class とは、どれにも該当しない packet を割り当てる class のことです。default class の初期値は normal です。

priority-map <1-255> default (high|middle|normal|low)

priority-map の削除

指定した class の priority-map を削除します。

no priority-map <1-255> (high|middle|normal|low|)

default class の初期化

default の class を default(normal) に設定します。

no priority-map <1-255> default

Mark 設定の削除

指定した class の Mark 設定を削除します。

no priority-map <1-255> (high|middle|normal|low) ip mark

default queue(FIFO) に設定

no priority-map <1-255> (high|middle|normal|low) queue

route-map

< 説明 > route-map を追加します。

< 書式 > route-map NAME (permit|deny) <1-1024>

< no > no route-map NAME : NAME の route-map を削除します。

no route-map NAME (permit|deny) <1-1024> : 該当の route-map のみ削除します。

class access-list

<説明> アクセスリストを設定します。

ip

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D]
```

protocol

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D] (|not) <protocol:0-255>| icmp|tcp|udp
```

icmp

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D icmp (|not) type code
```

tcp src dst

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
tcp (|not) [<sport:1-65535>|any] [<dport:1-65535>|any]
```

tcp src-range dst

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
tcp (|not) [range <min:1-65535> <max:1-65535>] [<dport:1-65535>|any]
```

tcp src dst-range

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
tcp (|not) [<sport:1-65535>|any] [range <min:1-65535> <max:1-65535>]
```

tcp src-range dst-range

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
tcp (|not) [range <min:1-65535> <max:1-65535>] [range <min:1-65535> <max:1-65535>]
```

udp src dst

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
udp (|not) [<sport:1-65535>|any] [<dport:1-65535>|any]
```

udp src-range dst

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
udp (|not) [range <min:1-65535> <max:1-65535>] [<dport:1-65535>|any]
```

udp src dst-range

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
udp (|not) [<sport:1-65535>|any] [range <min:1-65535> <max:1-65535>]
```

udp src-range dst-range

```
class access-list ACL-NAME ip (|not) source:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
(|not) destination:any|A.B.C.D/M|A.B.C.D
udp (|not) [range <min:1-65535> <max:1-65535>] [range <min:1-65535> <max:1-65535>]
```

no (class access-list の削除)

```
no class access-list ACL-NAME ip
```

mobile

mobile

- < 説明 > 3G データ通信カードと PPP インタフェース番号を関連付けます。
- < 書式 > mobile <0-1> ppp <0-4>
- < no > no mobile <0-1> ppp
- < 備考 > NXR-1200 は mobile 非対応のため、本コマンドは実装されていません。

mobile error-recovery-restart

- < 説明 > mobile 端末との通信に重大な問題が発生する可能性が高いと判断した場合に system の再起動を行う機能です。Default は、無効です。
- < 書式 > mobile error-recovery-restart
- < no > no mobile error-recovery-restart
- < 備考 > NXR-1200 は mobile 非対応のため、本コマンドは実装されていません。

schedule

<説明> スケジュールを設定します。

<書式>

日付指定

```
schedule <1-255> HOUR:MIN DAY MONTH interface ppp <0-4> connect|disconnect|reconnect
```

毎時0分 to 実行

```
schedule 1 *:00 * *
```

毎日 1:20 to 実行

```
schedule 1 1:20 1 *
```

毎月 10 日の 1:20 to 実行

```
schedule 1 1:20 10 *
```

毎月 10 日の 毎時 20 分に 実行

```
schedule 1 *:20 10 *
```

1/10 の 毎時 20 分に 実行

```
schedule 1 *:20 10 1
```

1/10 の 10:20 に 実行

```
schedule 1 10:20 10 1
```

1 月の 毎日 10:20 に 実行

```
schedule 1 10:20 * 1
```

曜日指定 (DOW: day of the week)

```
schedule <1-255> HOUR:MIN DOW (DOW|) interface ppp <0-4> connect|disconnect|reconnect
```

毎週月曜日の 毎時 10 分に 実行

```
schedule 1 *:10 monday
```

毎週日曜日の 1:10 に 実行

```
schedule 1 1:10 sunday
```

weekday の 4:10 に 実行

```
schedule 1 4:10 monday friday
```

設定の削除

```
no schedule <1-255>
```

as-path

<説明> BGP autonomous system path filter を設定します。

<書式> ip as-path access-list ACL-NAME (permit|deny) LINE

< no > no ip as-path access-list ACL-NAME (permit|deny) LINE

no ip as-path access-list ACL-NAME

第7章

interface node

interface node

移行 command

```
nxr130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nxr130(config)#interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
```

```
nxr130(config-if)#
```

```
nxr130(config)#interface loopback <0-9>
```

```
nxr130(config-loopback)#
```

ip address <設定項目: IPv4 address><設定補足: 固定設定>

<説明> インタフェースに IP アドレスを設定します。

<書式> ip address A.B.C.D/M [secondary]

<no> no ip address A.B.C.D/M [secondary]

ip address <設定項目: IPv4 address><設定補足: DHCP>

<説明> DHCP により IP アドレスを取得します。

<書式> ip address dhcp [hostname]

<no> no ip address dhcp

ipv6 address <設定項目: IPv6 address>

<説明> インタフェースに IPv6 アドレスを設定します。

<書式> ipv6 address X:X::X:X link-local : 自動的に設定される LLA を上書きする
 ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64]

: eui-64 指定時は、ipv6-address は prefix 部のみ指定

ipv6 address autoconfig : ipv6 forwarding が有効のときは設定不可

<no> no ipv6 address X:X::X:X link-local

no ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64]

no ipv6 address autoconfig

ipv6 address <設定項目: IPv6 address><設定補足: DHCPv6-PD>

<説明> DHCPv6 Prefix Delegation を設定します。

<書式> ipv6 address DHCPv6-PD X:X::X:X/M [eui-64]

<備考> ipv6-address は、sub-prefix と host 部を指定可能

PREFIX-NAME は、dhcpv6 pd で受信する prefix に名前をつけたもので、

ipv6 dhcp client pd で設定される

<no> no ipv6 address DHCPv6-PD [X:X::X:X/M]

:DHCPv6 packet は、別 interface から受信

speed <設定項目: speed><設定補足: set/negate>

<説明> インタフェーススピードとモード(full/half)を設定します。

<書式> speed auto|10-full|10-half|100-full|100-half

<初期値> speed auto

<備考> 1Gbps の場合は、auto を選択

<no> no speed : Negate

mtu <設定項目: MTU><設定補足: set/negate>

- <説明> MTUを設定します。
- <書式> mtu <bytes:68-1500>
- <初期値> no mtu

ip proxy arp <設定項目: Proxy ARP><設定補足: set/negate>

- <説明> Proxy ARPを有効にします。
- <書式> ip proxy-arp
- <初期値> no ip proxy-arp
- <no> no ip proxy-arp

ip directed-broadcast <設定項目: Directed Broadcast><設定補足: set/negate>

- <説明> Directed Broadcastのフォワーディングを有効にします。
- <書式> ip directed-broadcast
- <初期値> no ip directed-broadcast
- <no> no ip directed-broadcast

ip redirects <設定項目: ICMP redirects><設定補足: set/negate>

- <説明> ICMPリダイレクトを有効にします。
- <書式> ip redirects
- <初期値> ip redirects
- <no> no ip redirects

ip tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足: set/negate>

- <説明> MSSを自動設定します。
- <書式> ip tcp adjust-mss auto|500-1460
- <初期値> no ip tcp adjust-mss
- <no> no ip tcp adjust-mss

ipv6 tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足: set/negate>

- <説明> IPv6 MSSを自動設定します。
- <書式> ipv6 tcp adjust-mss auto|500-1460
- <初期値> no ipv6 tcp adjust-mss
- <no> no ipv6 tcp adjust-mss

ip mask-reply <設定項目: ICMP mask reply><設定補足: set/negate>

- <説明> ICMP Address Mask Requestに応答します。
- <書式> ip mask-reply
- <初期値> no ip mask-reply
- <no> no ip mask-reply

interface node

link-check <設定項目: link check><設定補足: enable/disable>

- <説明> リンクチェックを有効にします。
- <書式> link-check [<0-60sec>]
- <初期値> link-check 10
- <no> no link-check (=link-check 0)
- <備考> link-check<CR> = link-check 10

ipv6 nd prefix <設定項目: NDP><設定補足: RA parameters>

- <説明> IPv6 Routing Prefix Advertisement を設定します。
- <書式> ipv6 nd prefix X:X:X:X::X/M
[<valid-lifetime:0-4294967295> <preferred-lifetime:0-4294967295>]
- <備考> Ethernet/VLANのみ設定可能
- <no> no ipv6 nd prefix X:X:X:X::X/M
[<valid-lifetime:0-4294967295> <preferred-lifetime:0-4294967295>]

ipv6 nd send-ra <設定項目: NDP><設定補足: RA parameters>

- <説明> IPv6 RA(Router Advertisement) を送信します。
- <書式> ipv6 nd send-ra : RA送信開始
- <no> no ipv6 nd send-ra : RA送信停止

ipv6 nd ra-lifetime <設定項目: NDP><設定補足: RA lifetime>

- <説明> IPv6 RA(Router Advertisement) ライフタイムを設定します。
- <書式> ipv6 nd ra-lifetime <0-9000>
- <初期値> ipv6 nd ra-lifetime 90
- <no> no ipv6 nd ra-lifetime
- <備考> ra-lifetime >= ra-interval max

ipv6 nd ra-interval <設定項目: NDP><設定補足: RA interval>

- <説明> IPv6 RA(Router Advertisement) インターバルを設定します。
- <書式> ipv6 nd ra-interval <min:3-6750> <max:4-9000>
- <初期値> ipv6 nd ra-interval 10 30
- <備考> min < max x 0.75
- <no> no ipv6 nd ra-interval

ipv6 nd rs-interval <設定項目: NDP><設定補足: RS 送信間隔>

- <説明> IPv6 Router Solicitation インターバルを設定します。
- <書式> ipv6 nd rs-interval <interval:1-10sec>
- <初期値> ipv6 nd rs-interval 1
- <no> no ipv6 nd rs-interval : Set defaults

interface node

ipv6 nd rs-count <設定項目: NDP><設定補足: RS 送信回数>

- <説明> IPv6 Router Solicitationの送信回数を設定します。
- <書式> ipv6 nd rs-count <count:1-2147483647>
- <初期値> ipv6 nd rs-count 3
- <no> no ipv6 nd rs-count : Set defaults

ipv6 nd reachable-time <設定項目: NDP><設定補足: 到達性確認間隔>

- <説明> 隣接ノードの到達性確認間隔を指定します。
- <書式> ipv6 nd reachable-time <msec:0-3600000>
- <初期値> ipv6 nd reachable-time 30
- <no> no ipv6 nd reachable-time : Set defaults

ipv6 nd ns-interval <設定項目: NDP><設定補足: NS 送信間隔>

- <説明> NSの送信間隔を設定します。
- <書式> ipv6 nd ns-interval <msec:1000-3600000>
- <初期値> ipv6 nd ns-interval 1000
- <no> no ipv6 nd ns-interval

ipv6 nd dad attempts <設定項目: NDP><設定補足: DAD 回数>

- <説明> IPv6 DADの送信回数を設定します。
- <書式> ipv6 nd dad attempts <0-600>
- <初期値> ipv6 nd dad attempts 1
- <no> no ipv6 nd dad attempts

ipv6 nd accept-redirects <設定項目: NDP><設定補足: accept redirect>

- <説明> IPv6 forwardingが無効の場合に、ICMPv6 redirectsを受け入れるかどうかを指定します。
- <書式> ipv6 nd accept-redirects
- <初期値> no ipv6 nd accept-redirects
- <備考> IPv6 forwardingが有効な場合は、この設定に関係なく受信しません。
- <no> no ipv6 nd accept-redirects

ip rip receive version <設定項目: RIP><設定補足: version>

- <説明> RIPの受信バージョンを設定します。
- <書式> ip rip receive version 1|2 [1|2]
- <初期値> ip rip receive version 2
- <備考> version 1, version 2, version 1 & 2の指定が可能
- <no> no ip rip receive version

interface node

ip rip send version <設定項目: RIP><設定補足: version>

- <説 明> RIPの送信バージョンを設定します。
- <書 式> ip rip send version 1|2 [1|2]
- <初 期 値> ip rip send version 2
- <備 考> version 1, version 2, version 1 & 2の指定が可能
- < no > no ip rip transmission version

ip rip split-horizon <設定項目: RIP><設定補足: split horizon>

- <説 明> スプリットホライズンを設定します。
- <書 式> ip rip split-horizon [poisoned]
- <初 期 値> ip rip split-horizon
- < no > no ip rip split-horizon

ip ospf cost <設定項目: OSPF><設定補足: cost>

- <説 明> OSPFのコスト値を設定します。
- <書 式> ip ospf cost <1-65535>
- < no > no ip ospf cost

ip ospf hello-interval <設定項目: OSPF><設定補足: hello-interval>

- <説 明> Helloインターバルを設定します。
- <書 式> ip ospf hello-interval <1-65535>
- < no > no ip ospf hello-interval

ip ospf dead-interval <設定項目: OSPF><設定補足: dead-interval>

- <説 明> Deadインターバルを設定します。
- <書 式> ip ospf dead-interval <1-65535>
- < no > no ip ospf dead-interval

ip ospf retransmit-interval <設定項目: OSPF><設定補足: retransmit-interval>

- <説 明> Retransmitインターバルを設定します。
- <書 式> ip ospf retransmit-interval <1-65535>
- < no > no ip ospf retransmit-interval

ip ospf transmit-delay <設定項目: OSPF><設定補足: transmit-interval>

- <説 明> Transmit Delayを設定します。
- <書 式> ip ospf transmit-delay <1-65535>
- < no > no ip ospf transmit-delay

ip ospf authentication <設定項目: OSPF><設定補足: authentication>

- <説 明> 認証を有効にします。
- <書 式> ip ospf authentication null|message-digest
- < no > no ip ospf authentication

interface node

ip ospf authentication-key <設定項目: OSPF><設定補足: authentication>

- <説明> 認証パスワードを設定します。
- <書式> ip ospf authentication-key PASSWORD
- <no> no ip ospf authentication-key

ip ospf message-digest-key <設定項目: OSPF><設定補足: md-key>

- <説明> MD5パスワードを設定します。
- <書式> ip ospf message-digest-key <keyid:1-255> md5 PASSWORD
- <no> no ip ospf message-digest-key <keyid:1-255>

ip ospf priority <設定項目: OSPF><設定補足: priority>

- <説明> プライオリティを設定します。
- <書式> ip ospf priority <0-255>
- <no> no ip ospf priority

ip ospf mtu-ignore <設定項目: OSPF><設定補足: mtu-ignore>

- <説明> DBD内のMTU値を無視します。
- <書式> ip ospf mtu-ignore
- <no> no ip ospf mtu-ignore

vrrp ip address <設定項目: VRRP><設定補足: IP address>

- <説明> VRRPで使用するIPアドレスを設定します。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> address A.B.C.D
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> (address A.B.C.D|)

vrrp ip priority <設定項目: VRRP><設定補足: priority>

- <説明> VRRPグループのプライオリティを設定します。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> priority <1-254>
- <初期値> vrrp ip <vrrpid:1-255> priority 100
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> priority

vrrp ip preempt <設定項目: VRRP><設定補足: preempt>

- <説明> Preemptを有効にします。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> preempt
- <初期値> vrrp ip <vrrpid:1-255> preempt
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> preempt

vrrp ip preempt delay

- <説明> マスタールータへの自動切り戻し抑止時間を設定します。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> preempt delay <1-1000sec>
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> preempt delay

interface node

vrrp ip timers <設定項目: VRRP><設定補足: timers>

- <説明> VRRPのインターバルタイマーを設定します。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> timers advertise <1-255sec>
- <初期値> vrrp ip <vrrpid:1-255> timers advertise 1
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> timers advertise

vrrp ip netevent <設定項目: VRRP><設定補足: netevent>

- <説明> ネットワークイベントでのVRRP監視を設定します。
- <書式> vrrp ip <vrrpid:1-255> netevent <trackid:1-255> priority <1-254>
- <no> no vrrp ip <vrrpid:1-255> netevent

ip access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv4>

- <説明> アクセスグループにIPv4アクセスリストを追加します。
- <書式> ip access-group (in|out|forward-in|forward-out) IPV4-ACL-NAME
- <初期値> 設定なし
- <no> no ip access-group (in|out|forward-in|forward-out)

ipv6 access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv6>

- <説明> アクセスグループにIPv6アクセスリストを追加します。
- <書式> ipv6 access-group (in|out|forward-in|forward-out) IPV6-ACL-NAME
- <初期値> 設定なし
- <no> no ipv6 access-group (in|out|forward-in|forward-out)

ip masquerade <設定項目: NAT><設定補足: Masquerade>

- <説明> ipマスカレードを有効にします。
- <書式> ip masquerade
- <no> no ip masquerade

ip snat-group|dnat-group <設定項目: NAT><設定補足: static NAT>

- <説明> SNAT|DNATを有効にします。
- <書式> ip snat-group|dnat-group NAT-NAME
- <no> no ip snat-group|dnat-group

pppoe-client ppp <設定項目: PPPoE>

- <説明> PPPoEクライアントを有効にします。
- <書式> pppoe-client ppp <PPP-INTERFACE-NUMBER:0-4>
- <初期値> no pppoe-client ppp
- <備考> 複数指定可能。Ethernet interfaceのみ。
- <no> no pppoe-client ppp [<PPP-INTERFACE-NUMBER:0-4>]

ip spi-filter <設定項目: SPI>

- <説明> SPI filterを設定します。
- <書式> ip spi-filter
- <初期値> no ip spi-filter
- <no> no ip spi-filter

ipv6 spi-filter <設定項目: SPI>

- <説 明> IPv6 SPI filterを設定します。
- <書 式> ipv6 spi-filter
- <初 期 値> no ipv6 spi-filter
- < no > no ipv6 spi-filter

shutdown <設定項目: shutdown>

- <説 明> インタフェースを無効にします。
- <書 式> shutdown
- <初 期 値> no shutdown
- < no > no shutdown

ipsec policy <設定項目: IPsec>

- <説 明> IPsecのローカルポリシーを設定します。
- <書 式> ipsec policy <1-255>
- < no > no ipsec policy [<local policy:1-255>]
- <備 考> 2つまで設定可能(ipv4用1、ipv6用1の割り当てを想定)
ethernet、vlanのみ指定可能

ipsec policy-ignore

- <説 明> IPsec policyのcheckを行わないように指定する機能です。Interface毎に設定することができます。IPsec policyとしてanyなどを指定したけれども、特定の通信のみIPsec化したくない場合に、この機能を使用します。
- <書 式> ipsec policy-ignore (input|output|)
- <初 期 値> no ipsec policy-ignore
- < no > no ipsec policy-ignore
- <備 考> Defaultは、無効です。また、input/outputに設定を行うことができます。Input側で有効となった場合、inbound policy checkが行われなくなり、IPsec化されてくるべきpacketがdropされてしまう現象を回避することができます。Outputで有効とした場合、そのinterfaceを出力とするpacketは、IPsec policyのcheckがされず、平文で送信されます。

QoS

<説明> QoSの設定をします。

<書式>

HTBの設定

```
queue policy POLICYNAME bandwidth <1-1000000>
```

PQの設定

```
queue priority-group <PRIORITY-MAP-NUMBER:1-32>
```

SFQの設定

```
queue fair-queue
```

FIFOの設定

```
queue fifo (limit <1-16384>|)
```

TBFの設定

```
queue shape <RATE:1-1000000> <BUFFER:1-1000000> <LIMIT:1-1000000>
```

default queue に設定

default queue は pfifo_fast です。

```
no queue
```

classify

```
classify (input|output) route-map ROUTEMAP
```

```
input : PREROUTING, output : POSTROUTING
```

no classify

```
no classify (input|output|)
```

第 8 章

interface tunnel node

第8章 interface tunnel node

interface tunnel node

移行 command

```
nxr130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nxr130(config)#interface tunnel <0-255>
```

```
nxr130(config-tunnel)#
```

description <設定項目: Description>

<説明> インタフェースの説明を記述します。

<書式> description DESCRIPTION

<no> no description [DESCRIPTION]

ip address <設定項目: IPv4 address><設定補足: 固定設定>

<説明> インタフェースに IP アドレスを付与します。

<書式> ip address A.B.C.D/M [secondary]

<no> no ip address [A.B.C.D/M] [secondary]

ipv6 address <設定項目: IPv6 address><設定補足: Global/LLA>

<説明> インタフェースに IPv6 アドレスを付与します。

<書式> ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64] : IPv6 address (e.g. 3ffe:506::1/48)

ipv6 address X:X::X:X link-local

<no> no ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64]

no ipv6 address X:X::X:X link-local

ipv6 address <設定項目: IPv6 address><設定補足: DHCPv6-PD>

<説明> DHCPv6 PD の設定をします。

<書式> ipv6 address DHCPv6PD X:X::X:X/M [eui-64] : DHCPv6-PD prefix name

<no> no ipv6 address DHCPv6PD X:X::X:X/M

<備考> ipv6-address は、sub-prefix と host 部を指定可能

PREFIX-NAME は、dhcpv6 pd で受信する prefix に名前をつけたもので、

ipv6 dhcp client pd で設定される

tunnel source <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: source IP>

<説明> トンネルの source アドレスを設定します。

<書式> tunnel source A.B.C.D

tunnel destination <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: destination IP>

<説明> トンネルの Destination アドレスを設定します。

<書式> tunnel destination A.B.C.D

tunnel mode <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: mode>

<説明> トンネルモードを選択します (IP over IP/GRE)。

<書式> tunnel mode (ipip|gre)

<no> no tunnel mode : Set defaults

第8章 interface tunnel node

interface tunnel node

tunnel key <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: key>

- <説明> IDキーを設定します。
- <書式> tunnel key <0-4294967295>
- <初期値> no tunnel key
- <備考> GRE の場合のみ
- <no > no tunnel key : Disable

tunnel checksum <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: checksum>

- <説明> チェックサム機能を有効にします。
- <書式> tunnel checksum
- <初期値> no tunnel checksum
- <備考> GRE の場合のみ
- <no > no tunnel checksum : Disable

tunnel path-mtu-discovery <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: PMTU>

- <説明> トンネルに PMTUD を有効にします。
- <書式> tunnel path-mtu-discovery
- <初期値> tunnel path-mtu-discovery
- <no > no tunnel path-mtu-discovery : Disable

tunnel ttl <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: TTL>

- <説明> TTL を設定します。
- <書式> tunnel ttl (<1-255>|inherit)
- <初期値> tunnel ttl inherit
- <no > no tunnel ttl : Set defaults

tunnel tos <設定項目: Tunnel Parameters><設定補足: TOS>

- <説明> TOS 値を設定します。
- <書式> tunnel tos (<0-252>|inherit)
- <初期値> tunnel tos inherit
- <no > no tunnel tos : Set defaults

mtu <設定項目: MTU><設定補足: set/negate>

- <説明> MTU を設定します。
- <書式> mtu <bytes:68-1500>
- <no > no ip mtu

ip redirects <設定項目: ICMP redirects><設定補足: set/negate>

- <説明> ICMP Redirect を有効にします。
- <書式> ip redirects
- <no > no ip redirects : Negate

第8章 interface tunnel node

interface tunnel node

ip tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足: set/negate>

- <説 明> MSSを有効にします。
- <書 式> ip tcp adjust-mss auto|<bytes:500-1460>
- <初 期 値> no ip tcp adjust-mss
- < no > no ip tcp adjust-mss

ipv6 tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足: set/negate>

- <説 明> IPv6 MSSを有効にします。
- <書 式> ipv6 tcp adjust-mss auto|<bytes:500-1440>
- <初 期 値> no ipv6 tcp adjust-mss
- < no > no ipv6 tcp adjust-mss

ip mask-reply <設定項目: ICMP mask reply><設定補足: set/negate>

- <説 明> ICMP Mask Replyを有効にします。
- <書 式> ip mask-reply
- < no > no ip mask-reply

ip rip receive version <設定項目: RIP><設定補足: version>

- <説 明> RIPの受信バージョンを設定します。
- <書 式> ip rip receive version 1|2 [1|2]
- <備 考> 両方指定も可能
- < no > no ip rip receive version

ip rip send version <設定項目: RIP><設定補足: version>

- <説 明> RIPの送信バージョンを設定します。
- <書 式> ip rip send version 1|2 [1|2]
- <備 考> 両方指定も可能
- < no > no ip rip send version

ip rip split-horizon <設定項目: RIP><設定補足: split horizon>

- <説 明> スプリットホライズンを有効にします。
- <書 式> ip rip split-horizon [poisoned]
- <初 期 値> ip rip split-horizon
- < no > no ip rip split-horizon

ip access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv4>

- <説 明> アドレスグループにIPv4アクセスリストを追加します。
- <書 式> ip access-group in|out|forward-in|forward-out IPv4-ACL-NAME
- < no > no ip access-group in|out|forward-in|forward-out

ipv6 access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv6>

- <説 明> アドレスグループにIPv6アクセスリストを追加します。
- <書 式> ipv6 access-group in|out|forward-in|forward-out IPv6-ACL-NAME
- < no > no ipv6 access-group in|out|forward-in|forward-out

interface tunnel node

ip masquerade <設定項目: NAT><設定補足: Masquerade>

- <説明> ip masquerade を有効にします。
- <書式> ip masquerade
- <初期値> no ip masquerade

ip snat-group|dnat-group <設定項目: NAT><設定補足: static NAT>

- <説明> source/destination NAT を設定します。
- <書式> ip snat-group|dnatgroup NAT-NAME
- <no > no ip snat-group|dnat-group

ip spi-filter <設定項目: SPI>

- <説明> SPI filter を設定します。
- <書式> ip spi-filter
- <初期値> no ip spi-filter
- <no > no ip spi-filter

ipv6 spi-filter <設定項目: SPI>

- <説明> IPv6 SPI filter を設定します。
- <書式> ipv6 spi-filter
- <初期値> no ipv6 spi-filter
- <no > no ipv6 spi-filter

netevent <設定項目: netevent>

- <説明> netevent を設定します。
- <書式> netevent <trackid:1-255> connect|disconnect
- <no > no netevent
- <備考> connect|disconnect は track event が down したときの動作定義

ipv6 nd accept-redirects <設定項目: NDP><設定補足: accept redirect>

- <説明> IPv6 forwarding が無効の場合に、ICMPv6 redirects を受け入れるかどうかを指定します。
- <書式> ipv6 nd accept-redirects
- <初期値> no ipv6 nd accept-redirects
- <備考> IPv6 forwarding が有効な場合は、この設定に関係なく受信しません。
- <no > no ipv6 nd accept-redirects

ipsec policy <設定項目: IPsec>

- <説明> IPsec ローカルポリシーを設定します。
- <書式> ipsec policy <local policy:1-255>
- <備考> 2 つまで設定可能(ipv4 用 1、ipv6 用 1 の割り当てを想定)
- <no > no ipsec policy [<local policy:1-255>]

interface tunnel node

ipsec policy-ignore

- < 説明 > IPsec policyのcheckを行わないように指定する機能です。Interface毎に設定することができます。IPsec policyとしてanyなどを指定したけれども、特定の通信のみIPsec化したくない場合に、この機能を使用します。
- < 書式 > ipsec policy-ignore (input|output|)
- < 初期値 > no ipsec policy-ignore
- < no > no ipsec policy-ignore
- < 備考 > Defaultは、無効です。また、input/outputに設定を行うことができます。Input側で有効となった場合、inbound policy checkが行われなくなり、IPsec化されてくるべきpacketがdropされてしまう現象を回避することができます。Outputで有効とした場合、そのinterfaceを出力とするpacketは、IPsec policyのcheckがされず、平文で送信されます。

QoS

- < 説明 > QoSの設定をします。

- < 書式 >

HTBの設定

```
queue policy POLICYNAME bandwidth <1-1000000>
```

PQの設定

```
queue priority-group <PRIORITY-MAP-NUMBER:1-32>
```

SFQの設定

```
queue fair-queue
```

FIFOの設定

```
queue fifo (limit <1-16384>|)
```

TBFの設定

```
queue shape <RATE:1-1000000> <BUFFER:1-1000000> <LIMIT:1-1000000>
```

default queueに設定

default queueはpfifo_fastです。

```
no queue
```

classify

```
classify (input|output) route-map ROUTEMAP
```

```
input: PREROUTING, output: POSTROUTING
```

no classify

```
no classify (input|output|)
```

第 9 章

interface ppp node

interface ppp node

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#interface ppp <0-4>
nrx130(config-ppp)#

```

description <設定項目: description>

```

<説明> interfaceの説明を記述します。
<書式> description DESCRIPTION
<no> no description [DESCRIPTION] : Delete

```

ip address <設定項目: IPv4 address><設定補足: 固定設定>

```

<説明> インタフェースに IP アドレスを付与します。
<書式> ip address A.B.C.D/M [secondary]
<no> no ip address [A.B.C.D/M] [secondary]

```

ip address <設定項目: IPv4 address><設定補足: IPCP>

```

<説明> IP アドレスを自動取得に設定します。
<書式> ip address negotiated : IPCP negotiation
<no> no ip address negotiated

```

ipv6 address <設定項目: IPv6 address><設定補足: global>

```

<説明> IPv6 アドレスを設定します。
<書式> ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64] : IPv6 address (e.g. 3ffe:506::1/48)
<備考> eui-64 指定時は、ipv6-address は prefix 部のみ指定。
        ホスト部は、interface-id 設定に依存。
        LLA も interface-id 設定によって決定される。
<no> no ipv6 address X:X::X:X/M [eui-64]

```

ipv6 address <設定項目: IPv6 address><設定補足: DHCPv6-PD>

```

<説明> DHCPv6 PD の設定をします。
<書式> ipv6 address DHCPv6PD X:X::X:X/M [eui-64] : DHCPv6-PD prefix name
<備考> ipv6-address は、sub-prefix と host 部を指定可能
        PREFIX-NAME は、dhcpv6 pd で受信する prefix に名前をつけたもので、
        ipv6 dhcp client pd で設定される
<no> no ipv6 address DHCPv6PD X:X::X:X/M

```

mtu <設定項目: MTU><設定補足: set>

```

<説明> MTU の設定をします。
<書式> mtu <bytes:68-1500>
<初期値> mtu 1454
<no> no mtu : Set defaults

```

interface ppp node

ppp lcp mru <設定項目: MRU><設定補足:set>

- <説明> MRUを設定します。
- <書式> ppp lcp mru <bytes:128-1500>
- <備考> IPv6を使用する場合は、MRUを1280以上に設定。
- <no> no ppp lcp mru : Set defaults

ipv6 dhcp client pd <設定項目: DHCPv6 client><設定補足:DHCPv6-PD>

- <説明> DHCPv6 PDを有効にします。
- <書式> ipv6 dhcp client pd DHCPv6-PREFIXNAME
- <初期値> no ipv6 dhcp client pd
- <備考> DHCPv6 PDを受信するinterfaceに対して設定
- <no> no ipv6 dhcp client pd

ip redirects <設定項目: ICMP redirects><設定補足:set/disable>

- <説明> ICMP Redirect messagesを有効にします。
- <書式> ip redirects
- <初期値> no ip redirects
- <no> no ip redirects : Disable

ip tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足:set/negate>

- <説明> MSSを自動設定します。
- <書式> ip tcp adjust-mss auto|<bytes:500-1460>
- <初期値> no ip tcp adjust-mss
- <no> no ip tcp adjust-mss

ipv6 tcp adjust-mss <設定項目: Adjust TCP MSS><設定補足:set/negate>

- <説明> IPv6 MSSを自動設定します。
- <書式> ipv6 tcp adjust-mss auto|<bytes:500-1440>
- <初期値> no ipv6 tcp adjust-mss
- <no> no ipv6 tcp adjust-mss

ip mask-reply <設定項目: ICMP mask reply><設定補足:set/disable>

- <説明> ICMP Mask Replyを有効にします。
- <書式> ip mask-reply
- <初期値> no ip mask-reply
- <no> no ip mask-reply : Disable

interface ppp node

ip send-source

- <説 明> PPP interfaceに設定されている ip address を source ip とする packet を出力する際、main の routing table で指定された interface ではなく、必ず ip の所有者である ppp interface から出力する機能です。
- この機能が有効な場合、PPP の IP address を source とする packet で、かつ NXR より出力される packet は、IPsec policy に match しなくなります。
- <書 式> ip send-source
- <初 期 値> no ip send-source
- < no > no ip send-source
- <備 考> Default は、無効です。また、IPv4 のみ対応しています。

keepalive lcp-echo <設定項目: keepalive><設定補足:LCP echo/disable>

- <説 明> LCP echo request を有効にします。
- <書 式> keepalive lcp-echo [<interval:30-600> <failure-count:1-10>]
- <初 期 値> keepalive lcp-echo 30 3
- < no > no keepalive lcp-echo

keepalive icmp-echo <設定項目: keepalive><設定補足:Ping 監視 /disable>

- <説 明> ICMP echo request を有効にします。
- <書 式> keepalive icmp-echo [<interval:30-600> <retry:0-10> A.B.C.D]
- <初 期 値> no keepalive icmp-echo
- <備 考> keepalive icmp-echo は、keepalive icmp-echo 30 2 と同じ
- < no > no keepalive icmp-echo

ip rip receive version <設定項目: RIP><設定補足:receive version>

- <説 明> RIP の受信バージョンを設定します。
- <書 式> ip rip receive version 1|2 [1|2]
- <初 期 値> ip rip receive version 2
- <備 考> 両方指定も可能 (ip rip receive version 1 2)
- < no > no ip rip receive version

ip rip send version <設定項目: RIP><設定補足:send version>

- <説 明> RIP の送信バージョンを設定します。
- <書 式> ip rip send version 1|2 [1|2]
- <初 期 値> ip rip send version 2
- <備 考> 両方指定も可能 (ip rip send version 1 2)
- < no > no ip rip send version

ip rip split-horizon <設定項目: RIP><設定補足:split horizon>

- <説 明> スプリットホライズンを設定します。
- <書 式> ip rip split-horizon [poisoned]
- <初 期 値> ip rip split-horizon
- < no > no ip rip split-horizon

interface ppp node

ip access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv4>

- <説明> アクセスグループに IPv4 アクセスリストを追加します。
- <書式> ip access-group (in|out|forward-in|forward-out) IPV4-ACL-NAME
- <オプション>
 - in : Apply the access-list to in-forwarding packets
 - out : Apply the access-list to out-forwarding packets
 - forward-in : Apply the access-list to incoming packets
 - forward-out : Apply the access-list to outgoing packets
- <初期値> no ip access-group (in|out|forward-in|forward-out)
- <no> no ip access-group (in|out|forward-in|forward-out)

ipv6 access-group <設定項目: ACL><設定補足: IPv6>

- <説明> アクセスグループに IPv6 アクセスリストを追加します。
- <書式> ipv6 access-group (in|out|forward-in|forward-out) IPV4-ACL-NAME
- <初期値> no ipv6 access-group (in|out|forward-in|forward-out)
- <no> no ipv6 access-group (in|out|forward-in|forward-out)

ip masquerade <設定項目: NAT><設定補足: Masquerade>

- <説明> IP masquerade を有効にします。
- <書式> ip masquerade
- <初期値> no ip masquerade
- <no> no ip masquerade

ip snat-group|dnat-group <設定項目: NAT><設定補足: Static NAT>

- <説明> source/destination NAT ルールを設定します。
- <書式> ip snat-group|dnat-group NAT-NAME
- <no> no ip snat-group|dnat-group

ip spi-filter <設定項目: SPI><設定補足: SPI filter>

- <説明> SPI filter を設定します。
- <書式> ip spi-filter
- <初期値> no ip spi-filter
- <no> no ip spi-filter

ipv6 spi-filter <設定項目: SPI><設定補足: SPI filter>

- <説明> IPv6 SPI filter を設定します。
- <書式> ipv6 spi-filter
- <初期値> no ipv6 spi-filter
- <no> no ipv6 spi-filter

interface ppp node

ppp authentication <設定項目: PPP><設定補足: Authentication>

- <説明> PPPの認証プロトコルを設定します。
- <書式> ppp authentication (chap|pap|auto)
- <初期値> ppp authentication auto
- <no> no ppp authentication : Set defaults

ppp username <設定項目: PPP><設定補足: username>

- <説明> PPP接続のUser IDをパスワードを設定します。
- <書式> ppp username USERID password [hidden] PASSWORD
- <no> no ppp username

ppp auto-connect <設定項目: PPP><設定補足: 自動接続>

- <説明> PPPの自動接続を有効にします。
- <書式> ppp auto-connect <seconds:30-600>
- <初期値> ppp auto-connect 60
- <no> no ppp auto-connect

ppp ipcp enable <設定項目: PPP><設定補足: IPCP>

- <説明> IPCPを有効にします。
- <書式> ppp ipcp enable
- <初期値> ppp ipcp enable
- <no> no ppp ipcp enable

ppp ipcp dns <設定項目: PPP><設定補足: IPCPでDNS取得>

- <説明> DNSオプションを設定します。
- <書式> ppp ipcp dns accept : Accept any non zero DNS address
ppp ipcp dns reject : Reject negotiations with the peer
ppp ipcp dns primary:A.B.C.D [secondary:A.B.C.D] : 手動割り当て
- <初期値> ppp ipcp dns accept
- <no> no ppp ipcp dns

ppp ipcp ip request <設定項目: PPP><設定補足: IPCP address リクエスト>

- <説明> IPCPでIPアドレスをリクエストします。
- <書式> ppp ipcp ip request
- <初期値> no ppp ipcp ip request
- <no> no ppp ipcp ip request
- <備考> ip address commandで設定されたIPをIPCPでrequestする

ppp ipv6cp enable <設定項目: PPP><設定補足: IPv6CP>

- <説明> IPv6CPを有効にします。
- <書式> ppp ipv6cp enable
- <初期値> no ppp ipv6cp enable
- <no> no ppp ipv6cp enable : Disable IPv6CP

interface ppp node

ppp ipv6cp id <設定項目: PPP><設定補足: interface id>

- < 説 明 > IPv6CP インタフェース ID を設定します。
- < 書 式 > ppp ipv6cp id X:X::X:X
ppp ipv6cp id ethernet <0-2>
- < 初 期 値 > no ppp ipv6cp id
- < 備 考 > 指定ない場合は、eth0 の mac を使用する。この設定により LLA が決定される。
- < no > no ppp ipv6cp id

ppp on-demand<設定項目: PPP><設定補足: Ondemand>

- < 説 明 > On-demand PPP を設定します。
- < 書 式 > ppp on-demand
- < 備 考 > 現状 mobile 時のみ対応 (l2tp, ipv6cp 有効時は無視される)
- < no > no ppp on-demand

ppp idle-timeout<設定項目: PPP><設定補足: idle-timer>

- < 説 明 > On-demand PPP の idle timer を設定します。
- < 書 式 > ppp idle-timeout (<sec:30-86400>|)
- < 備 考 > ondemand 有効時のみ (l2tp, ipv6cp 時は無視される)
時間指定ないときは 180sec
- < no > no ppp idle-timeout
- < 備 考 > ondemand 有効のときは default 180sec に戻る

netevent <設定項目: netevent>

- < 説 明 > netevent を設定します。
- < 書 式 > netevent <trackid:1-255> connect|disconnect
- < no > no netevent
- < 備 考 > connect|disconnect は track event が down したときの動作定義

ipv6 nd accept-redirects <設定項目: NDP><設定補足: accept redirect>

- < 説 明 > IPv6 forwarding が無効の場合に、ICMPv6 redirects を受け入れるかどうかを指定します。
- < 書 式 > ipv6 nd accept-redirects
- < 初 期 値 > no ipv6 nd accept-redirects
- < 備 考 > IPv6 forwarding が有効な場合は、この設定に関係なく受信しません。
- < no > no ipv6 nd accept-redirects

interface ppp node

ipsec policy <設定項目: IPsec>

- <説明> IPsec ローカルポリシーを設定します。
- <書式> ipsec policy <local policy:1-255>
- <no> no ipsec policy [<local policy:1-255>]
- <備考> 2つまで設定可能(ipv4用1つ、ipv6用1つを想定)

ipsec policy-ignore

- <説明> IPsec policyのcheckを行わないように指定する機能です。Interface毎に設定することができます。IPsec policyとしてanyなどを指定したけれども、特定の通信のみIPsec化したくない場合に、この機能を使用します。
- <書式> ipsec policy-ignore (input|output|)
- <初期値> no ipsec policy-ignore
- <no> no ipsec policy-ignore
- <備考> Defaultは、無効です。また、input/outputに設定を行うことができます。Input側で有効となった場合、inbound policy checkが行われなくなり、IPsec化されてくるべきpacketがdropされてしまう現象を回避することができます。Outputで有効とした場合、そのinterfaceを出力とするpacketは、IPsec policyのcheckがされず、平文で送信されます。

QoS

- <説明> QoSの設定をします。
- <書式>

HTBの設定

```
queue policy POLICYNAME bandwidth <1-1000000>
```

PQの設定

```
queue priority-group <PRIORITY-MAP-NUMBER:1-32>
```

SFQの設定

```
queue fair-queue
```

FIFOの設定

```
queue fifo (limit <1-16384>|)
```

TBFの設定

```
queue shape <RATE:1-1000000> <BUFFER:1-1000000> <LIMIT:1-1000000>
```

default queueに設定

default queueはpfifo_fastです。

```
no queue
```

classify

```
classify (input|output) route-map ROUTEMAP
```

```
input: PREROUTING, output: POSTROUTING
```

no classify

```
no classify (input|output|)
```

interface ppp node

dialer

<説明> ダイヤルアップの設定をします。

<書式>

接続先電話番号

dial-up string XXXXXXXXXX

接続先電話番号の削除

no dial-up string

dialup timeout (default:60sec)

dial-up timeout <sec:30-300>

dialup timeout の初期化

no dial-up timeout

mobile

<説明> 3G データ通信カードの設定をします。

<書式>

APN 設定

mobile apn XXXX cid XX pdp-type (ip|ppp)

APN 設定の初期化 / 削除 (default にもどるか消去されるかは 3G 端末に依存します)

no mobile apn

接続時間制限

mobile limit time <sec:30-21474836>

接続時間制限の無効化

no mobile limit time

再接続時間制限

mobile limit reconnect <sec:30-86400>

再接続時間制限の無効化

no mobile limit reconnect

<備考> NXR-1200 は mobile 非対応のため、本コマンドは実装されていません。

第 10 章

dns node

移行 command

dns node に移行します。

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#dns
```

```
nrx130(dns-config)#
```

service <設定項目: service><設定補足: enable>

<説 明> DNSサービスを有効にします。

<書 式> service enable

< no > no service enable

address <設定項目: address><設定補足: set/delete>

<説 明> DNSサーバのIPアドレスを設定します。

<書 式> address A.B.C.D : IPv4 address of the DNS server

address X:X::X:X : IPv6 address of the DNS server

<初 期 値> no address

<備 考> 最大4つまで設定可能

< no > no address (A.B.C.D|X:X::X:X)

<備 考> noの場合でも、PPPやDHCPでDNSアドレスを取得している場合は、cache/proxy有効。

priority <設定項目: priority><設定補足: set>

<説 明> DNSサーバのプライオリティを設定します。

<書 式> priority dhcp <priority:0-255>

priority ppp <interface:0-4> <priority:0-255>

priority user <priority:0-255>

<初 期 値> すべて20

<備 考> 同一priorityの場合の優先度: user > ppp4 > ppp3 > ppp2 > ppp1 > ppp0 > dhcp
dhcp6においては、現在では、dhcp6-pdを使用したDNS serverの割り当てをサポート

< no > no priority (dhcp | ppp <interface:0-4> | user)

(=no priority (dhcp 20 | ppp <interface:0-4> 20 | user 20))

root <設定項目: root><設定補足: set>

<説 明> root DNSサーバを使用する / しないを設定します。

<書 式> root enable

<備 考> 設定されている全てのDNSに対して名前解決できなかった場合に、rootDNSにquery転送する

< no > no root enable : Negate

timeout <設定項目: timeout><設定補足: set>

<説 明> DNSのタイムアウト値を設定します。

<書 式> timeout <seconds:5-30>

<初 期 値> timeout 30

< no > no timeout (=timeout 30)

limitation enable

- < 説明 > DNSサーバ限定機能を有効にします。
- < 書式 > limitation enable
- < no > no limitation enable
- < 備考 > enableにした場合、指定DNSサーバ以外への再帰問い合わせをしません。

zone address

- < 説明 > 設定された domain の問合せに対して、指定した DNS server への問合せを行います。
- < 書式 > zone <1-5> address A.B.C.D
- < no > no zone <1-5> address (A.B.C.D|)
- < 備考 > zone address は、最大2つまで設定可能です。
address, domain が各1つ以上のときに設定が有効になります。
zone 設定が変更された場合は、exit 時に DNS キャッシュをクリアします。

zone domain

- < 説明 > 設定された domain の問合せに対して、指定した DNS server への問合せを行います。
- < 書式 > zone <1-5> domain WORD
- < no > no zone <1-5> domain (WORD|)
- < 備考 > zone domain は、最大3つまで設定可能です。
address, domain が各1つ以上のときに設定が有効になります。
先頭の . は設定可能ですが、それ以降は fqdn 形式で設定します。
ホスト名は設定できません。また、最大文字数は125文字です。

zone limitation

- < 説明 > 指定した特定の domain 向けの DNS server に対する問合せで名前解決できない場合、それ以上は問合せません。
- < 書式 > zone <1-5> limitation enable
- < 初期値 > zone <1-5> limitation enable
- < no > no zone <1-5> limitation enable

第 11 章

l2tp node

I2tp node

移行 command

I2tp nodeに移行します。

```
nxr130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nxr130(config)#I2tp 0
```

```
nxr130(config-I2tp)#
```

tunnel <設定項目: I2tp><設定補足: tunnel address>

<説明> L2TP の tunnel address を指定します。

<書式> tunnel address (A.B.C.D | FQDN)

tunnel hidden <設定項目: I2tp><設定補足: AVPs hidden>

<説明> AVP Hiding を有効にします。

<書式> tunnel hidden

<初期値> no tunnel hidden

<no> no tunnel hidden : Set defaults

tunnel retransmit <設定項目: I2tp><設定補足: retransmit retries>

<説明> 切断までのリトライ回数を設定します。

<書式> tunnel retransmit retries <max:1-1000>

<初期値> tunnel retransmit retries 5

<no> no tunnel retransmit retries (=tunnel retransmit retries 5)

tunnel hello <設定項目: I2tp><設定補足: hello interval>

<説明> Hello インターバルを設定します。

<書式> tunnel hello <seconds:0-1000>

<初期値> tunnel hello 60

<no> no tunnel hello : Disable

tunnel password <設定項目: I2tp><設定補足: tunnel password>

<説明> パスワードを設定します。

<書式> tunnel password [hidden] PASSWORD

<no> no tunnel password

tunnel ppp <設定項目: ppp>

<説明> PPP をトネリングします。

<書式> tunnel ppp <interface:0-4>

<備考> I2tp の再接続、再接続間隔は、ppp の設定を使用する

第 12 章

l2tpv3-tunnel node

第12章 l2tpv3-tunnel node

l2tpv3 tunnel parameters

移行 command

l2tpv3-tunnel nodeに移行します。

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#l2tpv3 tunnel <0-4095>
```

```
nrx130(config-l2tpv3-tunnel)#
```

description <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: description>

<説明> 明> L2TPv3 トンネルの説明を記述します。

<書式> description DESCRIPTION

<no> no description

tunnel address <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: Remote LCCE>

<説明> 明> リモート LCCE のトンネルアドレスを設定します。

<書式> tunnel address A.B.C.D

no tunnel address <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: Remote LCCE>

<説明> 明> リモート LCCE のトンネルアドレスを削除します。

<書式> no tunnel address

<備考> dynamic address 使用時

tunnel hostname <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: Remote LCCE>

<説明> 明> リモート LCCE のホスト名を設定します。

<書式> tunnel hostname HOSTNAME

<備考> 必須

tunnel router-id <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: Remote LCCE>

<説明> 明> リモート LCCE のルータ ID を設定します。

<書式> tunnel router-id A.B.C.D

<備考> 必須

tunnel password <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: tunnel password>

<説明> 明> 認証や AVP Hiding で使用するパスワードを設定します。

<書式> tunnel password PASSWORD

tunnel password hidden PASSWORD

<初期値> no tunnel password

<no> no tunnel password

tunnel hidden <設定項目: l2tpv3 tunnel><設定補足: AVPs hidden>

<説明> 明> AVP Hiding を設定します。

<書式> tunnel hidden

<no> no tunnel hidden

I2tpv3 tunnel parameters

tunnel protocol <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: tunnel protocol>

- <説明> 送信プロトコルを選択します。
- <書式> tunnel protocol (ip|udp)
- <初期値> tunnel protocol ip
- <no > no tunnel protocol (=tunnel protocol ip)

tunnel local hostname <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: Local LCCE>

- <説明> ローカルLCCEのホスト名を設定します。
- <書式> tunnel local hostname HOSTNAME
- <初期値> no tunnel local hostname
- <To Unset > no tunnel local hostname

tunnel local router-id <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: Local LCCE>

- <説明> ローカルLCCEのルータIDを設定します。
- <書式> tunnel local router-id A.B.C.D
- <初期値> no tunnel local router-id
- <no > no tunnel local router-id

tunnel digest <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: message digest>

- <説明> メッセージダイジェストを有効にします。
- <書式> tunnel digest (md5|sha1)
- <初期値> no tunnel digest
- <no > no tunnel digest

tunnel hello <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: hello interval>

- <説明> Helloパケットの送信間隔を設定します。
- <書式> tunnel hello <0-1000>
- <初期値> tunnel hello 60
- <no > no tunnel hello : Disable

tunnel vendor <設定項目: I2tpv3 tunnel><設定補足: vendor>

- <説明> リモートLCCEのベンダーIDを設定します。
- <書式> tunnel vendor (ietf|century|cisco)
- <初期値> tunnel vendor ietf
- <no > no tunnel vendor : Set defaults

netevent <設定項目: netevent>

- <説明> イベント検出時にトンネルを切断します。
- <書式> netevent <trackid:1-255> disconnect
- <初期値> no netevent
- <備考> PPP interfaceの監視のみ対応
- <no > no netevent

第 13 章

l2tpv3-xconnect node

l2tpv3 xconnect parameters

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#l2tpv3 xconnect <xid:1-4294967295>
nrx130(config-l2tpv3-xconnect)#
    
```

description <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: description>

```

<説明> L2TPV3 Xconnect の説明を記述します。
<書式> description DESCRIPTION
<no> no description
    
```

tunnel tos

```

<説明> Xconnect に ToS 値を設定します。
<書式> tunnel tos <0-252>|inherit
<初期値> tunnel tos 0
<no> no tunnel tos
    
```

xconnect ethernet <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: ethernet>

```

<説明> Xconnect インタフェースを設定します。
<書式> xconnect ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
    
```

xconnect end-id <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: end-id>

```

<説明> リモート LCCE の end id を設定します。
<書式> xconnect end-id <1-4294967295>
    
```

vlan-id <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: vlan-id>

```

<説明> VLAN tag を使用する場合に設定します。
<書式> vlan-id <1-4094>
<no> no vlan-id
    
```

retry-interval <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: retry-interval>

```

<説明> トンネル/セッションが切断したときに自動再接続を開始するまでの間隔を設定します。
<書式> retry-interval <seconds:0-1000>
<初期値> retry-interval 0
<no> no retry-interval (=retry-interval 0)
    
```

ip tcp adjust-mss <設定項目: l2tpv3 xconnect><設定補足: ip>

```

<説明> MSS 値を調整します。
<書式> ip tcp adjust-mss (auto|<bytes:500-1460>)
<初期値> no ip tcp adjust-mss
<no> no ip tcp adjust-mss : Set defaults
    
```

I2tpv3 xconnect parameters

loop-detect enable <設定項目: I2tpv3 specific commands><設定補足: loop-detect>

- < 説 明 > Loop Detection機能を有効にします。
- < 書 式 > loop-detect enable
- < 初 期 値 > no loop-detect enable
- < no > no loop-detect enable

send-known-unicast enable <設定項目: I2tpv3 specific commands>

- < 説 明 > Known Unicast送信機能を有効にします。
- < 書 式 > send-known-unicast enable
- < 初 期 値 > no send-known-unicast enable
- < no > no send-known-unicast enable

send-circuit-down enable <設定項目: I2tpv3 specific commands>

- < 説 明 > Circuit Statusがdownの時に、対向LCCEに対して、Non-Unicast Frameを送信します。
- < 書 式 > send-circuit-down enable
- < 初 期 値 > no send-circuit-down enable
- < no > no send-circuit-down enable

split-horizon enable <設定項目: I2tpv3 specific commands><設定補足: split-horizon>

- < 説 明 > Split Horizon機能を有効にします。
- < 書 式 > split-horizon enable
- < 初 期 値 > no split-horizon enable
- < no > no split-horizon enable

第 14 章

l2tpv3-group node

I2tpv3-group node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
```

```
nrx130(config)#I2tpv3 group <gid:1-4095>
```

```
nrx130(config-I2tpv3-group)#
```

xconnect <設定項目: I2tpv3 group parameters><設定補足: xconnect>

<説 明> 使用する Xconnect を指定します。

<書 式> xconnect <primary-xid:1-4294967295> [<secondary-xid:1-4294967295>]

preempt enable <設定項目: I2tpv3 group parameters><設定補足: preempt>

<説 明> Group の preempt モードを有効にします。

<書 式> preempt enable

< no > no preempt enable

enforce-secondary-down enable <設定項目: I2tpv3 group parameters>

<説 明> Secondary セッションを強制切断します。

<書 式> enforce-secondary-down enable

<初 期 値> no enforce-secondary-down enable

< no > no enforce-secondary-down enable

active-hold enable <設定項目: I2tpv3 group parameters><設定補足: active-hold>

<説 明> Group の Active Hold 機能を有効にします。

<書 式> active-hold enable

<初 期 値> no active-hold enable

< no > no active-hold enable

第 15 章

rip node

rip node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#router rip
```

```
nrx130(config-router)#
```

network <設定項目: network>

- <説明> RIPを有効にするネットワークおよびインタフェースを設定します。
- <書式> network A.B.C.D/M : IP prefix <network>/<length>, e.g., 35.0.0.0/8
network ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
network ppp <0-4>
network tunnel <0-255>
- <no> no network A.B.C.D/M : IP prefix <network>/<length>, e.g., 35.0.0.0/8
no network ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
no network ppp <0-4>
no network tunnel <0-255>

redistribute <設定項目: redistribute>

- <説明> 経路の再配信を有効にします。
- <書式> redistribute (static|connected|ospf|bgp) [metric] [<metric:0-16>]
- <no> no redistribute (static|connected|ospf|bgp) [metric] [<metric:0-16>]

distance <設定項目: distance>

- <説明> RIPとOSPFを併用していて全く同じ経路を学習した場合に、この値の小さい方を経路として採用します。
- <書式> distance <1-255>
- <no> no distance

timers basic <設定項目: timers>

- <説明> RIPタイマーを設定します。
- <書式> timers basic <update:5-2147483647> <timeout:5-2147483647>
<garbage:5-2147483647>
- <初期値> update: 30sec, timeout: 180sec, garbage: 120sec
- <no> no timers basic (=timers basic 30 180 120)(= set defaults)

rip node

passive-interface <設定項目: passive interface>

- <説明> ルーティングアップデートの送信をストップします(受信はします)。
<書式> passive-interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
passive-interface ppp <0-4>
passive-interface tunnel <0-255>
- < no > no passive-interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
no passive-interface ppp <0-4>
no passive-interface tunnel <0-255>

default-information originate <設定項目: default route>

- <説明> デフォルトルート情報の配信を有効にします。
<書式> default-information originate
< no > no default-information originate

version <設定項目: version>

- <説明> RIPバージョンを設定します。
<書式> version <1-2>
<初期値> version 2
< no > no version [<1-2>]

第 16 章

ospf node

移行 command

```

nxr130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nxr130(config)#router ospf
nxr130(config-router)#

```

network <設定項目: network>

<説明> OSPFのエリア IDを設定します。

<書式> network A.B.C.D/M area <0-4294967295> : OSPF area ID as a decimal value
network A.B.C.D/M area A.B.C.D : OSPF area ID in IP address format

<no> no network A.B.C.D/M area <0-4294967295>
no network A.B.C.D/M area A.B.C.D

area default-cost <設定項目: area><設定項目: default-cost>

<説明> スタブエリアに対してデフォルトルート情報を送信する際のコスト値を設定します。

<書式> area (<0-4294967295>|A.B.C.D) default-cost <0-16777215>

<no> no area (<0-4294967295>|A.B.C.D) default-cost

area authentication <設定項目: area><設定補足: authentication>

<説明> 認証を有効にします。

<書式> area (<0-4294967295>|A.B.C.D) authentication [message-digest]

<no> no area (<0-4294967295>|A.B.C.D) authentication

area range <設定項目: area><設定補足: range>

<説明> 経路情報を集約して送信する場合に設定します。

<書式> area (A.B.C.D|<0-4294967295>) range A.B.C.D/M

<no> no area (A.B.C.D|<0-4294967295>) range A.B.C.D/M

area stub <設定項目: area><設定補足: stub (no-summary)>

<説明> スタブ設定を有効にします。

<書式> area (A.B.C.D|<0-4294967295>) stub
area (A.B.C.D|<0-4294967295>) stub no-summary

<no> no area (A.B.C.D|<0-4294967295>) stub
no area (A.B.C.D|<0-4294967295>) stub no-summary

ospf node

area virtual-link <設定項目: area><設定補足:virtual-link>

- <説明> バーチャルリンクを設定します。
- <書式> area (A.B.C.D|<0-4294967295>) virtual-link A.B.C.D
 area (A.B.C.D|<0-4294967295>) virtual-link A.B.C.D
 authentication (message-digest|null)
 | authentication-key LINE
 | dead-interval <1-65535>
 | hello-interval <1-65535>
 | message-digest-key <1-255> md5 LINE
 | retransmit-interval <1-65535>
 | transmit-delay <1-65535>}
- <no> no area (A.B.C.D|<0-4294967295>) virtual-link A.B.C.D
 no area (A.B.C.D|<0-4294967295>) virtual-link A.B.C.D
 authentication (message-digest|null)
 | authentication-key LINE
 | dead-interval <1-65535>
 | hello-interval <1-65535>
 | message-digest-key <1-255> md5 LINE
 | retransmit-interval <1-65535>
 | transmit-delay <1-65535>}

area redistribute <設定項目: redistribute>

- <説明> 経路の再配信を設定します。
- <書式> redistribute (connected|static|rip|bgp)
 redistribute (connected|static|rip|bgp) [metric<0-16777214>] [metric-type (1|2)]
- <no> no redistribute (connected|static|rip|bgp)
 no redistribute (connected|static|rip|bgp) [metric] [metric-type]

distance <設定項目: distance>

- <説明> OSPF と他のダイナミックルーティング併用時に、同じサブネットを学習した場合、この値の小さい方のダイナミックルートを経路として採用します。
- <書式> distance <1-255>
 distance ospf {intra-area <1-255>|inter-area <1-255>|external <1-255>}
- <no> no distance <1-255>
 no distance ospf

timers spf <設定項目: timers>

- <説明> OSPF SPF timersを設定します。
- <書式> timers spf <delay:0-4294967295> <hold_time:0-4294967295>
 <delay:0-4294967295> : Delay between receiving a change to SPF calculation
 <hold_time:0-4294967295> : Hold time between consecutive SPF calculations
- <no> no timers spf : Set defaults

passive-interface <設定項目: passive interface>

- < 説 明 > ルーティングアップデートの送信をストップします(受信はします)。
< 書 式 > passive-interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
passive-interface ppp <0-4>
passive-interface tunnel <0-255>
< no > no passive-interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>]
no passive-interface ppp <0-4>
no passive-interface tunnel <0-255>

default-information <設定項目: default route>

- < 説 明 > デフォルトルート OSPF で配信します。
< 書 式 > default-information originate
default-information originate [metric <0-16777214>][metric-type (1|2)][always]
< no > no default-information originate
no default-information originate [metric<0-16777214>][metric-type(1|2)][always]

router-id <設定項目: router-id>

- < 説 明 > Router IDを設定します。
< 書 式 > router-id A.B.C.D
< no > no router-id

第 17 章

bgp node

移行 command

```
nxr130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nxr130(config)#router bgp <1-65535>
```

```
nxr130(config-router)#
```

network

- < 説 明 > ネットワークアドレスを設定します。
- < 書 式 > network A.B.C.D/M (|backdoor)
- < no > no network A.B.C.D/M (|backdoor)
- < 備 考 > Backdoor 機能を使用すると、受け取った BGP 経路の優先順位を下げて他のルートを優先させることができます。

aggregate-address

- < 説 明 > アグリゲートアドレスを設定します。
- < 書 式 > aggregate-address A.B.C.D/M { |summary-only|as-set }
- < no > no aggregate-address A.B.C.D/M { |summary-only|as-set }
- < 備 考 > BGP route の集約を行うことができる場合に、集約 route を作成します。
集約 route のみを advertise する場合は、summary-only 設定を有効にします。

distance

- < 説 明 > eBGP ルートの administrative distance 値を設定します。
- < 書 式 > distance bgp <1-255>
- < no > no distance bgp
- < 備 考 > 初期値は 20 です。

bgp**always-compare-med**

- < 説 明 > 異なる AS を生成元とするルートの MED 値の比較を行います。
- < 書 式 > bgp always-compare-med
- < no > no bgp always-compare-med

bestpath as-path

- < 説 明 > BGP の最適パス決定プロセスにおいて、AS PATH が最短であるルートを優先するというプロセスを省略します。
- < 書 式 > bgp bestpath as-path ignore
- < no > no bgp bestpath as-path ignore

bestpath med

- < 説 明 > MED 値のない prefix に対して、MED 最大値の 4294967294 が割り当てられます。
- < 書 式 > bgp bestpath med missing-as-worst
- < no > no bgp bestpath med missing-as-worst

bgp (続き)

local-preference

- < 説明 > Local Preference 値のデフォルト値を変更します。
- < 書 式 > bgp default local-preference <0-4294967295>
- < no > no bgp default local-preference
- < 備 考 > iBGP peer 間でのみ交換される値で、値の大きい方が優先されます。
Default 値は 100 です。

default-information-check

- < 説明 > default route 情報を保持している場合にのみ、BGP4 にて default route 情報を
広告する機能です。
- < 書 式 > bgp default-information-check
- < no > no bgp default-information-check
- < 初期 値 > no bgp default-information-check
- < 備 考 > 本機能が有効な場合、下記のいずれかの方法によって default route 情報を
BGPへインストールする必要があります。
- (1) redistribute 設定により default route 情報をインストールする。
 - (2) network 設定により 0.0.0.0/0 をインストールする。

enforce-first-as

- < 説明 > UPDATE に含まれる AS シーケンスの中の最初の AS が neighbor の AS でない場合に、
notification メッセージを送信して、neighbor とのセッションをクローズします。
- < 書 式 > bgp enforce-first-as
- < no > no bgp enforce-first-as

network import-check

- < 説明 > BGP で advertise される network は、通常、生成元となる router がその network を知ら
ない場合も advertise される。知らない network を BGP で advertise したくない場合に
は、import-check 機能を有効にすることによって、advertise されなくなります。
- < 書 式 > bgp network import-check
- < no > no bgp network import-check

router-id

- < 説明 > Router-ID を IP アドレス形式で設定します。
- < 書 式 > bgp router-id A.B.C.D
- < no > no bgp router-id
- < 備 考 > Router-ID が指定されていない場合、XR0S が保持している IPv4 address の中でもっと
も大きい IPv4 address が Router-ID として使用されます。

scan-time

- < 説明 > BGP で学習した route の next-hop が到達可能かどうかをスキャンします。
- < 書 式 > bgp scan-time <0-60>
- < no > no bgp scan-time
- < 備 考 > 初期値は 5 秒です。

neighbor

default-originate

- < 説 明 > デフォルトルートを送信する場合に設定します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D default-originate
- < no > no neighbor A.B.C.D default-originate

distribute-list

- < 説 明 > peer に送信 / 受信する route update の filtering を行う場合に設定します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D distribute-list ACL-NAME (in|out)
- < no > no neighbor A.B.C.D distribute-list ACL-NAME (in|out)
- < 備 考 > Neighbor 毎に IN/OUT それぞれ 1 つの distribute-list を設定することができます。

ebgp-multihop

- < 説 明 > peer と直接接続されていない場合でも、eBGP Peer を確立することができます。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D ebgp-multihop <1-255>
- < no > no neighbor A.B.C.D ebgp-multihop <1-255>
- < 備 考 > 到達可能なホップ数を設定します。

filter-list

- < 説 明 > BGP のフィルタを設定します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D filter-list ACL-NAME
- < no > no neighbor A.B.C.D filter-list ACL-NAME
- < 備 考 > global ノードで設定した AS-PATH アクセスリストを使用します。

next-hop-self

- < 説 明 > iBGP peer に送信する nexthop 情報を peer のルータとの通信に使用するインタフェースの address に変更します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D next-hop-self
- < no > no neighbor A.B.C.D next-hop-self

remote-as

- < 説 明 > 対向装置の AS 番号を設定します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D remote-as <1-65535>
- < no > no neighbor A.B.C.D remote-as <1-65535>

remove-private-as

- < 説 明 > Outbound update からプライベート AS を削除します。
- < 書 式 > neighbor A.B.C.D remove-private-as
- < no > no neighbor A.B.C.D remove-private-as

neighbor(続き)

route-map

- < 説明 > Peer に送信 / 受信する route の filtering や属性の操作をすることが出来ます。
- < 書式 > neighbor A.B.C.D route-map WORD (in|out)
- < no > no neighbor A.B.C.D route-map WORD (in|out)
- < 備考 > neighbor 毎に IN/OUT それぞれ 1 つの routemap を適用することができます。

soft-reconfiguration

- < 説明 > Neighbor との BGP session をクリアせずに変更を適用したい場合に使用します。
- < 書式 > neighbor A.B.C.D soft-reconfiguration inbound
- < no > no neighbor A.B.C.D soft-reconfiguration inbound
- < 備考 > BGP の neighbor parameter や routemap の設定を変更した場合、その変更を適用するためには BGP session の clear もしくは、BGP service の再起動が必要となります。

keepalive interval & holdtime

- < 説明 > keepalive の送信間隔と holdtime を設定します。
- < 書式 > neighbor A.B.C.D timers <keepalive:0-65535><holdtime:0|3-65535>
- < no > no neighbor A.B.C.D timers
- < 初期値 > neighbor A.B.C.D timers 60 180
- < 備考 > Peer から hold time がタイムアウトする前に、keepalive message が update message を受信しなかった場合、peer との session は close され IDLE 状態へと遷移します。Keepalive を 0sec に設定した場合、keepalive message は送信されません。

connect timer

- < 説明 > Connect timer を設定します。
- < 書式 > neighbor A.B.C.D timers connect <0-65535>
- < no > no neighbor A.B.C.D timers connect
- < 初期値 > neighbor A.B.C.D timers connect 120
- < 備考 > 0 を設定すると、毎秒 connect しようとします。

update-source

- < 説明 > BGP パケットのソースアドレスを、指定したインタフェースの IP アドレスに変更します。
- < 書式 > neighbor A.B.C.D update-source
(ethernet<0-2>|loopback<0-9>|ppp<0-4>|tunnel<0-255>)
- < no > no neighbor A.B.C.D update-source

redistribute

`redistribute (connected|static|rip|ospf)`

<説明> RIP や OSPF で学習した route や、connected route、static route を BGP で再配信する機能です。Default ルート情報も再配信されます。

<書式> `redistribute (connected|static|rip|ospf)`

<no> `no redistribute (connected|static|rip|ospf)`

`redistribute (connected|static|rip|ospf) route-map ABCD`

<説明> routemap 機能を適用することにより、再配信時に特定の prefix のみを配信したり、特定の prefix を拒否したりすることができます。

<書式> `redistribute (connected|static|rip|ospf) route-map ABCD`

<no> `no redistribute (connected|static|rip|ospf) route-map ABCD`

第 18 章

ntp node

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#ntp
nrx130(ntp-config)#

```

service <設定項目: service><設定補足: enable>

<説明> NTPサービスを有効にします。

<書式> service enable

<no > no service enable

server <設定項目: server><設定項目: set/delete>

<説明> NTPサーバの設定をします。

<書式> server (A.B.C.D|FQDN|X:X::X:X) polling min max

<初期値> no server

<備考> 2つまで設定可能。
serverを設定しない場合は、自身がmasterとなる。
serverをsetした場合はmaster設定は無効となる。

<no > no server (A.B.C.D|FQDN|X:X::X:X) : Delete

timeout <設定項目: timeout><設定項目: set/negate>

<説明> 同期時刻タイムアウト時間を設定します。

<書式> timeout <seconds:1-30>

<初期値> timeout 30

<no > no timeout (=timeout 30)

第 19 章

snmp node

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#snmp
nrx130(snmp-config)#

```

security <設定項目: security><設定項目: set/delete>

<説明> SNMP マネージャを使いたいネットワーク範囲を指定します。

<書式> security A.B.C.D/M|X::X:X/M COMMUNITY

<初期値> no security

<備考> 3つまで Network 設定可能。

<No > no security (A.B.C.D/M|X::X:X/M) : Delete

syslocation <設定項目: syslocation><設定項目: set/negate>

<説明> sysLocation を設定します。

<書式> syslocation LOCATION

<初期値> no syslocation

<No > no syslocation : Negate

syscontact <設定項目: syscontact><設定項目: set/negate>

<説明> sysContact を設定します。

<書式> syscontact CONTACT

<初期値> no syscontact

<No > no syscontact : Negate

sysname <設定項目: sysname><設定項目: set/negate>

<説明> sysName を設定します。

<書式> sysname SYSNAME

<初期値> no sysname

<No > no sysname : Negate

sysdescr <設定項目: sysdescr><設定項目: set/negate>

<説明> sysDescr を設定します。

<書式> sysdescr DESCRIBE

<初期値> no sysdescr

<No > no sysdescr : Negate

trap manager <設定項目: trap manager><設定項目: set/delete>

<説明> SNMP の trap manager を設定します。

<書式> trap manager (A.B.C.D|X::X:X) [TRAPCOMMUNITY]

<初期値> no trap manager

<備考> 3つまで設定可能
Community 未指定時は "community"

<No > no trap manager [A.B.C.D|X::X:X] : Delete

trap agent <設定項目:trap agent><設定項目:set/delete>

- <説 明> SNMP の trap agent を設定します。
- <書 式> trap agent ip A.B.C.D
trap agent interface ethernet <0-2>
- <初 期 値> no trap agent
- <備 考> TRAP パケット中の "Agent Address" を指定できる
- < No > no trap agent : Delete

bind address <設定項目:bind address><設定項目:set/negate>

- <説 明> SNMP の bind address を設定します。
- <書 式> bind address A.B.C.D
bind address X:X::X:X
- <初 期 値> no bind address
- <備 考> SNMP の listen アドレスを指定。TRAP 送信時の source ip もこの bind address となる。
未設定の場合は 0.0.0.0 で listen する。
- < No > no bind address : 自動選択(0.0.0.0 で listen)

第 20 章

syslog node

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
nrx130(config)#syslog
nrx130(syslog-config)#
    
```

local enable <設定項目: Local enable><設定項目: Set/Negate>

<説明> syslogをローカル出力します。

<書式> local enable

<初期値> local enable

<No > no local enable : ローカル出力しない

local file <設定項目: Local file><設定項目: Set/Negate>

<説明> syslogをファイルに出力します。

<書式> local file disk0:FILENAME

<初期値> no local file

<No > no local file

<備考> filenameは「disk0:」で始まる任意のファイル名を指定します。

server <設定項目: Server><設定項目: Set/Negate>

<説明> syslogサーバに送信します。

<書式> server (A.B.C.D | X:X::X:X | FQDN)

<初期値> no server

<No > no server : syslogサーバに転送しない

mark <設定項目: Mark><設定項目: Set/Disable/Negate>

<説明> Syslog markの設定をします。

<書式> mark <0-99min>

<初期値> mark 20

<備考> mark 0 : Disable

<No > no mark : =mark 20

priority <設定項目: Mark><設定項目: Set/Negate>

<説明> Syslogのプライオリティを設定します。

<書式> priority (debug|info|notice)

<初期値> priority info

<No > no priority

system <設定項目: System><設定項目: Set/Negate>

<説明> syslogシステムメッセージの設定をします。

<書式> system mark : Output messages with mark

system hour : Output messages hourly

<初期値> no system

<No > no system : Systemメッセージ出力しない

mail send<設定項目: System><設定項目: Set/Negate>

- <説明> syslogメッセージをメール送信します。
- <書式> mail send enable
- <初期値> no mail send
- <No > no mail send

mail to <設定項目: Mail><設定項目: Set/Negate>

- <説明> 送信先メールアドレスを設定します。
- <書式> mail to RECEIVER
- <初期値> no mail to
- <No > no mail to

mail from <設定項目: Mail><設定項目: Set/Negate mail>

- <説明> 送信元メールアドレスを設定します。
- <書式> mail from SENDER
- <初期値> no mail from
- <No > no mail from

mail subject <設定項目: Mail><設定項目: Set/Negate>

- <説明> メールの件名を設定します。
- <書式> mail subject SUBJECT
- <初期値> no mail subject
- <No > no mail subject

mail strings <設定項目: Mail><設定項目: Set/Negate>

- <説明> ここで指定した文字列が含まれるログをメールで送信します。
- <書式> mail strings <1-32> STRINGS
- <初期値> no mail strings
- <備考> メール検索文字列は32行まで設定可
- <No > no mail strings <1-32>

mail server <設定項目: Mail><設定項目: Authentication>

- <説明> メールサーバの認証方法を設定します。
- <書式> mail server authentication pop-before-smtp POP before SMTP
mail server authentication smtp-auth-login SMTP authentication (login)
mail server authentication smtp-auth-plain SMTP authentication (plain)
- <No > no mail server authentication

mail server <設定項目: Mail><設定項目: POP3>

- <説明> POP3サーバのアドレスを設定します。
- <書式> mail server address A.B.C.D
mail server address FQDN

syslog node

mail server <設定項目: Mail><設定項目: SMTP>

- <説明> SMTPサーバのアドレスおよびポート番号を設定します。
- <書式> mail server smtp address A.B.C.D
mail server smtp address FQDN
mail server smtp port <1-65535>

mail server <設定項目: Mail><設定項目: USER ID and PASSWORD>

- <説明> SMTPサーバのユーザIDとパスワードを設定します。
- <書式> mail server username USERNAME password [hidden] PASSWORD

第 21 章

dhcp-server node

dhcp-server node

移行 command

```

nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#dhcp-server <1-5>
nrx130(dhcps-config)#

```

network <設定項目: Network><設定補足: Set>

```

<説明> DHCPサーバを動作させるネットワークを指定します。
<書式> network A.B.C.D/M range E.F.G.H I.J.K.L
<オプション> E.F.G.H : Starting IP address for DHCP
               I.J.K.L : Ending IP address for DHCP

```

lease-time <設定項目: Lease-time><設定補足: Set>

```

<説明> IPアドレスのリース時間を設定します。
<書式> lease-time <default:1-4294967295> <max:1-4294967295>
<初期値> lease-time 21600 43200
<No> no lease-time : Unset DHCP lease time

```

gateway <設定項目: Gateway><設定補足: Set>

```

<説明> DHCPクライアントのデフォルトゲートウェイとなるIPアドレスを指定します。
<書式> gateway GATEWAY
<初期値> no gateway
<No> no gateway : Delete

```

domain <設定項目: Domain><設定補足: Set>

```

<説明> DHCPクライアントに割り当てるドメイン名を指定します。
<書式> domain DOMAIN
<初期値> no domain
<No> no domain : Unconfigure

```

dns-server <設定項目: Domain><設定補足: Set>

```

<説明> DHCPクライアントに割り当てるDNSサーバアドレスを指定します。
<書式> dns-server <primary DNS: A.B.C.D>
       dns-server <primary DNS: A.B.C.D> <secondary DNS: A.B.C.D>
<初期値> no dns-server
<備考> 2つまで設定可能
<No> no dns-server : Delete

```

dhcp-server node

netbios-server <設定項目: Netbios server><設定補足: Set>

- <説明> NetBIOS サーバの IP アドレスを設定します。
- <書式> netbios <primary NetBIOS: A.B.C.D>
netbios <primary NetBIOS: A.B.C.D> <secondary NetBIOS: A.B.C.D>
- <初期値> no netbios-server
- <備考> 2つまで設定可能
- < No > no netbios-server : Delete

netbios-scope-id <設定項目: Netbios scope id><設定補足: Set>

- <説明> NetBIOS スコープ ID を配布できます。
- <書式> netbios-scope-id SCOPED-ID
- <初期値> no netbios-scope-id
- < No > no netbios-scope-id

sip-server <設定項目: SIP server><設定補足: Set>

- <説明> DHCP client からの SIP server 要求に対して、SIP server address を割り当てます。
- <書式> sip-server (A.B.C.D [A.B.C.D]| FQDN [FQDN])
- <初期値> no sip-server
- < No > no sip-server : Delete
- <備考> IPv4 address または FQDN を最大2つまで設定することができます。

第 22 章

dhcp-relay node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#dhcp-relay
```

```
nrx130(dhcpr-config)#
```

address <設定項目: Address><設定補足: Address>

- <説明> 上位DHCPサーバのIPアドレスを指定します。
- <書式> address A.B.C.D
- <初期値> no address
- <備考> 4つまで設定可能
- <No > no address A.B.C.D : Unset DHCP relay address

第 23 章

ipsec local policy node

第23章 ipsec local policy node

ipsec local policy node

移行 command

```
nxr130(config)#ipsec local policy <policy:1-255>  
nxr130(config-ipsec-local)#
```

address <設定項目: Address>

<説明> IPsec tunnel のソース IP を指定します。
<書式> address ip
 address ipv6

self-identity <設定項目: Self-identity><設定補足: FQDN|USER@FQDN|DN>

<説明> 本装置の ID を設定します。
<書式> self-identity fqdn FQDN : FQDN e.g., centurysys.co.jp
 self-identity user-fqdn USER@FQDN : USER@FQDN e.g., user@centurysys.co.jp
 self-identity dn LINE
<初期値> no self-identity
<No > no self-identity

x509 certificate <設定項目: X.509 cert>

<説明> X.509 証明書を設定します。
<書式> x509 certificate CERTIFICATE
<No > no x509 certificate : Unset X.509

第 24 章

ipsec isakmp policy node

第24章 ipsec isakmp policy node

ipsec isakmp policy node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#ipsec isakmp policy <policy:1-65535>
```

```
nrx130(config-ipsec-isakmp)#
```

description <設定項目: Description>

- <説明> ISAKMP policyの説明を記述します。
- <書式> description DESCRIPTION
- <No> no description

authentication pre-share <設定項目: Authentication>

- <説明> PSKを使用します。
- <書式> authentication pre-share KEY

authentication rsa-sig <設定項目: Authentication>

- <説明> RSAを使用します。
- <書式> authentication rsa-sig
authentication rsa-sig KEY

authentication xauth

- <説明> xauthを使用します。
- <書式> xauth mode client USERID
xauth mode server
- <備考> USERIDは、global nodeで ipsec xauthで設定したusernameに一致させます。
useridとpasswordは、ipsec xauth username commandで設定します。
- <No> no xauth

keepalive <設定項目: Keepalive><設定補足: DPD>

- <説明> キープアライブの設定をします。
- <書式> keepalive periodic
keepalive periodic (clear|hold|restart)
keepalive <interval:10-3600> <retry:0-60> periodic
keepalive <interval:10-3600> <retry:0-60> periodic (clear|hold|restart)

<オプション>

- clear : keepalive失敗時、SAを削除する。
- hold : keepalive失敗時、SAを削除する。IPsec policyはon-demandモードに移行。
- restart : keepalive失敗時、SAを削除する。IKEネゴシエーションを開始する。
- <No> no keepalive : Unset keepalive

第24章 ipsec isakmp policy node

ipsec isakmp policy node

backup policy <設定項目: 冗長化><設定補足: backup>

- <説明> IPsec isakmp の backup policy を設定します。
<書式> backup policy <1-65535>
<初期値> no backup policy
<No> no backup policy

hash <設定項目: Transform set><設定補足: Hash>

- <説明> ハッシュアルゴリズムを設定します。
<書式> hash (md5|sha)
<初期値> hash sha

encryption <設定項目: Transform set><設定補足: Encryption>

- <説明> 暗号化アルゴリズムを設定します。
<書式> encryption (aes128|des|3des)
<初期値> encryption aes128

group <設定項目: Transform set><設定補足: DH Group>

- <説明> DH(Diffie-Helman) group を設定します。
<書式> group (1|2|5|14)
<初期値> group 14

lifetime <設定項目: Lifetime><設定補足: Lifetime>

- <説明> ライフタイムを設定します。
<書式> lifetime <1081-86400>
<初期値> lifetime 10800 (=3 hours)
<No> no lifetime : Set defaults(lifetime 10800と同じ)

rekey

- <説明> Rekey の soft timer は、margin と increased-ratio により決定されます。Margin は、lifetime が切れる何秒前から rekey を実行するかどうかを指定します。increased-ratio 値は、margin よりどれくらい増やすかを % で指定します。
<書式> rekey margin <30-360> (increased-ratio <0-100>|)
<初期値> no rekey margin
<備考>

- Soft timer の最小・最大は、次の式により決定され、この間でランダムに Soft timer が設定されます。

$$\text{minimum soft timer} = \text{lifetime} - \text{margin}$$

$$\text{maximum soft timer} = \text{lifetime} - (\text{margin} + \text{margin} * \text{increased-ratio} / 100)$$

- default 値は、margin が 270sec、increased-ratio は 100% です。このため、lifetime から 270 ~ 540sec 前の時間がランダムで設定されます。但し、Responder の場合、soft timer は、margin/2 時間分早く設定されます。これは、initiator 側より rekey を行うようにするためです。
- increased-ratio を 0 に設定すると soft timer が毎回同じ値となります。負荷の分散やセキュリティ的に問題があるため、設定しないことを推奨します。

第24章 ipsec isakmp policy node

ipsec isakmp policy node

isakmp-mode <設定項目: Phase1 mode><設定補足: Phase1>

- <説明> Phase 1のネゴシエーションモードを設定します。
- <書式> isakmp-mode (main|aggressive)

remote address <設定項目: Remote><設定補足: Address>

- <説明> 対向のIPアドレスを設定します。
- <書式> remote address ip (A.B.C.D|any)
remote address ipv6 (X:X::X:X|any)

remote identity <設定項目: Remote><設定補足: ID>

- <説明> 対向のIDを設定します。
- <書式> remote identity dn DN
remote identity fqdn FQDN
remote identity user-fqdn USER@FQDN
- <初期値> no remote identity
- <備考> peer identity未設定時は、IP/IPv6をIDとして使用する
- <No> no remote identity :Unset remote identity

local policy <設定項目: Local><設定補足: Local 設定の選択>

- <説明> 使用するローカルポリシーを選択します。
- <書式> local policy <1-255>

netevent <設定項目: Netevent>

- <説明> イベント発生時に、IKE単位でIPsecトンネルの確立、削除を実行します。
- <書式> netevent <trackid:1-255> connect|disconnect|reconnect
- <No> no netevent

第 25 章

ipsec tunnel policy node

第25章 ipsec tunnel policy node

ipsec tunnel policy node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nrx130(config)#ipsec tunnel policy <policy:1-65535>
```

```
nrx130(config-ipsec-tunnel)#
```

description <設定項目: Description>

<説明> IPsec tunnel policyの説明を記述します。

<書式> description DESCRIPTION

<No> no description DESCRIPTION : Unset IPsec tunnel policy specific description

set transform <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Transform>

<説明> transformを設定します。

<書式> set transform ENCRYPTION (HASH)

<オプション>

ENCRYPTION : esp-3des|esp-des|esp-aes128|esp-null

HASH : esp-sha1-hmac|esp-md5-hmac

<初期値> set transform esp-aes128 esp-sha1-hmac

<備考> HASHを指定しない場合は、ESPの認証機能は無効となります。
認証機能は無効にした場合は、replay 防御 window 機能も無効になります。
esp-nullを指定した場合は、認証機能は無効にできません。

set pfs <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: PFS>

<説明> PFSを設定します。

<書式> set pfs (group2|group5|group1|group14|phase1)

<初期値> set pfs phase1(phase1と同じDH groupを使用)

<No> no set pfs : PFS無効

set anti-replay-check <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: anti-replay>

<説明> replay 防御 window 機能の有効 / 無効を設定します。

<書式> set anti-replay-check

<初期値> set anti-replay-check

<No> no set anti-replay-check

set key-exchange <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Key-exchange policy>

<説明> 使用する ISAKMP ポリシーを指定します。

<書式> set key-exchange isakmp <1-65535>

set sa lifetime <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: SA>

<説明> IPsec SAのライフタイムを設定します。

<書式> set sa lifetime <1081-86400>

<初期値> set sa lifetime 3600

<No> no set sa lifetime : Unset security association lifetime

第25章 ipsec tunnel policy node

ipsec tunnel policy node

negotiation-mode <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Negotiate>

- <説 明> ネゴシエーションモードを指定します。
- <書 式> negotiation-mode (auto|on-demand|manual)
- <初 期 値> negotiation-mode auto

shutdown <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Policyの無効化>

- <説 明> IPsecトンネルポリシーを無効にします。
- <書 式> shutdown
- < No > no shutdown

match address <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Selector>

- <説 明> 暗号化するMatch address of packets to encrypt
- <書 式> match address IPSEC-ACL-NAME
match address IPSEC-ACL-NAME nat-traversal

set route <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Route>

- <説 明> Destination Prefixをルーティングテーブルに追加します。
- <書 式> set route
- < No > no set route : Disable

set priority <設定項目: Phase2 parameters><設定補足: Priority>

- <説 明> ポリシーのプライオリティを設定します。
- <書 式> set priority <1-255>
- <初 期 値> set priority 1
- < No > no set priority : Set defaults

第 26 章

UPnP node

移行 command

```
nrx130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nrx130(config)#upnp
nrx130(upnp-config)#
```

service enable <設定項目: service><設定補足: set>

<説 明> サービスを起動します。
<書 式> service enable

external interface <設定項目: external interface><設定補足: set>

<説 明> WAM側インタフェースを設定します。
<書 式> external interface ethernet <0-2> [vid <1-4094>] | ppp <0-4>

listen <設定項目: listen><設定補足: set>

<説 明> LAN 配下の機器からの UPnP メッセージを listen する IP アドレスを設定します。
<書 式> listen ip A.B.C.D/M
< No > no listen ip A.B.C.D/M
<備 考> 最大2つまで設定可能

timeout <設定項目: timeout><設定補足: set>

<説 明> UPnP 機能使用時の無通信切断タイマーを設定します。
<書 式> timeout <sec:60-21474836>
<初 期 値> no timeout (= timeout 600)

第 27 章

QoS (class-policy) node

移行 command

```
nrx130#  
nrx130#configure t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
nrx130(config)#class policy NAME  
nrx130(class-policy-config)#
```

class

<説 明> class を設定します。

<書 式>

class+child class

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|) queue policy NAME
```

class+PQ

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|) queue priority-group <1-32>
```

class+fifo

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|) queue priority-group <1-32>
```

class+sfq

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|) queue fair-queue
```

class+tbf

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|)  
queue shape <RATE:1-1000000> <BUFFER:1-1000000> <LIMIT:1-1000000>
```

class+default queue (default queue : fifo)

```
class <2-254> bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|)
```

class 削除

```
no class <2-254>
```

```
no class default
```

class default (policy は選択不可)

```
class default bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|)  
queue (priority-group|shape|fifo|fair-queue)
```

default queue (default queue: sfq)

```
class default bandwidth <1-1000000> (ceil <1-1000000>|)
```

<備 考> bandwidth/ceil,RATE の単位は、kbps です。

第 28 章

QoS (class-filter) node

QoS (class-filter) node

移行 command

```
nxr130#  
nxr130#configure t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
nxr130(config)#class filter <2-254>  
nxr130(class-filter-config)#
```

match

< 説	明 >	Mark 値、ToS 値を設定します。
< 書	式 >	match ip mark <1-4095> match ip tos <0-255>
< 備	考 >	複数の match が設定されている場合、or 条件となります。
< No	>	no match ip mark <1-4095> no match ip tos <0-255>

第 29 章

CRP client node

移行 command

```
nxr130#configure t
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
nxr130(config)#crp client <1-2>
```

server configuration

server address

- <説明> CRPサーバのアドレスを設定します。
- <書式> server address A.B.C.D|X:X::X:X|FQDN
- <No> no server address : CRPサーバのアドレスを削除します。

server port

- <説明> CRPサーバのポート番号を設定します。
- <書式> server port <udp:1024-65535>
- <No> no server port : ポート番号の設定を削除します。

username

- <説明> CRPクライアントのユーザIDとパスワードを設定します。
- <書式> username WORD password (hidden|) WORD
- <No> no username : ユーザIDを削除します。

keepalive

- <説明> キープアライブの設定をします。
- <書式> keepalive (<300-28800sec>|)
- <備考> インターバル未指定時は「keepalive 3600」と同義です。
- <No> no keepalive : キープアライブを無効にします。

第 30 章

route-map node

移行 command

```
nxr130#  
nxr130#configure t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
nxr130(config)#route-map NAME (permit|deny) <1-65535>  
nxr130(config-route-map)#
```

match

< 説 明 > マッチ条件を設定します。
< 書 式 > match as-path ACL-NAME
match ip address ACL
match ip tos <0-255>
match ip next-hop ACL-NAME
match ip mark <1-4095>
match metric <0-4294967295>
match origin (egp|igp|incomplete)
< No > no match ip (address|tos|mark) : 設定したマッチ条件を削除します。
< 備 考 > ToS と Mark を同時に設定することは出来ません。
match がない場合は、すべてが set の対象になります。
deny で match した場合は、set の対象外になります。

set

< 説 明 > Mark 値、ToS 値を設定します。
< 書 式 > set aggregator as <1-65535>
set as-path prepend <1-65535>
set atomic-aggregate
set ip next-hop A.B.C.D
set local-preference <0-4294967295>
set mark <1-4095>
set metric <0-4294967295>
set origin (egp|igp|incomplete)
set tos <0-255>

付録 A

設定事例

. インタフェースの設定例

工場出荷状態では、ETHER 1 に IP アドレスが付いていません。ここでは、ETHER 1 に IP アドレスを付与する手順について説明します。

1. Console(またはTelnet)で、本装置にログインします。

```
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0
```

```
nxr130 login: admin
```

```
Password:
```

```
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0 (build 47/17:36 03 04 2009)
```

```
nxr130#
```

2. “configure terminal” コマンドで、CONFIGURATION モードに移行します。

```
nxr130#configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
```

```
nxr130(config)#
```

3. “interface ethernet 1” コマンドで、interface node に移行します。

```
nxr130(config)#interface ethernet 1
```

```
nxr130(config-if)#
```

4. IP アドレス (およびその他) の設定をします。

```
nxr130(config-if)# description ETHER 1
```

インタフェース名の設定 (任意)

```
nxr130(config-if)#ip address 192.168.1.254/24
```

5. “exit” コマンドを 2 回実行して、view node に移行します。

```
nxr130(config-if)#exit
```

```
nxr130(config)#exit
```

```
nxr130#
```

6. “show config” コマンドで、設定を確認します。

```
nxr130#show config
```

```
!
```

```
!   ... 前後の設定表示は省略 ...
```

```
!
```

```
interface ethernet 1
```

```
description ETHER 1
```

```
ip address 192.168.1.254/24
```

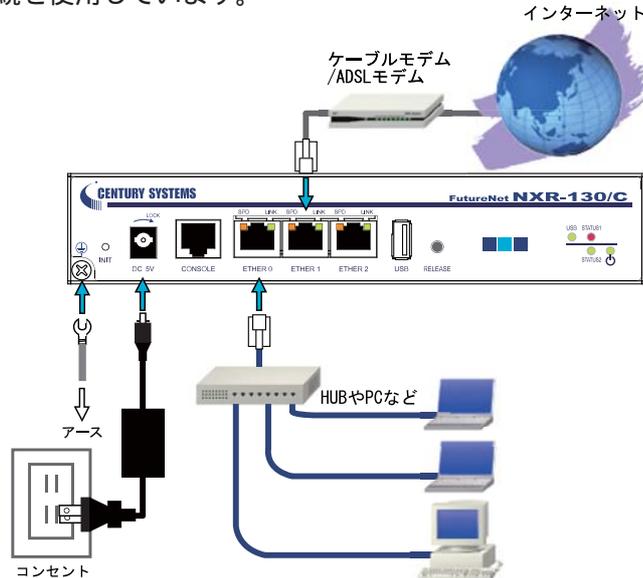
```
!
```

```
!   ... 前後の設定表示は省略 ...
```

```
!
```

PPPoE の設定例

PPPoE を使用してインターネットに接続する基本的な設定例を記載します。この例では、OCN IPv6 および、IPv4 の B フレッツ接続を使用しています。



```
nxr130#show config
```

```
!
```

```
! Century Systems NXR-130 ver 5.1.1 (build XX/11:43 07 05 2009)
```

```
!
```

```
hostname nxr130
```

ホスト名の設定

```
!
```

```
!
```

```
ipv6 forwarding
```

IPv6 フォワーディングを有効に設定

```
fast-forwarding enable
```

ファストフォワーディングを有効に設定 (任意)

```
!
```

```
!
```

```
l2tp 0
```

OCN IPv6 の接続は L2TP トンネルを使用

```
tunnel address XXXXXXXXX.ocn.ne.jp
```

OCN IPv6 の接続先を指定 (XXXX は伏せ字)

```
tunnel ppp 0
```

PPP over L2TP の設定

```
!
```

```
interface ppp 0
```

PPP 0 の接続名を OCNv6 に設定

```
description OCNv6
```

```
no ip address
```

```
ipv6 dhcp client pd AAA
```

DHCPv6-PD (prefix delegation) の設定

```
mtu 1390
```

PPP インタフェースの MTU を設定。

OCN IPv6 のデフォルト値は 1390 バイト。

```
ipv6 tcp adjust-mss auto
```

IPv6 の TCP MSS を auto(自動調整)に設定

```
ipv6 access-group in dhcpv6
```

入力フィルタで DHCPv6 パケットを許可 (詳細は後述)

```
ipv6 spi-filter
```

IPv6 の SPI フィルタを設定

```
ppp username XXXXXX password hidden XXXXXX
```

PPP 接続のアカウント (ID とパスワード) を設定

```
no ppp ipcp enable
```

IPCP を無効に設定

```
ppp ipv6cp enable
```

IPv6CP を有効に設定

. PPPoE の設定例

```

!
interface ppp 1
description B-flets_XXX          PPP1 は B フレッツ
ip address negotiated            動的 IP を使用
no ip redirects                  ICMP リダイレクトを無効に設定
ip tcp adjust-mss auto          TCP MSS を auto(自動調整)に設定
ip access-group in upnp         入力フィルタで UPnP パケットを破棄 (詳細は後述)
ip access-group forward-in upnp 転送フィルタで UPnP パケットを破棄 (詳細は後述)
ip access-group forward-out private 転送フィルタで private ネットワーク宛のパケットを破棄
                                   (詳細は後述)

ip masquerade                    ppp1 インタフェースで IP マスカレードを有効に設定
ip spi-filter                     ppp1 インタフェースで SPI を有効に設定
ppp username XXXXXX password hidden XXXXXX  PPP 接続のアカウント (ID とパスワード) を設定
!
interface ethernet 0
ip address 192.168.XXX.XXX/24    ethernet 0 インタフェースに IP アドレスを設定
ip access-group in netbios      入力フィルタで NetBIOS パケットを破棄 (詳細は後述)
ip access-group forward-in netbios 転送フィルタで NetBIOS パケットを破棄 (詳細は後述)
ipv6 address AAA ::254/64       DHCPv6-PD で取得したプレフィクス + 下位アドレス (254)
ipv6 nd send-ra                 RA (Router advertisement) を送信する
!
interface ethernet 1
no ip address                    ethernet 1 インタフェースの IP アドレスを無効化
ip access-group in upnp         入力フィルタで UPnP パケットを破棄 (詳細は後述)
ip access-group forward-in upnp 転送フィルタで UPnP パケットを破棄 (詳細は後述)
pppoe-client ppp 1              pppoe クライアントを実行 (ppp1) 。
!
interface ethernet 2
shutdown                         ethernet 2 は、ここでは使用しないので無効化
no ip address
!
dns
service enable                  DNS サービスを有効に設定
address XXX.XXX.XXX.XXX        DNS サーバを指定
address XXX.XXX.XXX.XXX
!
syslog
local enable                     syslog のローカル出力を有効に設定
!
snmp
security 192.168.XXX.XXX/24     SNMP マネージャのネットワーク範囲を指定
syslocation XXX                 sysLocation の設定
syscontact XXXXXX              sysContact の設定
sysname nxr130                  sysName の設定

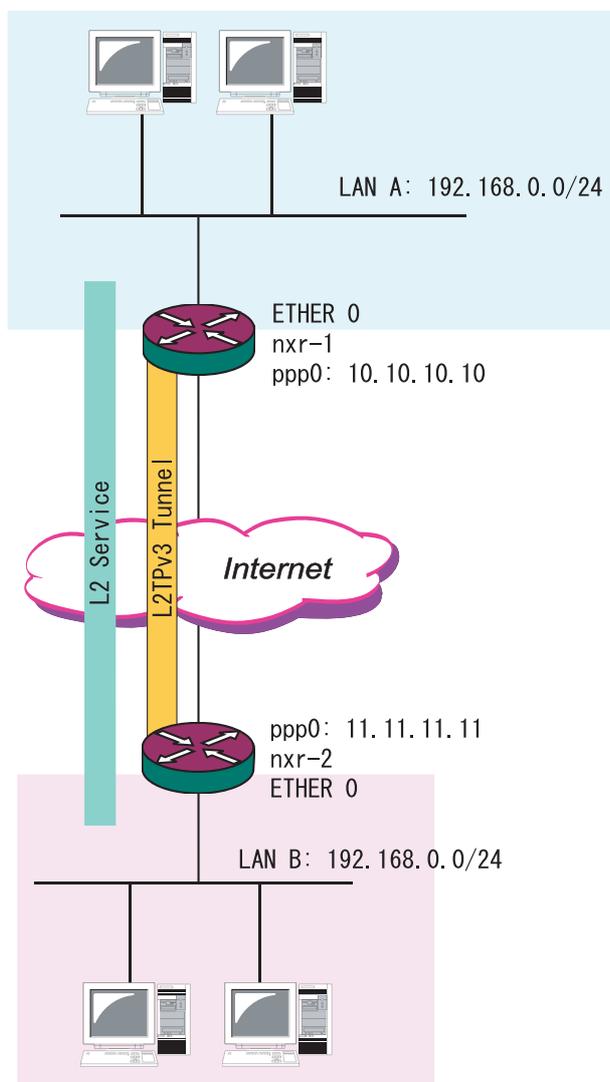
```

. PPPoE の設定例

```
!  
!  
!  
ip route 0.0.0.0/0 ppp 1                IPv4 のデフォルトルートを ppp1 に設定  
ip route 192.168.110.0/24 192.168.XXX.XXX  その他のスタティックルートの設定  
ip route 192.168.120.0/24 192.168.XXX.XXX  
ip route 192.168.130.0/24 192.168.XXX.XXX  
ip route 192.168.140.0/24 192.168.XXX.XXX  
ip route 192.168.150.0/24 192.168.XXX.XXX  
!  
ipv6 route ::/0 ppp 0                  IPv6 のデフォルトルートを ppp0 に設定  
!  
ip access-list netbios deny any any tcp any range 137 139          NetBIOS のパケットを破棄  
ip access-list netbios deny any any udp any range 137 139  
ip access-list netbios deny any any tcp 137 any  
ip access-list netbios deny any any udp 137 any  
ip access-list private deny any 192.168.0.0/16                    プライベートネットワーク宛のパケットを破棄  
ip access-list private deny any 172.16.0.0/12  
ip access-list private deny any 10.0.0.0/8  
ip access-list upnp deny any any udp any 1900                    UPnP のパケットを破棄  
ip access-list upnp deny any any tcp any 5000  
ip access-list upnp deny any any tcp any 2869  
!  
ipv6 access-list dhcpv6 permit any any udp range 546 547 range 546 547  
                                                                    DHCPv6 のパケットを許可  
!
```

. L2TPv3 の設定例

2拠点間でL2TPv3トンネルを構築し、End to EndでEthernetフレームを透過的に転送する設定例です。



< nxr1 の設定 >

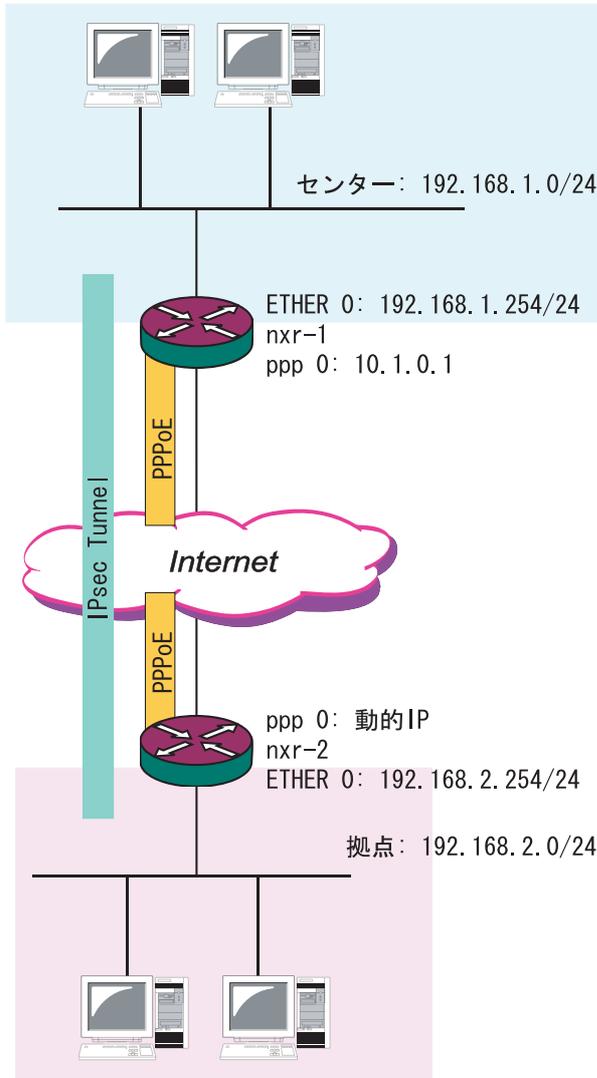
```
!
l2tpv3 hostname nxr1      本装置のホスト名
l2tpv3 router-id 192.168.200.254
                           本装置の ID
!
l2tpv3 tunnel 1
description nxr1-nxr2
tunnel address 11.11.11.11
                           対向 LCCE の WAN 側 IP アドレス
tunnel hostname nxr2     対向 LCCE のホスト名
tunnel router-id 192.168.200.253
                           対向 LCCE の ID
!
l2tpv3 xconnect 1
description nxr1-nxr2
tunnel 1
xconnect ethernet 0
                           L2 フレーム受信インタフェース
xconnect end-id 1
                           対向 LCCE の end-id と一致させます
!
```

< nxr2 の設定 >

```
!
l2tpv3 hostname nxr2
l2tpv3 router-id 192.168.200.253
!
l2tpv3 tunnel 1
description nxr2-nxr1
tunnel address 10.10.10.10
tunnel hostname nxr1
tunnel router-id 192.168.200.254
!
l2tpv3 xconnect 1
description nxr2-nxr1
tunnel 1
xconnect ethernet 0
xconnect end-id 1
!
```

IPsec の設定例

センター・拠点間で IPsec トンネルを 1 対 1 で構築する場合の設定例です。



< 接続条件 >

- ・センター側・拠点側ともに PPPoE 接続とします。
- ・ただし、センター側は固定アドレス、拠点側は動的アドレスとします。
- ・IPsec 接続の再接続性を高めるため、IPsec キープアライブを設定します。
- ・IP アドレス、ネットワークアドレスは、左図のとおりです。
- ・拠点が動的 IP アドレスのため、aggressive モードで接続します。
- ・PSK 共有鍵を用い、鍵は "centurysys" とします。

< 次ページに続く >

. IPsec の設定例

< nxr-1 の設定 >

```

!
ipsec local policy 1
address ip
!
!
ipsec isakmp policy 1
description to nxr2
authentication pre-share centurysys
                    PSK を "centurysys" に設定
keepalive periodic clear
                    キープアライブの設定 (失敗時に SA を削除)
hash sha1
encryption aes128
group 14
isakmp-mode aggressive      aggressive モード
remote address ip any       拠点は動的 IP
remote identity fqdn nxr2.desu
                            拠点の ID を設定 (FQDN)

local policy 1
!
!
ipsec tunnel policy 1
description to nxr2
negotiation-mode manual
                    センター側はイニシエートしない。
set transform esp-aes128 esp-sha1-hmac
set key-exchange isakmp 1
                    使用する ISAKMP ポリシー番号を指定
match address nxr2
                    IPsec アクセスリスト "nxr2" を指定 (後述)

!
!
interface ppp 0
description test
ip address 10.1.0.1/32      固定 IP アドレス
ip tcp adjust-mss auto
ip access-group in in-ppp0
ip masquerade
ip spi-filter
ppp authentication pap
ppp username user001@xxx.com password user001
ipsec policy 1
!
!
interface ethernet 0
ip address 192.168.1.254/24
                            LAN 側の IP アドレス
!
!
interface ethernet 1
no ip address
pppoe-client ppp 0
!
!
interface ethernet 2
no ip address
!
!
ip route 0.0.0.0/0 ppp 0
!
ip access-list in-ppp0 permit any any 50
                            ESP を許可
ip access-list in-ppp0 permit any any udp
any 500
                            ISAKMP を許可
ip access-list in-ppp0 permit any any icmp
!
ipsec access-list nxr2 ip 192.168.1.0/24
192.168.2.0/24
                            srcIP dstIP の場合に暗号化
!
!

```

. IPsec の設定例

< nxr-2 の設定 >

```

!
ipsec local policy 1
  address ip
  self-identity fqdn nxr2.desu
                                センターの ID(FQDN)
!
!
ipsec isakmp policy 1
  description to nxr1
  authentication pre-share centurysys
  keepalive 10 3 periodic
  hash sha1
  encryption aes128
  group 14
  isakmp-mode aggressive
  remote address ip 10.1.0.1
                                センターの WAN 側 IP アドレス
  local policy 1
!
!
ipsec tunnel policy 1
  description to nxr1
  set transform esp-aes128 esp-sha1-hmac
  set key-exchange isakmp 1
  match address nxr1
!
!
interface ppp 0
  description test
  ip address negotiated
  ip tcp adjust-mss auto
  ip access-group in in-ppp0
  ip masquerade
  ip spi-filter
  ppp authentication pap
  ppp username user002@xxx.com password user002
  ipsec policy 1
!
!
interface ethernet 0
  ip address 192.168.2.254/24
                                LAN 側の IP アドレス
!
interface ethernet 1
  no ip address
  pppoe-client ppp 0
!
interface ethernet 2
  no ip address
!
!
ip route 0.0.0.0/0 ppp 0
!
ip access-list in-ppp0 permit any any icmp
ip access-list in-ppp0 permit 10.0.0.1 any 50
ip access-list in-ppp0 permit 10.0.0.1 any
udp any 500
!
ipsec access-list nxr1 ip 192.168.2.0/24
192.168.1.0/24
                                srcIP dstIP の場合に暗号化
!
!

```

V. モバイル接続の設定例

NXRシリーズが現在対応している、もしくは対応を予定しているモバイルデータ通信端末は、下記のとおりです。

通信事業者	機種名	NXR-120	NXR-130
イーモバイル	D02HW		-
	D22HW		-
	D23HW		-
	D31HW		-
NTTドコモ	L-02A		
	L-05A		
NTTコミュニケーションズ	MF110		-
	MF120		-
ソフトバンク	C01SW	-	-
	C01LC	-	-
日本通信	MF636-BK1C (I・Care3G)	-	-

モバイルデータ通信端末を使用してインターネットに接続する基本的な設定例を記載します。この例では、通信事業者としてイーモバイルを使用しています。

はじめに、モバイルデータ通信端末を装着します。show mobile 0 apを実行して、“APN: emb.ne.jp”のCIDとPDP Typeを確認します。下記の例では、“APN: emb.ne.jp”のCIDは1、PDP TypeはIPです。

```
nxr120#show mobile 0 ap
CID      : 1
PDP Type : IP
APN      : emb.ne.jp
```

```
CID      : 2
PDP Type : PPP
APN      : rtc.data
```

```
CID      : 3
PDP Type : IP
APN      : 3g.commu
```

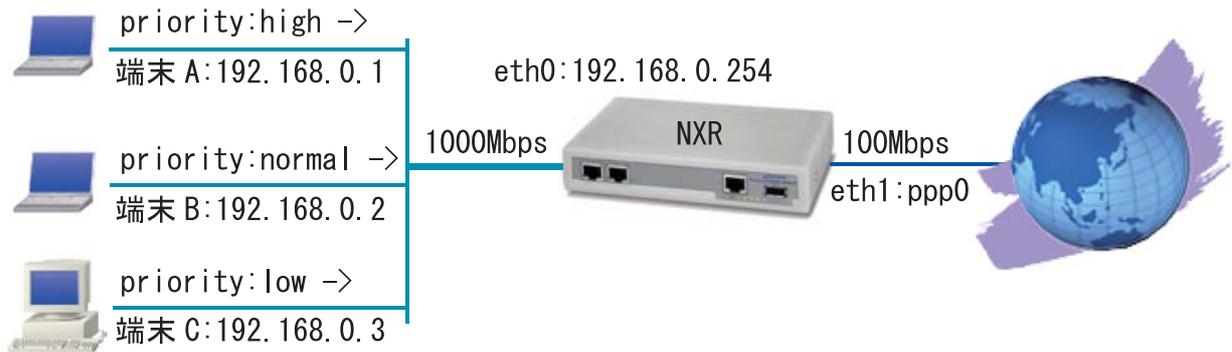
続いて、取得したCIDとPDP Typeを元に、モバイル接続の設定を行います。

```
nxr120#show config
... 途中省略 ...
!
interface ppp 0
description 3G
ip address negotiated
no ip redirects
ip tcp adjust-mss auto
ip masquerade
ppp username em password em
                        ユーザIDとパスワードを設定
dial-up string *99***1#
                        cidが1なので、末尾を1#に設定
mobile apn emb.ne.jp cid 1 pdp-type ip
                        cidは1、pdp-typeはIP
... 途中省略 ...
!
mobile 0 ppp 0      モバイル接続に ppp 0 を仕様
!
ip route 0.0.0.0/0 ppp 0
                        IPv4のデフォルトルートを ppp0 に設定
end
```

. QoS の設定例

QoS(PQ)の設定例を示します。

端末 A、端末 B、端末 C(LAN:1000Mbps)から WAN:100Mbps に UDP データを送信する際に、優先制御(PQ)が行われます。例えば、各端末からの送信レートが 40Mbps の場合、ppp0 を通過するトラフィックは、A: 40Mbps、B:40Mbps、C:20Mbps になります(実際のスループットは、WAN 回線の実効速度に依存します)。



```

!
priority-map 1 high ip mark 1
                                Mark 値の設定をします。
priority-map 1 low ip mark 3
                                1:high, 3:low, その他:default(normal)
!
interface ppp 0
description pppoe
ip address negotiated
ip tcp adjust-mss auto
ip masquerade
ppp username XXXX password YYYY
queue priority-group 1
                                PQ の設定をします。
!
interface ethernet 0
ip address 192.168.0.254/24
classify input route-map RMAP1
!
interface ethernet 1
no ip address
pppoe-client ppp 0
!
route-map RMAP1 permit 1
match ip address list1
                                マッチ条件の設定をします。(ACL:list1)
set mark 1
                                Mark 値を設定します。(1:high)
!
route-map RMAP1 permit 2
                                マッチ条件の設定をします。(ACL:list2)
match ip address list2
                                default class(normal) に割り当てられます。
set mark 2
!
route-map RMAP1 permit 3
                                マッチ条件の設定をします。(ACL:list3)
set mark 3
                                Mark 値を設定します。(3:low)
!
class access-list list1 ip 192.168.0.1 any udp
class access-list list2 ip 192.168.0.2 any udp
class access-list list3 ip 192.168.0.3 any udp
!
end

```

付録 B

Packet Traveling

1. IP filteringの優先順位

INPUT/OUTPUT/FORWARD時のfilteringが適用される順番は、以下のとおりです。

IPsec input/output policy checkは、実際にSPDを検索するわけではなく、ESP化されてきたパケットかESP化するべきパケットかどうかの判断のみを行い、この判定にmatchしたパケットが許可されます。

INPUT

- (1) SYSTEM filter
TCP connection数制限
- (2) IPsec input policy check
IPsec ESP化されてきたものは許可します。
- (3) USER input filtering
- (4) SPI check
- (5) Service用filter(GUIアクセス用filterなど)

FORWARD

- (1) IPsec input/output policy check
IPsec ESP化されてきたものか、outbound policyにmatchするものは許可します。
- (2) UPNP filtering
- (3) USER forward in/out filtering
- (4) SPI(input/forward時のみ)

OUTPUT

- (1) IPsec output policy check
- (2) IPsec outbound policyにmatchするものは許可します。
- (3) USER output filtering

2. NATの優先順位

NATの適用順位は、以下のとおりです。

INPUT

- (1) SYSTEM DNAT
- (2) UPNP用DNAT
- (3) USER設定DNAT(Static NAT)

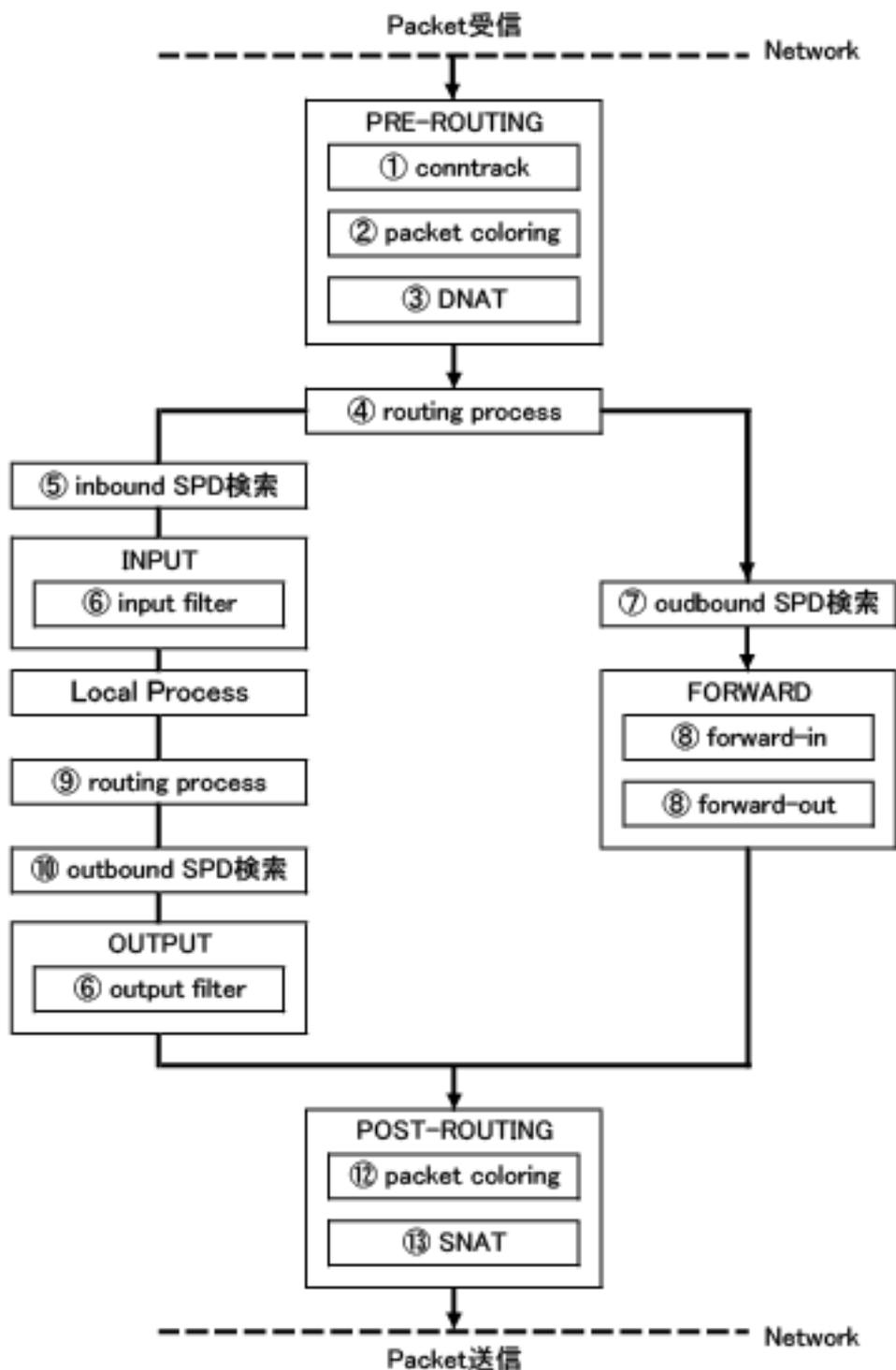
OUTPUT

- (1) SYSTEM SNAT
- (2) IPsec policyにmatchしたパケットは、以下のNATはチェックしません。
ただし、IPsec snat-policyが有効の場合は、以下のNATのチェックを継続します。
- (3) USER設定SNAT(Static NAT)
- (4) IPv4 Masquerade

Packet Traveling

3. NXR Packet Traveling

NXR が Packet を受信してから送信するまでに適用される NAT、filtering、packet coloring の順番を下図に示します。



Packet forwarding時

- Packet 受信 -
 - Conntrack
 - Packet coloring(input)
 - Destination NAT
 - 詳細は、NATの優先順位(INPUT)を参照してください。
 - Routing Process
 - IPsec SPD 検索
 - Packet filtering
 - 詳細は、IP filteringの優先順位(FORWARD)を参照してください。
 - Packet coloring(output)
 - Source NAT
 - 詳細は、NATの優先順位(OUTPUT)を参照してください。
- Packet 送信 -

Packet 受信時(NXR が宛先)

- Packet 受信 -
 - Conntrack
 - Packet coloring(input)
 - Destination NAT
 - 詳細は、NATの優先順位(INPUT)を参照してください。
 - Routing Process
 - IPsec SPD 検索
 - Packet filtering
 - 詳細は、IP filteringの優先順位(INPUT)を参照してください。
- NXR Local Process -

Packet 送信時 (NXR が送信元)

- NXR Local Process が Packet 送出 -
 - Routing process
 - IPsec SPD 検索
 - Packet filtering
 - 詳細は、IP filteringの優先順位(OUTPUT)を参照してください。
 - Packet coloring(output)
 - Source NAT
 - 詳細は、NATの優先順位(OUTPUT)を参照してください。
- Packet 送信 -

付録 C

サポートについて

サポートについて

今後のお客様サポートおよび製品開発の参考にさせていただくために、ユーザー登録にご協力をお願い致します。弊社ホームページ内の各製品のサポートページで「ユーザー登録」をクリックすると登録用の画面が開きます。

サポートに関する技術的なお問い合わせやご質問は、下記へご連絡ください。

・サポートデスク

e-mail : support@centurysys.co.jp

電話 : 0422-37-8926

FAX : 0422-55-3373

受付時間 : 10:00 ~ 17:00 (土日祝祭日、および弊社の定める休日を除きます)

・ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

故障と思われる場合は

製品の不良や故障と思われる場合でも、必ず事前に弊社までご連絡ください。

事前のご連絡なしに弊社までご送付いただきました場合でもサポートをお受けすることはできません。

ご連絡をいただく前に

スムーズなお客様サポートをご提供するために、サポートデスクにご連絡いただく場合は以下の内容をお知らせいただきますよう、お願いいたします。

・ファームウェアのバージョンとMACアドレス

・ネットワークの構成(図)

どのようなネットワークで運用されているかを、差し支えない範囲でお知らせください。

・不具合の内容または、不具合の再現手順

何をしたときにどのような問題が発生するのか、できるだけ具体的にお知らせください。

・エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されている場合は、できるだけ正確にお知らせください。

・本装置の設定内容、およびコンピュータのIP設定

・可能であれば、「設定のバックアップファイル」をお送りください。

サポート情報

弊社ホームページにて、製品の最新ファームウェア、マニュアル、製品情報を掲載しています。

また製品のFAQも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

FutureNet NXRシリーズ製品サポートページ

<http://www.centurysys.co.jp/support/>

上記サポートページから、製品名「NXR-120/C」、「NXR-130/C」、「NXR-1200」をクリックしてください。

製品の保証について

本製品の保証期間は、ご購入から販売終了後5年間までです。

(但し、ACアダプタ及び添付品の保証期間はご購入から1年間とします。)

保証期間内でも、保証書に販売店印のないもの(弊社より直接販売したものは除く)、また保証の範囲外の故障については有償修理となりますのでご了承ください。

保証規定については、同梱の保証書をご覧ください。

FutureNet NXR-120/C NXR-130/C NXR-1200 ユーザーズガイド CLI 編 v5.6.2 対応版

2010年7月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

Copyright (c) 2009-2010 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.
